支部創立

40周年記念誌

1999年1月

日本分析化学会中部支部

支部創立
40周年記念誌

1999年1月

日本分析化学会中部支部

巻頭言

日本分析化学会中部支部創立40周年を迎えて

原口紘忞

平成10年度(1998年度)で中部支部は創立40周年を迎えました。昭和33年(1958年)菅原 健先生(当時 名古屋大学理学部化学科 教授)を初代支部長として、正会員数 514 名から出発した中部支部でありますが、これまで歴代支部長並びに支部会員の御尽力によりまして、現在は800名を越える会員を有する支部に成長しております。諸先生、諸先輩、諸兄姉に感謝と敬意を表するとともに、創立 40 周年を皆さんとともに心より祝いたいと思います。

中部支部は、静岡県、愛知県、三重県、岐阜県、長野県、福井県、石川県、富山県の8県をブロックとし、この地域の国公私立大学、国公立試験研究機関、および民間企業に在籍される方々および団体で構成されます。会員としては、個人会員、特別会員、維持会員、公益会員として参加していただいております。

支部の運営は、現在は中部科学技術センター内に学会合同事務局（名古屋市中区栄 2-17-22）を置き、お世話いただいております。学会合同事務局は17学協会が中部化学関係学協会支部連合協議会として組織され、毎年1回中部化学関係学協会支部連合秋季大会(通称“中化連”)が東海地区5県の持ち回りで開催され、本年は第29回を迎えました。

現在の中部支部は、常任幹事会(年3回開催)および、役員総会(年1回開催；常任幹事、支部幹事、監事、参与、顧問)を中心に企画、運営を行っております。このほか、北陸地区3県は北陸地区役員連絡会を組織し、独自の活動をしております。支部事業としては、「基礎および最新の分析化学講習会」、「夏期セミナー」、「分析中部・ゆめ 21 企画：若手勉強会」、「分析化学フォーラム in 北陸」、「地区講演会」、「パソコンのためのインターフェース回路実習」、「訪日学者講演会」等が毎年企画・開催され、活発な活動が続けられています。とくに、本年10月には日本分析化学会第47年会が岐阜大学で開催され、史上最高の講演件数となりました。

このような支部活動とともに、これまで 40 年間の分析化学の動向を考えてみますと、化学における基礎学問としての発展とともに、近年は測定技術がエレクトロニクス、コンピュータ技術と融合して、機器分析法として飛躍的に発展してきたことは特筆すべきことであります。このことは昨今「分析化学」の代わりに「計測化学」、「化学計測」という用語が好んで用いられることでも理解できます。その結果、分析法の高感度化、高性能化、多機能化、自動化が実現され、理学、工学、農学、医学、薬学などすべての学問分野の基盤技術として、また産業界においても生産工程、品質管理、環境管理などの基幹技術として、分析化学が応用されるようになりました。このように分析化学は科学技術創造の基盤技術、支援技術として、不可欠のものであります。21 世紀に求められる学際科学、総合科学、融合科学の核として分析化学が発展し、人類、地球の生き残りに貢献できることを願っております。また、世界の「物づくり」拠点である中部地区において、日本分析化学会中部支部が果たすべき役割も益々大きくなることでしょう。

支部創立50周年に向けて、支部並びに会員の皆様の御発展を祈念しております。

(平成10年度日本化学会中部支部長・支部創立40周年記念事業実行委員会委員長)

日本分析化学会中部支部
創立 40 周年記念事業実行委員会

委 員 長：原口 紘炁（名古屋大学大学院工学研究科・教授）

委　　員：浅野 尚孝（日製産業名古屋支店）

大杉 達也（ヤナコ中部販売）

後藤 正志（岐阜薬科大学・教授）

酒井 忠雄（愛知工業大学・教授）

篠崎 美雄（日本分光名古屋営業所）

神野 清勝（豊橋技術科学大学・教授）

田口 茂　（富山大学理学部・教授）

田中 勝幸（セイコーインスツルメンツ名古屋営業所）

柘植 新　（名古屋大学大学院工学研究科・教授）

永長 幸雄（福井大学工学部・教授）

野村 俊明（信州大学理学部・教授）

野村 貢　（野村化学）

舟橋 重信（名古屋大学大学院理学研究科・教授）

本浄 高治（金沢大学理学部・教授）

前田 憲一（島津製作所名古屋支店）

三輪 智夫（岐阜大学工学部・教授）

森　定雄（三重大学工学部・教授）

山田 真吉（静岡大学工学部・教授）

和田 弘子（名古屋工業大学・教授）

中部支部創立 40 周年記念講演会・式典・祝賀会

期　日　1999 年 1 月 22 日（金）　　13:30 ～ 20:00

会　場　名古屋ガーデンパレス　　（名古屋市中区錦 3-11-13、 Tel:052-957-1022）

記念講演会

司　会　（名古屋大学大学院工学研究科）　平出　正孝

（朝日大学経営学部）　大野　典子

1. 水との歩み

（岐阜大学工学部 教授）　三輪　智夫

2. クラウンエーテルと協同効果　－微量金属の超分子錯体としての抽出分離挙動－

（金沢大学理学部 教授）　本浄　高治

3. 熱分解 GC 法による高分子および天然有機物の分析

（名古屋大学大学院工学研究科 教授）　柘植　　新

4. 分析化学の新しいパラダイムをめざして

（群馬大学 学長）　赤岩　英夫

記念式典

1. 式　　典

司　会　（名古屋大学大学院理学研究科）　舟橋　重信

(1) 支部長挨拶　　（名古屋大学大学院工学研究科）　原口　紘烋

(2) 来賓祝辞

2. 中部支部を語る

司　会　　（愛知工業大学）　酒井　忠雄

(1) 歴代支部長紹介

(2) 歴代支部長代表祝辞

記念祝賀会　　18:00 ～ 20:00

司　会　　（富山大学理学部）　田口　　茂

日本分析化学会中部支部創立 40 周年記念誌

目　　次

（巻頭言）日本分析化学会中部支部創立 40 周年を迎えて……原口紘忞　i

支部創立 40 周年記念事業実行委員会名簿　ii

中部支部創立 40 周年記念講演会・式典・祝賀会　iii

1. 中部支部創立 40 年のあゆみ　1

2. 中部支部北陸地区の活動　3

3. 中部支部活動年譜（1989 年度から 1998 年度のあゆみ）　5

4. 中部支部研究室紹介　23

5. 中部支部特別会員・維持会員一覧　91

6. ラボラトリーガイド　97

[資　料　編]

1. 歴代支部長　113

2. 中部支部所属会員数の推移　115

3. 学会賞等受賞者　117

4. 中部支部創立 30 年史　121

5. 日本分析化学会中部支部運営細則　149

6. 日本分析化学会中部支部内規　151

編 集 後 記　153

1．中部支部創立 40 年の歩み

日本分析化学会中部支部は、長野、静岡、愛知、岐阜、三重、福井、石川、富山の 8 県により構成され、1958 年に創設された。地理的な条件を考慮して翌年には北陸部会を設けたが、その後この部会は北陸地区役員連絡会と名称を改め、現在も積極的な活動を続けている。支部事務局は名古屋大学理学部内に最初は設置されていたが、その後移転を繰り返し、1970 年中部科学技術センター内に移り今日に至っている。中部支部は、この 40 年間主催事業はもちろんのこと、日本分析化学会本部並びに日本化学会東海支部、東海化学工業会、その他の関連諸団体との共催行事も活発に執り行い、分析化学の発展に大きく貢献してきた。支部の歴史と活動状況は、すでに創立 30 周年の記念誌に詳しく述べられているので、ここではその後の 10 年を振り返ることにする。

日本分析化学会本部との主な共催事業は、分析化学年会と討論会である。1990 年 10 月 16 日(火)～18 日(木)には第 39 年会が名古屋工業大学で開催され、1630 名が参加した。口頭発表 504 件、ポスター発表 57 件、研究懇談会特別講演 8 件、ワークショップ新製品紹介 29 件であり、学会賞、技術功績賞、奨励賞はそれぞれ 3 名が、有効賞は 58 名が受賞した。また懇親会（名古屋東急ホテル）には 420 名が、ミキサー（サッポロビール浩養園）には 328 名が参加した。第 55 回分析化学討論会は 1994 年 6 月 11 日(土)～13 日(月) に富山大学で開催され、816 名の参加であった。討論主題は「簡便な分析法の開発をめざして」、「微量成分の高感度分析」、「生命と分析化学」及び「分離分析の新手法」であり、主題講演 145 件（ポスター発表 71 件を含む）、一般講演 205 件、特別講演 8 件、新技術・新製品紹介 15 件の発表があった。名鉄トヤマホテルで行われた懇親会には 262 名が参加した。1998 年 10 月 6 日(火)～8 日(木) には第 47 年会が岐阜大学で開催され、参加者は 1528 名であり、一般講演 475 件、ポスター発表 208 件、テクノレビュー 20 件、市民及び高校生向け公開シンポジウム講演 8 件、研究懇談会講演 11 件、特別セッション講演 9 件、若手シンポジウム講演 16 件、総数 747 件と年会史上最多の講演発表が行われた。学会賞、技術功績賞、奨励賞はそれぞれ 3 名が、有効賞は 52 名が受賞した。また、懇親会（岐阜ルネッサンスホテル）には 367 名、ミキサー（岐阜大学）には 248 名の参加があり、賑やかな会であった。

中部支部の主催事業としては、分析化学中部夏期セミナーをまず挙げることができる。この企画は、若手研究者の育成と交流を目的に 1982 年能登夏期セミナーと称して参加者約 40 名でスタートした。依頼講演、新製品紹介、東海-北陸対抗ソフトボール大会から成るが、1992 年大学院生によるポスター発表が設けられ、参加者も 70～100 名に増加した。この 10 年間の開催地は、岐阜（第 8、14 回）、富山（第 9、12、15 回）、静岡（第 10 回）、愛知(第 11、16、17 回)、長野（第 13 回）であった。1998 年には、優秀なポスター発表に対して支部長より賞状と記念品が贈呈されるようになり、今後はこの表彰に神原富尚基金を当てることにしている。

「基礎及び最近の分析化学講習会」は、1991 年に発足した新規事業である。2 日間に及ぶ講習を約 10 名の講師が担当し、分析化学の基礎から応用までを詳しく解説する。テーマと開催場所は、第 1 回「材料分析のための前処理」（名古屋工業大学)、第 2 回「有機材料分析の基礎及び最新の進歩」（名古屋市工業研究所)、第 3 回「環境物質及び生物

活性物質の分離と定量分析」（富山大学）、第 4 回「材料開発を支える分析化学」（名古屋市工業研究所）、第 5 回「環境アセスメントのための分析技術」（名古屋市工業研究所）、第 6 回「21 世紀に向けての分析技術」（名古屋市工業研究所）、第 7 回「材料分析とデータの取り扱い」（名古屋工業大学）、第 8 回「分析技術の信頼性と複合化・微視化・自動化」（名古屋市工業研究所）であり、毎回 50～100 名が受講している。

パソコンのためのインターフェース回路実習は、支部主催の講習会として 1985 年に始まった。名古屋大学、豊橋技術科学大学、信州大学などが順次会場となっていたが、1992 年からは関東支部と共催になり、東京理科大学、星薬科大学、立教大学でも開催されるようになった。また、若手研究者の勉強会が 1995 年頃から北陸地区と東海地区でスタートし、講演会や研究紹介を通して若手研究者間の積極的な交流と相互協力を図っている。そのほか毎年 3 件（北陸地区 1 件、名古屋地区 1 件、東海地区 1 件）の分析化学講演会と 1～3 件の訪日学者講演会が、各大学や研究機関において実施されている。

中部化学関係学協会支部連合秋季大会は同協議会との共催行事であり、毎年特別討論主題を設け、参加者を募っている。主題と開催場所を列記すると、第 20 回「高感度、高選択性分析用試薬の開発」（静岡大学）、第 21 回「クロマトグラフィーにおける検出器の最近の進歩」（名古屋大学）、第 22 回「フローインジェクション分析の最近の動向」（三重大学）、第 23 回「クロマトグラフィーにおけるカラムと充填剤」（愛知工業大学）、第 24 回「新素材及び生体・環境試料の化学測定法の最近の進歩」（岐阜大学）、第 25 回（日本化学会第 68 秋季年会との合同大会、名古屋大学）、第 26 回「計測化学の新しい展開」（信州大学）、第 27 回「21 世紀に向けて分析化学がはたすべき役割」（名古屋工業大学）、第 28 回「流れ系を利用する化学計測の新展開」（静岡大学）、第 29 回「界面場を利用した分析法」（豊橋技術科学大学）となる。支部が共催または後援したそのほかの研究発表会や講習会は、HPLC 研究談話会、X 線分析研究懇談会、 イオンクロマトグラフィーフォーラム、有機微量分析研究懇談会、フローインジェクション分析研究会、原子スペクトル分析研究懇談会及びプラズマ分光分析研究会、分析化学のためのケモメトリックス討論会、化学 PC ソフトウェアー研究討論会、東海化学工業会講習会、並びに数件の国際シンポジウムである。

工場見学会は 1970 年頃から関東支部と共催し、世話役を両支部で交互に担当してきた。1989 年万城食品と東洋醸造、1990 年ネーミック・ラムダ長岡工場と越後製菓片貝工場、1991 年トヨタ自動車材料開発部とトヨタ博物館、1992 年東京電力横浜火力発電所とキリンビール横浜工場、1993 年不二越と広貫堂、1994 年水澤化学工業中条工場、アデランス工芸及びクラレ中条工場、1995 年小布施堂と新光電気工業を見学したが、その後は参加者数の減少等により催されていない。

中部支部の過ぎし歩みを回顧している間に、時は次の 50 周年に向けて静かに流れつつある。支部の益々の発展のために、会員皆様の一層の御協力と御支援をお願い申し上げる次第である。

（日本分析化学会中部支部常任幹事会）

2．中部支部北陸地区の活動

1989 年度以降、北陸地区で開催された分析化学討論会（富山）、支部講演会、夏期セミナーについては中部支部の活動として、別の項でまとめるので、ここではそれ以外の活動について述べる。

北陸 3 県は東海地区から遠距離に位置するということで、支部が発足してまもなく、北陸部会を置き、支部活動の円滑な運営にあたっていた。1972 年には、北陸部会をいったん解消したが、その後も北陸地区役員連絡会として引き継がれている。この役員連絡会は年 2 回会議を開いて、支部常任幹事会の報告を行ったり、北陸地区支部活動の企画と実施について話し合うほか、さまざまな研究交流の場を提供している。毎年、第 1 回目の会議は 6 月頃に開かれ、会議終了後に、支部行事の一つである講演会そして懇親会が行われている。北陸地区支部役員の年齢幅は広く、いつも老年壮年若手役員と講師を囲んでの活発な討論と懇親が続く。貴重な体験談を聞いたり、大学での教育研究を議論することで、日頃の研究活動を補完できる勉強会にもなっている。なお、1997 年度に支部役員数の見直しが行なわれ、1998 年度から北陸各県 4 名（常任幹事 1、幹事 3）ずつに変更された。

夏期セミナーは、（故）中川元吉前支部長により若手研究者を主体とするセミナーの提案があり、1982 年に当時の支部長であった寺田喜久雄先生と北陸地区の役員のお世話で、第 1 回夏期セミナーが石川県の能登和倉温泉で実施された。ご承知のように、それ以降 17 年間続き、現在支部の主たる行事の一つになっている。1994 年にはやはり北陸地区役員連絡会で、分析化学に携わる若手研究者が中心となって勉強会を開いたらという提案があり、1995 年に福井で「第 1 回分析化学フォーラム in 北陸」が実施された。このフォーラムは発表と討論時間に制限を設けず、情報交換と勉強を行い、併せて親睦を深めることを目的としている。1997 年以降は東海地区の「分析中部・ゆめ 21」若手交流会との両地区合同の形式で、一泊二日の交流会を行っている。以下に、第 1 回から第 5 回までの開催日、場所、参加者及び世話人をまとめた。

第 1 回　1994 年 11 月 18、19 日
　　福井県河野村 民宿　20 名　前田耕治（福井県立大）
第 2 回　1995 年 7 月 5 日
　　石川県辰口町 石川ハイテク交流センター　41 名　平山直紀（金沢大理）
第 3 回　1995 年 11 月 15、16 日
　　石川県山中町山中温泉 やまなか荘　19 名　木津良一（金沢大薬）
第 4 回　1997 年 11 月 7、8 日
　　富山県高岡市雨晴温泉 雨晴ハイツ　31 名　笠原一世（富山大理）
第 5 回　1998 年 10 月 30、31 日
　　福井県鯖江市 鯖江青年の家　40 名　中田隆二（福井大教育）

毎年、大学院生の参加が多く、まさに支部若手研究者にとっては、夏のセミナーに加えて秋の若手交流会での研究交流の機会がふえた。今後、支部全体の活動の一層の充実と会員の皆様の発展を心から祈ります。

（日本分析化学会中部支部北陸地区役員連絡会）

3．中部支部活動年譜

(1989 年度から 1998 年度の歩み)

[1989 年度 (平 1)]

（支 部 長）河口広司
（副支部長）根津弘幸、宇佐美四郎、和田弘子
（支部監事）伊豆津公佑、後藤克己
（庶務幹事）平出正孝、金子紀男
（会計幹事）三井利幸、上蓑義則
（常任幹事）加藤正直、後藤正志、田口　茂、柘植　新、中田隆二、野路雅英、舟橋重信、増沢敏行、松本　健、山田真吉、山田碩道、湯地昭夫

4 月 28 日　第 23 回 HPLC 研究談話会［愛知厚生年金会館］
6 月 9 日　第 151 回X線分析研究懇談会［名古屋市工業研究所］
6 月 15～16 日　第 6 回イオンクロマトグラフィー討論会［フェニックスプラザ］
6 月 17 日　講演会［福井大学教育学部］
講演：環境放射線モニタリングの検出目標（北川貞治）
最近のイオンクロマトグラフ技術及び標準化の動向について（及川紀久雄）
6 月 30 日　講演会［朝日大学］
講演：FIA 法による超微量元素の接触分析法（河嶌拓治）
フローインジョクション法を利用する分析及び分析法の高機能化（本水昌二）
6 月 30 日　第 11 回フローインジェクション分析研究会講演会［朝日大学］
7 月 27～29 日　第 5 回パソコンのためのインターフェース回路実習［信州大学農学部］
8 月 25～26 日　第 8 回夏期セミナー［サンピア岐阜］
講演：液／液・液／膜界面電荷移動のボルタンメトリー的解釈（木原壮林）
液体クロマトグラフィーにおける間接検出（竹内豊英）
高感度有機試薬による環境中の微量金属の分析（形見武男）
共沈濃縮 —黒鉛炉原子吸光分析法による微量金属の定量（上田穣一）
ソフトボール大会
8 月 29～30 日　第 24 回 HPLC 研究談話会［愛知県中小企業センター］
9 月 4 日　訪日学者講演会［岐阜薬科大学］
講演：Some New Aspects on Liquid Chromatography / Electrochemistry (Changchun Institute of Applied Chemistry: E. Wang)
10 月 3～5 日　第 20 回中化連秋季大会［静岡大学大谷キャンパス］
特別討論会「高感度、高選択性分析用試薬の開発」
11 月 10～11 日　第 4 回化学パソコンソフトウェア研究討論会［福井工業高等専門学校］
11 月 13 日　講演会［名古屋工業技術試験所］

講演：高分子材料（石谷　炯）
　　鉄鋼材料（佐伯正夫）

11月21日　第33回技術談話会［愛知県産業貿易会館］
　　微量成分の取扱いについて

12月1～2日　工場見学会：万城食品、東洋醸造

1月9日　第25回HPLC研究談話会［愛知厚生年金会館］

1月30日　第153回X線分析研究懇談会［KKR名古屋三の丸］

3月22日　原子スペクトル分析研究談話会、プラズマ分光分析研究会
［愛知厚生年金会館］

[1990年度 (平2)]

（支 部 長）根津弘幸
（副支部長）和田弘子、板谷芳京、後藤正志
（支部監事）後藤克己、河口広司
（庶務幹事）金子紀男、湯地昭夫
（会計幹事）上蓑義則、長沢一彦
（常任幹事）加藤正直、酒井忠雄、中田隆二、西山敦子、野村　毅、野村　昇、原口紘忞、古川路明、松本　健、水野孝一、山田真吉

4月17日　第26回HPLC研究談話会［愛知厚生年金会館］

5月12日　講演会［名古屋工業大学］
講演：Organic Analytical Reagents — State of Art and Present Trends —
(L. Sommer)
　　高感度呈色試薬としてのヒドラゾン化合物の分子設計と微量分析への応用（石井　一）

6月15日　講演会［金沢大学工学部］
講演：電気化学検出高速液体クロマトグラフィーによる生体成分の分析（島田和武）
　　ファインセラミックスの分析技術（石塚紀夫）
参加者：135名

7月10日　訪日学者講演会［名古屋大学工学部］
講演：Simultaneous and Sequential Element Determination by Coherent Forward Scattering Spectroscopy (G. Hermann)

7月26日　第154回X線分析研究会談話会［名古屋市工業研究所］

7月26～27日　第6回パソコンのためのインターフェース回路実習
［名古屋大学工学部］
参加者：16名

8月6日　訪日学者講演会［名城大学薬学部］
講演：向流分配クロマトグラフィーの現状と将来（伊東洋一郎）

8月28～29日　第27回HPLC研究談話会［愛知県中小企業センター］

8月30～31日　第9回夏期セミナー［立山国際ホテル］
主題：分離の基礎と応用
講演：電流検出器とその高速液体クロマトグラフィーによる金属の定量への応用（永長幸雄）

クラウンエーテルによるアルカリ金属イオンの分離と分析
（坂本英文）
活性カルバメート中間体の分析化学への応用（岩本和夫）
微量大気汚染物質監視のためのクロマトグラフ的手法
（西川治光）
参加者：87名

9月11～14日　第12回キャピラリークロマトグラフィー国際シンポジウム
［神戸国際会議場］

10月1～2日　第2回国際学術研究公開シンポジウム［石川県立婦人会館ホール］
主題：環日本海域における酸性雨・雪

10月11～13日　第21回中化連秋季大会［名古屋大学教養部］
特別討論主題：クロマトグラフィーにおける検出器の最近の進歩

11月8日　講演会［浜松医科大学］
講演：HPLCにおける生体内の微量成分の蛍光検出（木下俊夫）
HPLC充てん剤の開発と化学工業への応用（中村　茂）

11月8～9日　第7回イオンクロマトグラフィーフォーラム
［恵那簡易保健保養センター］
主題：地球環境とイオンクロマトグラフィー

11月9～10日　工場見学会：ネーミック・ラムダ㈱長岡工場、越後製菓㈱片貝工場

1月7日　第28回HPLC研究談話会［愛知厚生年金会館］

3月22日　原子スペクトル分析研究懇談会及びプラズマ分光分析研究会
［愛知厚生年金会館］

[1991年度 (平3)]

（支 部 長）和田弘子
（副支部長）柘植　新、石塚紀夫、佐々木与志実
（支部監事）河口広司、根津弘幸
（庶務幹事）湯地昭夫、大谷　肇
（会計幹事）長沢一彦、加藤正直
（常任幹事）酒井忠雄、柴田久夫、永長幸雄、西山敦子、野村　昇、原口紘忝、古川路明、松本　健、水野孝一、森　定雄、山田真吉

4月11日　第29回HPLC研究談話会［愛知厚生年金会館］

5月10～11日　有機微量分析研究懇談会58回シンポジウム［金沢大学］
参加者：133名

6月14日　講演会［富山大学教育学部］
講演：分離分析機器としてのクロマトグラフ（花井俊彦）
ペルフルオロオクタン酸とその生体影響（狐塚　寛）
参加者：78名

7月18～19日　第7回パソコンのためのインターフェース回路実習
［豊橋技術科学大学］
参加者：8名

7月30～31日　第30回HPLC研究談話会［愛知県中小企業センター］
主題：光学異性体の分析とその周辺技術の進歩

8月19～20日　第10回夏期セミナー［浜名荘］
講演：クロマトグラフィーによる溶液内平衡の検出と評価（岡田哲夫）
錯形成反応に及ぼす溶媒和分子の大きさ（舟橋重信）
ファインセラミックスの分析技術（石塚紀夫）
アシルピラゾロンとその分析化学への応用（佐々木与志実）
参加者：71名

10月2～4日　第22回中化連秋季大会［三重大学］
特別討論会主題：フローインジェクション分析の最近の動向
招待講演：3件、依頼講演：5件

10月31日～11月1日　第1回基礎及び最新の分析化学講習会［名古屋工業大学］
「材料分析のための前処理」（実行委員長：和田弘子）
講演：分析化学・その役割（中川元吉）
分離・濃縮（寺田喜久雄）
超微量分析の現状と将来（原口紘忞）
LCにおける分離様式の選択法（森　定雄）
フローインジェクション分析法の多様性と高機能化（酒井忠雄）
ICPの基礎（石塚紀夫）
最近の電子材料の分析（大村卓一）
セラミックス製造プロセスにおけるコンタミネーション（柳沢雅明）
鉄鋼材料の成分分析における試料の前処理（小野昭紘）
高分子材料（高山　森）
写真材料　―特にカラー写真フィルム―　（青木聖侑）
参加者：89名

12月3～4日　学術討論会［愛知厚生年金会館］
主題：素材の高純度化

12月5～6日　第5回名古屋コンファレンス［愛知厚生年金会館］
主題：地球環境変化と科学計測

12月10日　講演会［名古屋市工業研究所］
講演：超臨界流体抽出(SFE)／クロマトグラフィー(SFC)の最近の進歩（斎藤宗雄）
キャピラリーガスクロマトグラフィーの最近の進歩と高分子分析への応用（柘植　新）

12月13～14日　工場見学会：トヨタ自動車・トヨタ博物館
宿泊：サンプラザ
参加者：36名

1月9日　第31回HPLC研究談話会［愛知厚生年金会館］

[1992年度 (平4)]

（支 部 長）柘植　新
（副支部長）野村　昇、石塚紀夫、野村俊明
（支部監事）根津弘幸、和田弘子
（庶務幹事）大谷　肇、原　稔

（会計幹事）加藤正直、竹内豊英
（常任幹事）宇井倬二、上田一正、大澤松夫、小島　功、佐々木与志実、柴田久夫、寺前紀夫、西山敦子、舟橋重信、三輪智夫、森　定雄

6月15～17日　第59回有機微量分析研究懇談会
第27回計測自動制御学会質量・力計測部会合同シンポジウム
［飛騨地域地場産業振興センター］

6月24日　講演会［信州大学理学部］
講演：ファインセラミックスを分析する（石塚紀夫）
脱フロン化対策（巳継泰郎）
参加者：132名

7月14日　講演会［富山大学工学部］
講演：クラウンエーテルの分析化学への応用（庄野利之）
酵素を固定化した中空キャピラリー反応管を用いるフローインジェクション分析（小島次雄）
参加者：139名

7月16～17日　第8回パソコンのためのインターフェース回路実習
［東京理科大学神楽坂校舎］
参加者：25名

7月31日　第163回X線分析研究懇談会［トヨタ自動車株式会社］
参加者：22名

8月24～25日　第32回HPLC研究談話会［名城大学］

8月28～29日　第11回夏期セミナー［つどいの丘：全トヨタ労連研修センター］
主題：最新の分析化学から
講演：キナアルカロイドと各種光学異性体間の反応における溶液化学的挙動の差について（鶴房繁和）
キャピラリー電気泳動法による分取装置（藤本忠蔵）
高性能化した熱分解ガスクロマトグラフィーによる高分子の構造キャラクタリゼーション（大谷　肇）
大学院生を中心としたポスターセッション：11件
新製品紹介講演：5件
参加者：62名

9月19日　講演会［名古屋大学シンポジオン］
講演：フッ化物イオンを含む混合配位子錯体の分析化学的意義
（湯地昭夫）
液液界面電荷移動ボルタメントリーとそれによる液液、液膜界面反応の解析（木原壮林）
加速器質量分析による微量放射性核種の高感度分析をその応用
（中井信之）
参加者：66名

10月5～7日　第23回中化連秋季大会［愛知工業大学］
特別討論会主題：クロマトグラフィーにおけるカラムと充填剤
招待講演：3件、依頼講演：12件、一般講演：2件
一般研究発表：分析化学13件、環境化学7件

10月12～13日　第2回基礎及び最新の分析化学講習会［名古屋市工業研究所］

「有機材料分析の基礎及び最新の進歩」（実行委員長：寺前紀夫）
講演：有機材料分析概論（柘植　新）
高分子材料中の添加剤分析（高山　森）
振動分光法による有機材料の熱分析（寺前紀夫）
有機・高分子材料の熱分析（十時　稔）
ガスクロマトグラフィーおよび質量分析法による有機材料分析
（大谷　肇）
核磁気共鳴法による有機材料分析（宇佐美隆生）
液体クロマトグラフィーによる高分子材料分析（寺町信哉）
参加者：100 名

11 月 5 日　工場見学会：東京電力横浜火力発電所、キリンビール横浜工場
参加者：40 名

[1993 年度 (平 5)]

（支 部 長）野村　昇
（副支部長）石塚紀夫、宇井倬二、森　定雄
（支部監事）和田弘子、柘植　新
（庶務幹事）原　稔、上蓑義則
（会計幹事）竹内豊英、大澤松夫
（常任幹事）稲毛正彦、上田一正、太田清久、小島　功、中田隆二、西山敦子、野村俊明、平出正孝、藤本忠蔵、三輪智夫、山田真吉

6 月 28 日　訪日学者講演会［豊橋技術科学大学］
講演：　Exploring the Periodic Table with GC-AED (P. C. Uden)
参加者：30 名

7 月 2 日　講演会［金沢大学工学部］
講演：高分子を中心とした X 線光電子分析 (ESCA)（小川俊夫）
選択的錯生成のための配位子設計（松井正和）
参加者：122 名

7 月 15～16 日　第 9 回パソコンのためのインターフェース回路実習［星薬科大学］
内容：インターフェースの関連した電子回路の講義
A/D 変換基板の製作
ソフトウェアの講義ならびにインターフェースの作動確認
講師：内山一美、加藤正直、北川邦行
参加者：20 名

8 月 27～28 日　第 12 回夏期セミナー［ほくりく荘］
主題：分析化学最近の話題から
講演：分析化学と放射能（小村和久）
フィルターを用いる水中の微量成分の濃縮と定量
―アンモニアの前濃縮：吸光光度定量を中心として―
（波多宣子）
超臨界流体クロマトグラフィーの現状（平田幸夫）
大学院生を中心としたポスターセッション：17 件

新製品紹介講演：2件
ソフトボール大会、懇親会
参加者：74名

10月4～6日　第24回中化連秋季大会［岐阜大学工学部］
特別討論会主題：新素材および生体・環境試薬の化学測定法の最近の進歩
招待講演：新しい電気化学活性ポリフェロセン薄膜
—水晶振動子測定法による動的挙動の解析（小山　昇）
高速液体クロマトグラフィーによる高分子材料のキャラクタリゼーション（森　定雄）
依頼講演：6件
一般研究発表：分析化学18件、環境化学10件
参加者：70名

10月28～29日　第3回基礎及び最新の分析化学講習会［富山大学］
「環境物質及び生物活性物質の分離と定量分析」
（実行委員長：野村　昇）
講演：微量成分分析のための分離・濃縮の基礎と応用（田口　茂）
原子スペクトル分析の基礎と応用（後藤克己）
電気化学検出法とバイオセンサー（原　稔）
粉末X線分析法による結晶の解析（井上正美）
GC-MSの環境化学分析及び大気化学反応への応用
（長谷川淳）
HPLCによる有機化合物の分離・定量と保持予測（野村　昇）
熱分解法の基礎と応用（島崎長一郎）
NMRによる有機化合物の構造解析と純度測定への応用
（平井美朗）
参加者：85名

12月3～4日　工場見学会：㈱不二越、広貫堂
懇親会：KKR銀嶺
参加者：24名

12月4日　講演会
第19回フローインジェクション分析講演会の招待講演と兼ねる
講演：Novel Detector Cells for Flow Injection and Sequential Injection Analysis in Process and Biotechnology Measurements
(Gary D. Christian)
FIAにおける電解化学発光検出法の進歩（佐藤昌憲）

12月8日　訪日学者講演会［富山工業高等専門学校］
講演：中国主要大学の現状と杭州大学における金属触媒研究
（鄭　小明）
参加者：70名

1月24日　講演会［グランパレホテル］
講演：HPLCの現状と可能性について（中村　洋）
クロマトグラフィーの選択と最適化（鈴木義仁）

3月1日　訪日学者講演会［名古屋大学工学部］

講演： Chemical Analyses of Environmental Object : Problems and Prospects
(B. F. Myasoedov)

参加者：42 名

[1994 年度 (平 6)]

（支 部 長）石塚紀夫
（副支部長）森　定雄、板谷芳京、原口紘忞
（支部監事）柘植　新、野村　昇
（庶務幹事）上蓑義則、太田清久
（会計幹事）大澤松夫、三井利幸
（常任幹事）稲毛正彦、岡田哲男、中田隆二、野路雅英、長谷川淳、平出正孝、藤本忠蔵、本浄高治、三輪智夫、山田碩道

5 月 18～20 日　第 61 回日本分析化学会有機微量分析研究懇談会シンポジウム
［静岡県立大学］

5 月 30 日～6 月 3 日　第 11 回分析的及び応用熱分解に関する国際シンポジウム
［名古屋大学シンポジオン］
11th International Symposium on Analytical and Applied Pyrolysis
参加者：210 名

6 月 10 日　第 11 回イオンクロマトグラフィーフォーラム
［富山勤労総合福祉センター］
参加者：62 名

6 月 11～13 日　第 55 回分析化学討論会
［富山大学人文・社会科学系共通教育棟及び黒田講堂
：実行委員長　後藤克己］
参加者：816 名

6 月 20 日　東海無機分析化学研究会 35 周年記念講演会［名古屋市工業研究所］
参加者：172 名

7 月 8 日　講演会［福井大学教育学部］
講演：ポリマーの高速液体クロマトグラフィー（森　定雄）
イオン選択性電極の理論と応用（千田　貢）
参加者：50 名

8 月 25～26 日　第 10 回パソコンのためのインターフェース回路実習［立教大学］
講義：分析機器と計測技術
A/D 変換ボードの回路構成と製作技術
計測プログラムの書き方
実習：A/D 変換ボードの組立
参加者：24 名

8 月 27～28 日　第 13 回夏期セミナー［山王閣］
講演：ゼオライト骨格におけるアルミニウム原子の規則的配置
（加藤正直）
アゾ化合物と 30 年（和田弘子）
生体関連物質の電子移動（加納健司）
海洋における希土類元素の生物地球化学的循環（増沢敏行）

参加者：62 名

9 月 12～13 日　第 2 回東海高分子基礎研修コース［名古屋逓信ビル］

9 月 20 日　訪日学者講演会［名古屋大学工学部］

講演：Laser Induced Photoacoustic Spectroscopy for the Speciation of Transuranium Elements and Some Fission Products in Aquastic Systems. (Dr. Sergey I. Sincov)

参加者：40 名

11 月 11～12 日　工場見学会：水澤化学工業㈱中条工場、アデランス工芸㈱、㈱クラレ中条工場

宿泊先：胎内パークホテル

参加者：36 名

11 月 17～18 日　第 4 回基礎及び最新の分析化学講習会［名古屋市工業研究所］

「材料開発を支える分析化学」（実行委員長：石塚紀夫）

講演：材料分析総論（石塚紀夫）
前処理（分離濃縮）（平出正孝）
高感度分析（ICP-AES, ICP-MS, GD-MS）（河口広司）
走査プローブ顕微鏡（野副尚一）
表面・状態分析（AES,XPS,SIMS）（二瓶好正）
セラミックス材料（上蓑義則）
金属材料のキャラクタリゼーション－その方法と最近の進歩－（佐藤公隆）
高分子材料（宇佐美隆生）
フラーレン（神野清勝）

聴講者：53 名

11 月 25 日　講演会［愛知工業大学付属図書館視聴覚室］

講演：イオン性化学種の抽出とその応用（後藤克巳）
アゾ系呈色試薬の開発とフロー分析法への応用（和田弘子）
レーザー気化 ICP 質量分析法によるセラミックス焼結体の表面・局所・深さ分析（柳沢雅明）

参加者：90 名

11 月 28 日　講演会［三重大学工学部］

講演：超微量分析と微量元素化学（原口紘炁）
超微量成分分析におけるストリッピングボルタンメトリーの現状と将来（三輪智夫）

参加者：70 名

1 月 25 日　訪日学者講演会［名古屋工業技術研究所］

講演：Recent Developments in Ion Chromatography and Capillary Zone Electrophoresis of Inorganic Ions. (Prof. Poul R Haddad)

3 月 3 日　東海化学工業会講習会［名古屋市工業研究所］

[1995 年度 (平 7)]

（支 部 長）森　定雄
（副支部長）野村俊明、佐々木与志実、三輪智夫

（支部監事）野村　昇、石塚紀夫、宇井倬二
（庶務幹事）太田清久、中村俊夫
（会計幹事）三井利幸、田中智一
（常任幹事）会澤宣一、大谷　肇、岡田哲男、形見武男、金子紀男、酒井忠雄、永長幸雄、野路雅英、長谷川淳、本浄高治、柳沢雅明、山田碩道

6月23日　講演会［富山大学理学部］
講演：イオン会合に発現する特異現象と分別分析への応用（酒井忠雄）
水晶発振子の分析化学への応用（野村俊明）
参加者：61名

7月10日　訪日学者講演会［岐阜大学工学部］
講演：中国における分析化学の最近の動向（金　利通）
参加者：25名

7月12日　訪日学者講演会［名古屋工業技術研究所］
講演：ラマン分光法の展望と材料評価への応用 (B. Schrader)
参加者：20名

7月13～14日　第12回イオンクロマトグラフィーフォーラム［紅陵閣］
討論主題：イオンクロマトグラフィーの新応用分野への展開

7月17日　講演会［静岡大学工学部］
講演：水晶発振子をデバイスとする分子認識の動的解析（岡畑恵雄）
酸化還元酵素と電極反応の共役とその応用（加納健司）

8月25～26日　第14回夏期セミナー［恵那峡グランドホテル］
講演：ファインセラミックスの赤外分析（柘植　明）
細管内流動に伴う試料溶質の対流・拡散現象解析装置の開発（伊永隆史）
微粒子分析の新しいアプローチ（野水　勉）
新製品紹介講演：4件
ソフトボール大会
参加者：61名

9月25～27日　第26回中部化学関係学協会支部連合秋季大会特別討論会［信州大学松本キャンパス］
討論主題：計測化学の新しい展開

10月12～13日　第3回東海高分子基礎研修コース［名古屋国際会議場］

10月16～17日　第5回基礎及び最新の分析化学講習会［名古屋市工業研究所］
「環境アセスメントのための分析技術」（実行委員長：酒井忠雄）
基調講演：環境分析値の信頼性（赤岩英夫）
講演：環境アセスメントにおける環境基準値の位置づけとその法体系（阪野二郎）
前処理 ―微量成分分析のための試料の取り扱い―（野村俊明）
原子スペクトル分析の基礎と応用（内田哲男）
フローインジェクション分析法による化学分析の自動化と高度化（本水晶二）
大気分析の展望 ―有害有機汚染物質の分析技術―（白根義治）
環境試料へのICP-MSの応用（江藤　徹）
電気化学的方法による環境試料のためのスペシエーション

（三輪智夫）
クロマトグラフィーを用いるイオンの分離と検出（岡田哲男）
環境分析に適したイオンクロマトグラフの開発と実試料への応用（西村雅之）
モニタリングのための流れ分析法の基礎（竹内豊英）
流れ分析を利用した自動化学分析システム（黒石忠文）
HPLC の環境試料分析への応用―水中農薬分析を中心として―（日比清勝）
GC/MS を用いる環境分析技術―水質分析から大気分析まで―（松岡広和）

参加者 72 名

11 月 7 日　東海化学工業会講習会［名古屋市工業研究所］
全体テーマ：最近のヒット商品開発の方法論－成功の秘訣、重要ファクターは何か？

11 月 8 日　日本化学会東海支部愛知地区講演会［愛知工業大学付属図書館視聴覚室］
講演：熱分解ガスクロマトグラフィーによる高分子材料解析の最近の進歩（柘植　新）
弾性ポリウレタンの新分野の展開（古川睦久）

11 月 18～19 日　分析化学会若手勉強会　第 1 回中部支部分析化学フォーラム in 北陸［うみの宿「さえ」］
参加者 20 名

12 月 1～2 日　工場見学会：㈱小布施堂、新光電気工業㈱
参加者：25 名

12 月 4 日　訪日学者講演会［三重大学工学部］
講演：Characterization of Polymers by Different Chromatographic Techniques (B. Trathnigg)
参加者：25 名

12 月 5 日　分析化学会若手勉強会　分析中部・ゆめ 21 企画［名古屋大学工学部］
参加者：24 名

1 月 16 日　講演会［名古屋大学シンポジオン］
講演：太陽系の有機物－模擬実験生成物の分析を中心に（小林憲正）
レーザーアブレーション法による鉄鋼材料等の分析（望月　正）
参加者：51 名

3 月 2 日　東海化学工業会講習会［名古屋市工業研究所］
全体テーマ：いま話題の新技術・最新情報

[1996 年度 (平 8)]

（支 部 長）野村俊明
（副支部長）三輪智夫、長谷川淳、酒井忠雄
（支部監事）宇井倬二、森　定雄
（庶務幹事）中村俊夫、竹内豊英
（会計幹事）田中智一、大野典子

（常任幹事）会澤宣一、大谷　肇、笠原一世、形見武男、金子紀男、島田和武、高山　森、津田孝雄、永長幸雄、藤本忠蔵、柳沢雅明

4月18日　訪日学者講演会［名古屋大学工学部］
講演：Analytical Applications and Fundamental Studies on High-Efficiency Nebulization Systems for Plasma Spectrometry　(Prof. A. Montaser)
参加者：41名

6月21日　講演会［金沢大学理学部］
講演：発ガン性ニトロアレーンの分析法開発と大気汚染の現状（早川和一）
核融合炉から漏洩するトリチウムの紫外線促進酸化反応とそのトリチウム回収装置への適応性（長谷川淳）
参加者50名

7月5日　訪日学者講演会［岐阜大学工学部］
講演：化学修飾電極の開発とその応用（徐　金瑞）
参加者：35名

7月5日　分析化学会若手勉強会　第2回中部支部分析化学フォーラムin北陸
学術講演：ビタミンD代謝物分析法の開発（島田和武）
研究紹介講演：7件
参加者：41名

7月18日　訪日学者講演会［福井大学地域共同センター］
講演：Ion Chromatographic Separations of Ionic Species with Newer Aromatic Eluents (Mool Chand Mehra)
参加者：18名

7月25～26日　第11回パソコンのためのインターフェース回路実習［名古屋大学工学部］
講師：内山一美、加藤正直、北川邦行、嶋崎保任
参加者：12名

8月23～24日　第15回夏期セミナー［呉羽ハイツ］
講演：エコテクノロジーと分析化学（丁子哲治）
プラズマイオン源質量分析法による固体試料の直接分析（田中智一）
含窒素環多座配位子による金属イオンの選択的認識（平山直紀）
ポスターセッション：27件、新製品紹介：2件
参加者：94名

10月1～3日　第27回中部化学関係学協会支部連合秋季大会［名古屋工業大学］
特別討論会主題：21世紀に向けて分析化学がはたすべき役割
招待講演：地球環境問題と分析化学－酸性雨に関して富士山および富士山の観測を中心に－（土器屋由紀子）
依頼講演：環境モニタリングシステムとしての自動逆相HPLCによる重金属の同時定量（一ノ木進、山崎　満）
非水溶液用高分子模型化学センサーの開発とその応用（中村俊夫）
ハロゲン化物イオンの反応と制御と分離・濃縮・検出（湯地昭夫）

10月24～25日　先端技術国際フォーラム名古屋 "NAIS' 96" ［名古屋市工業研究所］
10月31日　講演会［名古屋大学豊田講堂］
講演：海水中の天然有機配位子の存在と錯体化学的アプローチ
（緑川　貴）
放射光X線状態分析の応用－考古学からリチウム2次電池まで
（中井　泉）
11月5日　講演会［じばさん三重］
講演：21世紀型の分光法：ケモメトリクスと二次元赤外分光
（尾崎幸洋）
Molecular Heterogeneity Analysis of Polymers by Liquid Chromatographic Techniques (H. Pash)
11月6日　東海化学工業会セミナー［名古屋市工業研究所］
11月11～12日　第6回基礎及び最新の分析化学講習会［名古屋市工業研究所］
「21世紀に向けての分析技術」（実行委員長：三輪智夫）
講演：原子スペクトル分析の基礎と将来の展望（太田清久）
無機材料の分析と評価（飯田康夫）
電気化学分析法とバイオセンサーの新展開（永長幸雄）
分析化学の課題（合志陽一）
薄膜評価と表面分析（篠山哲明）
分析化学におけるエレクトロニクス／コンピュータホビイスト
（北川邦行）
クロマトグラフィーの新展開（津田孝雄）
高分子分析（最近の進歩）（永田公俊）
キャピラリー電気泳動の基礎とキャピラリーエレクトロマトグラフィーの実際（藤本忠蔵）
有害大気汚染物質分析方法について（前田恒昭）
生体試料分析へのフローインジェクション法の応用（大野典子）
参加者：54名
11月15日　分析化学若手勉強会　第3回中部支部分析化学フォーラムin北陸
［ほくりく荘］
研究発表
参加者：19名
11月30日～12月1日　分析化学会若手勉強会　分析中部・ゆめ21企画
若手研究交流会［愛知青少年会館］
12月5日　第2回フローインジェクション分析 (FIA) 技術講習会
［名古屋市工業研究所］
講義：FIAの原理と基礎（酒井忠雄）
環境分析のためのFIA（本水昌二）
電位差検出器を用いるFIA（今任稔彦）
オンラインカラムを用いるFIA（小熊幸一）
12月6日　第27回フローインジェクション分析講演会［名古屋市工業研究所］
講演：プラズマ分光分析と流れ分析法の結合－Chemical Analysis からChemical Speciation へ－（原口紘忞）
反応熱によるビーム偏向計測法の開発と応用

（保母敏行、呉　行正）

12月9～10日　　第16回キャタピラリー・電気泳動シンポジウム［名古屋工業大学)］

[1997年度 (平9)]

（支 部 長）三輪智夫
（副支部長）原口紘忞、本浄高治、山田碩道
（支部監事）森　定雄、野村俊明
（庶務幹事）竹内豊英、猿渡英之・千葉光一
（会計幹事）大野典子、飯田康夫
（常任幹事）笠原一世、加藤正直、篠原直行、島田和武、高山　森、津田孝雄、中田隆二、藤本忠蔵、増沢敏行

3月28日　　訪日学者講演会［名古屋大学工学部］
講演：The Thermal Behavior of Two Different Polymeric Systems : an Acrylonitrile-EPDM-Styrene (AES) Resin and Highly Stereoregular Poly(methacrylic acid)s　(Dr. Massimo Lazzari)
参加者：25名

4月25日　　第1回分析化学のためのケモメトリック討論会［名古屋市工業研究所］

6月20日　　講演会［北陸公衆衛生研究所］
講演：環境科学業務への機器分析の適用とその分析法の開発（角　昭美）
超微量分析法の最近の動向（三輪智夫）
参加者：70名

7月18日　　講演会［愛知工業大学付属図書館視聴覚室］
講演：サイズ排除クロマトグラフィーと高分子分析（森　定雄）
膜を用いる固相抽出の設計を微量成分分析への応用（田口　茂）
光マニピュレーションと微粒子の分光分析（笹木敬司）
参加者：70名

7月23日　　訪日学者講演会［名古屋工業大学］
講演：Modern Developments in LC and CE ; Towards Better Separations (Prof. Hans Poppe)
参加者：15名

7月24～25日　　第12回パソコンのためのインターフェース回路実習［星薬科大学］
講師：北川邦行、内山一美、嶋崎保任、加藤正直
参加者：13名

8月2日　　特別講演会［名古屋ガーデンパレス］
講演：21世紀の環境と暮らし　化学者が考える21世紀の豊かな暮らし（山寺秀雄）

8月22～23日　　第16回夏期セミナー［三河ハイツ］
主題：21世紀を見すえて
講演：私が日々直面する分析化学教育における問題点（角田欣一）
分析化学 ―“見る”と“測る”― は科学・技術の原点をめざす（千葉光一）
逆相液体クロマトグラフィー系における物質移動現象

（宮部寛志）

ポスター発表：31 件
参加者：99 名

10 月 4〜5 日　第 28 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会
［静岡大学浜松キャンパス］
特別討論主題：流れ系を利用する化学計測の新展開
クロマトグラフィー分野
　招待講演：柘植　新
　依頼講演：野水　勉、岡田哲男、藤本忠蔵
フローインジェクション分析分野
　招待講演：山根　兵
　依頼講演：大野典子

10 月 16 日　訪日学者講演会［三重大学工学部］
講演：Coupled Procedures in Liquid Chromatography of Complex Polymers
(Dr. Dusan Berek)
参加者：20 名

11 月 6〜7 日　第 7 回基礎及び最新の分析化学講習会［名古屋工業大学］
「材料分析とデータの取り扱い」（実行委員長：山田碩道）
講演：高分子材料分析の基礎と応用（大谷　肇）
　キャピラリー分離分析法の基礎（竹内豊英）
　測定データの信頼性向上のための統計的処理法（三井利幸）
　新しい光・電子機能性無機材料の創成とキャラクタリーゼーション―イオン注入による酸化物ガラス・アモルファス材料の高機能化へのアプローチ―（細野秀雄）
　材料の進歩に伴う分析化学（柘植　明）
　セラミックス及び原料の分析とデータ処理―蛍光 X 線分析、ICP 発光分光分析を中心として―（生川　章）
　新薬の開発に於ける高速液体クロマトグラフィーの利用
（松岡洋子）
　生薬及び漢方薬の理化学的品質評価について（横田洋一）
　分析・試験の許容差について ―ISO 5725、JIS Z 8402 を中心として―（仁科　健）
　計量法トレーサビリティ制度に基づく標準物質と得られるデータの信頼性（伊東　哲）
　試験所認定制度 (ISO) とファインセラミックス材料分析
（柳澤雅明）
参加者：57 名

11 月 7〜8 日　分析中部・ゆめ 21 企画：第 4 回分析化学フォーラム in 北陸
［雨晴ハイツ］

11 月 14 日　講演会［信州大学工学部］
講演：裁判化学と微量分析（三井利幸）
　生体における微量金属元素の働き（原口紘忯）
参加者：126 名

12 月 20 日　分析中部・ゆめ 21 企画：第 2 回若手交流会［名古屋工業大学講堂会

議場]

3月14日　第178回X線分析研究懇談会（名古屋市工業研究所）
講師：文殊四郎秀昭、原　民夫
参加者：25名

[1998年度 (平10)]

〔中部支部創立40周年〕
（支 部 長）原口紘忞
（副支部長）舟橋重信、酒井忠雄、永長幸雄
（支部監事）野村俊明、三輪智夫
（庶務幹事）千葉光一、平出正孝
（会計幹事）飯田康夫、安井孝志
（常任幹事）上田一正、太田清久、形見武男、加藤正直、篠原直行、田口　茂、豊岡利正、中田隆二

3月24日　訪日学者講演会［名古屋大学工学部］
講演：Lessons Learned from the First Ladies Collection of the Smithonian Institution　(Dr. Mary A. Becker)
参加者：25名

4月2日　訪日学者講演会［名古屋大学工学部］
講演：Novel Micronebulizers and New Aerosol Diagnostics Methods for Analytical Plasma Spectrometry　(Prof. Akbar Montaser)
参加者：25名

4月24日　第2回分析化学のためのケモメトリック討論会［名古屋市工業研究所］

6月19日　講演会［富山大学教育学部］
講演：重金属と指標植物―自然の回復（本浄高治）
生理活性物質の検知・分子センサー（梅沢喜夫）
参加者：75名

7月23～24日　第13回パソコンのためのインターフェース回路実習［名古屋大学工学部］
講師：北川邦行、嶋崎保任、加藤正直
参加者：9名

8月20日　講演会［岐阜　未来会館］
講演：岐阜県における廃棄物規制等の現状（松岡由尚）
廃棄物焼却における有害物質（形見武男）
岐阜大学における特別管理産業廃棄物と排水の管理（左合　勉）
参加者：30名

8月29～30日　第17回夏期セミナー［いこいの村愛知］
講演：電子移動のメカニズム（高木秀夫）
裁判化学試料への多変量解析法の適用（肥田宗政）
海水中微量元素の動態の解明に向けて（宗林由樹）
参加者：84名

10月3～4日　第29回中部化学関係学協会支部連合秋季大会［豊橋技術科学大学］
特別討論主題：界面場を利用した分析法

講師　招待講演：野村俊明
　　依頼講演：塚原　聡、木曽祥秋

10月6～8日　日本分析化学会第47年会［岐阜大学：実行委員長　三輪智夫］
参加者：1,528名

10月8～9日　分析21世紀基金企画「いぬやま会議」［サンパーク犬山］

10月30～31　分析中部・ゆめ21企画：第5回分析化学フォーラムin北陸
［福井県立　鯖江青年の家］

11月9～10日　第8回基礎及び最新の分析化学講習会［名古屋市工業研究所］
「分析技術の信頼性と複合化・微視化・自動化」
（実行委員長：酒井忠雄）

講演：総論 ―化学分析と機器分析の融合をめざして―（原口紘忞）
プラズマ分光分析法の基礎（千葉光一）
化学分析の信頼性と国際対応（ISO/GUIDE25、ISO14000など）
（久保田正明）
ICP/AESによる非酸化物系ファインセラミックス中の微量不純物分析（横田文昭）
顕微分光技術と有機材料の局所分析（寺前紀夫）
液体クロマトグラフィフィーの到達点と将来（竹内豊英）
HPLCに使用する最新の検出器とその応用（垣見英登）
機能性FIAとダウンサイジング（酒井忠雄）
分析値の信頼性とトレーサビリティー（小野昭紘）
ガスクロマトグラフィー／質量分析法による高分子材料分析
（大谷　肇）
環境大気、室内空気中のVOCs分析におけるGC-MSの応用
（世古民雄）

参加者：51名

4. 中部支部研究室紹介

本欄は日本分析化学会中部支部に所属する国公私立大学、国公立試験研究機関の研究室を紹介するものである。

内容は、1. 研究機関・研究室名、2. 所在地および連絡先、3. 研究室構成員、4. 現在の主な研究内容、5. 主な所有機器、6. 最近の研究活動、とする。

本研究室紹介は、中部支部会員の交流、情報交換に利用されるとともに、産・官・学との研究機関の研究・技術交流にも役立つことを目的とする。

1．研究機関・研究室名

信州大学理学部・化学科　構造・計測化学講座　分析化学研究室

2．所在地および連絡先

住所：〒390-8621　松本市旭 3-1-1

Web site(ホームページ)：http://gipwm.shinshu-u.ac.jp/chem/index.html

---

3．研究室構成員(1998.10.1)

		Tel&Fax	E-mail
教　授	中村　俊夫	0263-37-2507	toshion@gipac.shinshu-u.ac.jp
大学院生	後期課程	1名	前期課程　2名
学部学生		4名	

4．現在の主な研究内容

・非水溶液用イオンセンサーの開発とそのイオン-溶媒錯形成反応の熱力学的研究などへの応用

・生体関連物質の関与する反応の非水系ボルタンメトリー測定法の開発とその応用

5．主な所有機器

・電気化学測定機器各種

・精密蒸留装置

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5件)

(1) Response Properties of a Platinum Electrode Coated with an Oxo(phthalocyaninato)- vanadium(IV) Conjugate Polymer to Various Anions in Nonaqueous Solutions.
T. Nakamura, T. Ueda, T. Yanagisawa, H. Watanabe : *Bull. Chem. Soc. Jpn.*, **72**(2), in press.

(2) The Response Behavior of a Polyacrylamide-Benzo-15-Crown-5 Electrode to Sodium and Calcium Ions in Acetonitrile and Its Application to the Study of Their Complexing with Other Basic Aprotic Solvent Molecules.
T. Nakamura, H. Mongi : *Bull. Chem. Soc. Jpn.*, **70**(10), 2449-2453 (1997).

(3) 親水性高分子膜を反応場とする生体機能物質の非水系ボルタンメトリー.
中村俊夫, 西川裕志：分析化学, **46**(1), 45-49 (1997).

(4) Potentiometric Response Properties of Sensor Membranes Based on Cobalt Phthalocyanine Conjugate-Polymer in Nonaqueous Solutions.
T. Nakamura, C. Hayashi, T. Ogawara : *Bull. Chem. Soc. Jpn.*, **69**(6), 1555-1559 (1996).

(5) イオン選択性電極 (進歩総説).
中村俊夫：ぶんせき, **1994**(9), 727-732 (1994).

1．研究機関・研究室名

信州大学理学部　構造・計測化学講座

2．所在地および連絡先

住所：〒390-8621　松本市旭 3-1-1

Web site(ホームページ)：http://science.shinshu-u.ac.jp/

3．研究室構成員(1998.10.1)

		Tel(0263)	Fax	E-mail
教　授	野村　俊明	37-2475	37-2559	tnomura@ripms.shinshu-u.ac.jp
大学院生	前期課程	3 名		
学部学生		4 名		

4．現在の主な研究内容

・混合配位子錯体を用いる各種イオンの分析化学的研究

・検出器としての水晶発振子の分析化学的研究

5．主な所有機器

・フローインジェクション分析装置

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5 件)

(1) Adsorption determination of ionic surfactants using an electrode-separated piezoelectric quartz crystal.
T. Nomura, T. Egawa : *Anal. Chim. Acta*, **339**, 187-192 (1997).

(2) Adsorptive determination of copper(II) in solution as its N,N-diethylthiocarbamate on an electrode-separated piezoelectric quartz crystal.
T. Nomura, M. Kumagai, A. Sato : *Anal. Chim. Acta*, **343**, 209-213 (1997).

(3) 双型水晶発振子の液体中での振動数特性.
野村俊明, 稲野辺重理, 藤田宏：分析化学, **47**(9), 583-590 (1998).

(4) 水晶発振子の溶液化学分析への適用（総説）.
野村俊明：分析化学, **47**(11), 751-767 (1998).

1．研究機関・研究室名

信州大学理学部物質循環学科・地球システム解析講座

2．所在地および連絡先

〒390-8621 松本市旭 3-1-1
Web site: http://gipwm.shinshu-u.ac.jp/environ/index.html

3．研究室構成員(分析化学関係のみ)

		Tel & Fax	E-mail
教　授	伊豆津　公佑	0263-35-1085	kizutsu@gipac.shinshu-u.ac.jp
	(1999 年 3 月末日定年退職)		
大学院生	修士課程	1 名（化学科所属）	
学部学生		3 名（化学科所属）	

4．現在の主な研究内容

・非水溶液の電気化学計測法に関する研究

異種溶媒間の液間電位差;非水溶液用の新規・高性能ｐＨセンサーの開発と応用；迅速非水溶媒酸塩基滴定法；非水溶液中の酸塩基平衡；非水溶媒中のアルカリ土類金属イオンの水銀電極におけるボルタンメトリー反応機構，など

5．主な所有機器

・ボルタンメトリーアナライザー(BAS100B/W)及び関連装置

・非水溶液用ｐＨ測定・滴定装置(pH-ISFET 用)

6．最近の研究活動

(1) 非水溶液の電気化学.
伊豆津公佑：(単行本), 培風館, pp.276 (1995).

(2) Studies on the Electrochemical Approach to Ion Solvation.
Kosuke Izutsu : *Pure Appl. Chem.*, **70**(10), (1998) in press.

(3) Applicability of 0.05 mol/kg Potassium Hydrogen Phthalate as Reference Value pH Standard in Water-Organic Solvent Mixtures.
Kosuke Izutsu, Hiroki Yamamoto : *Talanta*, **47**, 1157-1163 (1998).

(4) Liquid Junction Potential between Different Solvents: A Junction with an Alkaline Earth Metal Salt as Electrolyte.
K. Izutsu, T. Arai, T. Hayashijima : *J. Electroanal. Chem.*, **426**, 91-95 (1997).

1．研究機関・研究室名

信州大学 工学部 物質工学科 無機・分析化学講座 機器分析化学研究室

2．所在地および連絡先

住所：〒380-8553 長野市若里 500 番地
TEL：026-226-4101（代表）　FAX：026-223-9249（物質工学科事務室）
Web site（ホームページ）：http://wwweng.cs.shinshu-u.ac.jp/CHEM/kinou/bunseki.htm

---

3．研究室構成員(1998.10.1)

		内線	E-mail
教　授	金子　紀男	3501	kanekon@gipwc.shinshu-u.ac.jp
助教授	篠原　直行	3501	nshinoh@gipwc.shinshu-u.ac.jp
大学院生	前期課程	6 名	
学部学生		10 名	

4．現在の主な研究内容

・電析金属内に含み込まれた微量成分の定量
・電析金属の結晶形態並びに結晶配向に及ぼす吸着性有機物の影響に関する研究
・電極/溶液界面で生じる電気化学的諸現象の解析
・鉛フリーはんだめっき用スズ－銀系合金めっきに関する研究

5．主な所有機器

・走査型電子顕微鏡，X線回折装置
・分光光度計，原子吸光装置，直流・交流ポーラログラフ
・ガスクロマトグラフ，全自動分極装置，各種電解装置

6．最近の研究活動

(1) Electrodeposition of Sn-Ag-Cu alloys.
S. Arai, N. Kaneko : *Denki Kagaku*, **65**(12), 1102-1106 (1997).

(2) Effects of Halide Ions on Current Oscillation during Electrocrystallization of Cadmium.
N. Shinohara, N. Kaneko, H. Nezu : *Denki Kagaku*, **63**(4), 296-302 (1995).

(3) Current Oscillations with Small Amplitudes during Electrocrystallization of Cadmium in the Presence of N,N-Bis(decaoxyethylene)octadecylamine.
N. Shinohara, N. Kaneko, H, Nezu : *Denki Kagaku*, **63**(5), 419-424 (1995).

(4)カドミウムイオンのポーラログラフ的還元に及ぼす臭化エチルトリフェニルホスホニウムの影響.
篠原直行, 金子紀男, 根津弘幸：電気化学，**63**(1), 36-40 (1995).

1．研究機関・研究室名

信州大学　農学部　応用生命科学科　生物制御化学講座　分析化学研究室

2．所在地および連絡先

住所：〒399-4598 長野県上伊那群南箕輪村 8304

3．研究室構成員(1998.10.1)

		Tel(0265)	Fax	E-mail
教　授	柴田　久夫	72-5255	76-3928	qhs5209@gipmc.shinshu-u.ac.jp
大学院生	修士課程	3 名		
学部学生		5 名		

4．現在の主な研究内容

・担子菌に含まれる生物活性物質の検索
・イグチ科きのこの化学分類学的研究
・菌根菌の成分と樹木との関連について
・担子菌の子実体、菌糸および菌根成分の関連

5．主な所有機器

・核磁気共鳴測定装置
・高分解能質量分析装置
・液体クロマトグラフ／質量分析装置(LC-MS)
・赤外線吸収スペクトル測定装置

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5 件)

(1) New Antibacterial Diterpenoids from the *Sarcodon scabrosus* Fun gus.
H. Shibata, A. Irie, Y. Morita : *Biosci. Biotechnol. Biochem.*, **62**(12), 2450-2452 (1998).

(2) Omatipolide, a Novel Phenolic Metabolite, *Boletus ornatipes*.
H. Shibata, T. Fukuda, T. Wada, Y. Morita, T. Hashimoto, Y. Asakawa : *Biosci. Biotechnol. Biochem.*, **62**(7), 1432-1434 (1998).

(3) Asia ticusin A and B, Novel prenylated phenolics from *Boletinus asiticus* and *B. paluster*(Boletaceae)fungi.
T. Wada, Y. Hayashi, H. Shibata : *Biosci. Biotechnol. Biochem.*, **60**(1), 120-121 (1996).

(4) きのこの成分をめぐる二、三の話題.
柴田久夫：第 40 回香料・テルペンおよび精油化学に関する討論会講演要旨集, S1-4, (1996).

(5) Haploporic acis A, a novel dimeric sesquiterpenoid from the basidiomycete *Haploporus odorus*.
Y. Morita, Y. Hayashi, Y. Sumi, A. Kodaira, H. Shibata : *Biosci. Biotechnol. Biochem.*, **59**(10), 2008-2009 (1995).

1．研究機関・研究室名

信州大学　医学部　医学科　社会医学系　衛生学講座

2．所在地および連絡先

住所：〒390-8621　松本市旭 3-1-1

3．研究室構成員（1998.12.15）

		Tel (0263)	Fax
助教授	二木　安之 （旧姓　星加）	35-4600 (ex 5206)	090-8773-3899（携帯切り換え）

4．現在の主な研究内容

・ケモバイタルサイン(Chemovital Sign)の社会医科学的臭気衛生学的研究－嗅感覚情報と極超微量臭気構成化学物質の高感度計測データとの対応研究

・臭気性物質とマウス、イヌ、ヒトの嗅覚受容器の分子（原子・微量元素）生物学的計測による相互反応性のキャラクタリゼーションと機能評価に関する研究

・化学形態計測による生体組織及び臓器の機能評価に関する研究

・地上オゾンの季節変動と反応性及び地球環境シグナルの解析研究並びに環境アセスメントに関する研究　　など

5．主な所有機器

・イオンクロマトグラフ（IC)、液体クロマトグラフ（LC）

・濃縮装置付きガスクロマトグラフ（TCD, FID, FPD, ECD, FTD）

・低濃度環境計測用オゾン濃度計（UV-O_3）

・環境計測用二酸化炭素ガス測定器（ND-IR-CO_2）

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3~5 件）

(1) A study on the determination of odor recognition threshold values of n- and iso-amyl(pentyl)acetates using Tedlar bag static methods.
Y. Hoshika, M. Nishikitani, K. Yokoyama, S. Araki : *Anal. Sci.*, **13** (Supplement), 505-508 (1997).

(2) Characterization of trace amounts of odorants in air of JR passenger car (Azusa) and its change by deodorization with ozone.
Y. Hoshika, S. Kawate, T. Shimatani, H. Wada, T. Matsumoto : S. Murakami ed. 5th International Conference on Air Distribution in Room, ROOMVENT 96, 191-196 (1996).

(3) X線分析による組織および臓器中微量元素の二次元イメージングと機能評価.
二木安之、二瓶好正、冨安文武乃進：特集　必須微量元素の臨床、日本臨牀、**69**(8), 192-201 (1996).

(4) Analyses of environmental and biological specimens by PIXE.
Y. Hoshika, Y. Mogami, K. Taguchi : *Intern J PIXE*, **5**(4), 265-271 (1995).

1．研究機関・研究室名

長野県衛生公害研究所

2．所在地および連絡先

住所：〒380-0944 長野市大字安茂里字米村1978
TEL：026-227-0354（代表）
FAX：026-224-3415
Web site(ホームページ)：http://www.nagano-eikouken.or.jp

3．研究室構成員(1998.10.1)

所　　長	藤島　弘道	fujishima@nagano-eikouken.or.jp
次　　長	降簱　敦海	fulihata@nagano-eikouken.or.jp
管理部長	赤塩　富夫	akashio@nagano-eikouken.or.jp
研究技監	近藤　文夫	kondou@nagano-eikouken.or.jp
研究企画幹	丸山　節子	maruyama@nagano-eikouken.or.jp
感染症部長	中村　和幸	nakamura@nagano-eikouken.or.jp
食品衛生部長	佐藤　守俊	sato@nagano-eikouken.or..jp
衛生化学部	込山　茂久	s.komiyama@nagano-eikouken.or.jp
水質部長	久保田昌利	kubota@nagano-eikouken.or.jp
大気部長	西澤　宏	nishizawa@nagano-eikouken.or.jp
環境化学部	石川　儀	isikawa@nagano-eikouken.or.jp
職員数	50名	

4．現在の主な研究内容

・食中毒の疫学的解析法の開発
・農産物及び生体試料中の汚染物質の分析
・室内空気モニタリングと暴露評価に関する研究
・水及び底質等の有機汚染物質を微量分析する方法の開発と応用
・水中の溶存有機物、無機物の挙動と消毒（副生成物）への影響
・水の富栄養化に関連した簡易水質分析法の開発とモニタリング
・中部山岳地域におけるエアロゾル成分濃度の変動と高濃度時の解析
・廃棄物埋め立て処分場に起因する有害物質による環境影響評価に関する研究
・下水道汚泥の処理に伴う硫化物の発生メカニズムと適正処理に関する調査研究

5．主な所有機器

・ガスクロマトグラフ／質量分析計（ＧＣ／ＭＳ）・高速液体クロマトグラフ
・蛍光Ｘ線分析装置　・イオンクロマトグラフ

6．最近の研究活動

1．研究機関・研究室名

静岡大学大学院・理工学研究科　生物地球環境科学専攻
静岡大学理学部・生物地球化学研究室

2．所在地および連絡先

住所：〒422-8529　静岡市大谷836

3．研究室構成員(1998.10.1)

		Tel(054)	Fax	E-mail
教　授	鈴木　款	238-4799	238-4799	seysuzu@sci.shizuoka.ac.jp
助教授	神田　穣太	238-4950		kanda@ sci.shizuoka.ac.jp
特別研究員	Alexandra Amat			Alex@ryukyu.ne.jp
	王　莉紅			sblwang@sci.shizuoka.ac.jp
大学院生	後期課程	4名	前期課程	6名
学部学生		5名		

4．現在の主な研究内容

・大気中の有機物エアロゾルの動態と気候変動
・海洋の有機物循環と炭素循環の収支
・サンゴ礁における炭素循環と生態系変動
・遠隔自動計測センサーの開発研究
・多孔質ガラスによる有機物分離濃縮システム開発の基礎研究

5．主な所有機器

・Flow Solution
・SUMIGRAPH NC－90A
・SUMIGRAPH TOC－90
・CO_2 Coulometer,Model CM5012

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5件）

(1) 黒潮混合域における粒子態有機物の動態.
鈴木　款、ベアトリス・カサレト：海洋科学，号外**13**，122-130 (1998).

(2) 大気中の炭素質エアロゾル濃度の季節変化と粒径分布.
鈴木　款、中村昭彦、横堀尚之：大気科学シンポジウム，69-73 (1998).

(3) Separating Biological and Physical Changes in Dissolved Oxygen Concetration in a Coral Reef.
S. Krains, Y. Suzuki., K. Yamada, H. Komiyama : *Limnol. Oceanogr.,* (1996).

(4) Biological Micro-Partcles in Rain Water.
B. E. Casareto, Y. Suzuki, K. Okada, M. Morita : *Geophys. Res. Lett.*, **23**, 173-176 (1996).

(4) 海洋における二酸化炭素の循環―物理的・化学的過程からのアプローチ.
鈴木　款：環境科学会誌，**9**，519-530 (1996).

1．研究機関・研究グループ名

静岡大学・工学部・共通講座・分析化学グループ

2．所在地および連絡先

住所：〒432-8561　浜松市城北 3-5-1

3．研究グループ構成員

		Tel(053)	Fax	E-mail
教　授	山田　眞吉	478-1274	478-1285	tssyama@eng.shizuoka.ac.jp
教　授	伊東　琢史	478-1287	478-1285	tstitou@eng.shizuoka.ac.jp
助教授	中村　基	478-1275	478-1285	tsmnaka@eng.shizuoka.ac.jp
助教授	會澤　宣一	478-1289	478-1285	tssaiza@eng.shizuoka.ac.jp
大学院生	前期課程	9 名		
学部学生		6 名		

4．現在の主な研究内容

・無機化学種の速度差分析法の開発
・蛍光検出 FIA による微量金属イオンの迅速分析システムの開発
・固相抽出法による農薬の分離分析
・金属錯体の反応機構論的研究とその分析化学への応用

5．主な所有機器

・蛍光分光光度計
・ HPLC
・ストップトフロー分光光度計

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5 件）

(1) 反応速度法による無機化学種の酸化状態別分析.
山田眞吉: 分析化学, **47**(10), 689-698 (1998).

(2) Circular Dichroism Spectrophotometric Determination of Metal Ions by Using Optically Resolved Sparingly Soluble *fac(S)*-[Rh(aet)$_3$] (aet = 2-Aminoethanethiolate).
S. Aizawa, Y. Sone, S. Yamada, M. Nakamura : *Chem. Lett.*, **1998**(8), 775-776.

(3) Inclusion Reaction of Some Fluorophores with Cyclodextrin and Effect on Their Reversed-Phase HPLC Retention.
S. Yamada, K. Murabayashi, M. Nakamura : *Anal. Sci.*, **14**(5), 897-901 (1998).

(4) Mechanistic Studies on Halo-Ligand Substitution of Five-Coordinate Trigonal-Bipyramidal Palladium(II) Complexes of Tris(2-diphenylphosphinoethyl)phosphine with Trimethylphosphite in Chloroform at Various Temperature and Pressures.
S. Aizawa, T. Iida, S. Funahashi : *Inorg. Chem.*, **35**(18), 5163-5167 (1996).

(5) Conditions for Solid-Phase Extraction of Agricultural Chemicals in Waters by Using n-Octanol-Water Partition Coefficients.
M. Nakamura, M. Nakamura, S. Yamada : *Analyst(London)*, **121**(4), 469-475 (1996).

1．研究機関・研究室名

静岡大学教育学部　理科教育（化学）

2．所在地および連絡先

住所：〒422-8529　静岡市大谷836

Web site(ホームページ)：http://www.shizuoka.ac.jp.

3．研究室構成員(1998.10.1)

		Tel (054)	Fax	E-mail
教　授	鈴木　諄亮	238-4625	237-3354	edjsuzu@ed.shizuoka.ac.jp

大学院生,　学部生,　教員留学生

4．現在の主な研究内容

・電気分析関係：　①化学溶出法によるキレート薄膜電極を用いる超微量分析法の開発

②等濃度分析法を用いる超微量分析法の開発

・放射分析関係：酸化還元不足当量法を用いる超微量分析法の開発

5．主な所有機器

・サイクリックボルタンメトリー装置

・高感度分光分析装置

・多機能自動滴定装置

・電気量測定装置

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5件)

(1) Radiometric Redox Titration of Antimony(III) with Potassium Iodate.
J. Suzuki, H. Yoshioka, T. Tabei : *J. Radioanal. Nucl. Chem., Lett.*, **154** (6), 379-391 (1991).

(2) Relationship between Water Activity and Mean-activity Coefficient of Electrolyses in NaCl and $NaClO_4$ Solutions.
H. Suganuma, S. Yoshida, K. Taniguchi, T. Omori, J. Suzuki : *Bull. Faculty Education, Shizuoka University, Natural Science Series,* **48**, 9-13 (1997).

(3) Chronopotentiometry Using the Convection Electrode System . Part II. Application of the Chemical Stripping Chronopotentiometry to the Determination of Antimony.
J. Suzuki, A. Sakashita : *Bull. Faculty Education, Shizuoka University, Natural Science Series,* in press.

(4) Hydrodynamic Voltammetry with the Convection Electrode. V. Application of Iso-concentration Method for Cathodic Stripping Voltammetry of Lead and Manganese.
J. Suzuki, T. Mizuno : *J. Electroanal. Chem.*, in press.

1．研究機関・研究室名

静岡県立大学・薬学部　薬品分析学講座

2．所在地および連絡先

住所：〒422-8526　静岡市谷田 52-1

Web site（ホームページ）：　http://w3.pharm.u-shizuoka-ken.ac.jp

3．研究室構成員（1998.10.1）

		Tel (054)	Fax	E-mail
教　授	豊岡　利正	265-5656	265-5593	toyooka@ys2.u-shizuoka-ken.ac.jp
講　師	宮原　武恒	265-5655	265-5593	miyahara@ys7.u-shizuoka-ken.ac.jp
講　師	大江　知行	265-5650	265-5593	oe@ys7.u-shizuoka-ken.ac.jp
助　手	石井　康子	265-5651	265-5593	ishii@ys7.u-shizuoka-ken.ac.jp

大学院生　　後期課程 1 名、　前期課程 4 名；　　学部学生 7 名

4．現在の主な研究内容

・光学活性蛍光標識試薬の開発と医薬品等キラル化合物の分離分析への応用
・レーザー蛍光法、化学発光法による生体成分等の高感度特異的分析法の開発
・液体クロマトグラフィー／マススペクトロメトリーおよびキャピラリー電気泳動／レーザー蛍光法による高感度分析法の開発
・蛍光金属指示薬の開発研究

5．主な所有機器

・液体クロマトグラフィー／マススペクトロメトリー装置（LC/MS）
・キャピラリー電気泳動／レーザー蛍光検出器（CE/LIF）
・液体クロマトグラフ／フォトダイオードアレイ検出器
・誘導結合プラズマ発光分析装置（ICP/AES）

6．最近の研究活動（論文等）

(1) Indirect Resolution of Thiol Enantiomers by High-performance Liquid Chromatography with a Fluorescent Chiral Tagging Reagent.
D. Jin, T. Toyo'oka : *Analyst*, **123**, 1271-1277 (1998).

(2) Total Resolution of 17 DL-Amino Acids Labelled with a Fluorescent Chiral Reagent, R-(-)-4-(3-Isothiocyanatopyrrilidine-1-yl)-7-(N,N-dimethylaminosulfonyl)-2,1,3-benzoxadiazole, by High-performance Liquid Chromatography.
D. Jin, K. Nagakura, S. Murofushi, T. Miyahara, T. Toyo'oka : *J. Chromatogr. A*, **822**, 215-224 (1998).

(3) Separation of Amino Acid and Peptide Stereoisomers by Nonionic Micelle-mediated Capillary Electrophoresis after Chiral Derivatization.
Y. M. Liu, M. Schneider, C. M. Sticha, T. Toyo'oka, J. V. Sweedler : *J. Chromatogr. A*, **800**, 345-354 (1998).

(4) Discrimination of D/L-Amino Acid in Peptide Sequence Based on Fluorescent Chiral Derivatization by Reversed-phase Liquid Chromatography.
T. Suzuki, T. Watanabe, T. Toyo'oka : *Anal. Chim. Acta*, **352**, 357-363 (1997).

1．研究機関・研究室名

静岡県立大学環境科学研究所、大学院生活健康科学研究科　環境物質科学専攻、

水質・土壌環境研究室

2．所在地および連絡先

住所：〒422-8526 静岡市谷田 52-1

Web site(ホームページ)：http://www.u-shizuoka-ken.ac.jp

3．研究室構成員(1998.10.1)

		Tel(054)	Fax	E-mail
教　授	相馬　光之	264-5729	264-5729	soma@sea.u-shizuoka-ken.ac.jp
助　手	谷　幸則	264-5728	264-5729	taniy@sea.u-shizuoka-ken.ac.jp
大学院生	後期課程　名			前期課程　8名
学部学生	名			研究生　名

4．現在の主な研究内容

・水、堆積物の化学組成から見た環境条件の研究
・藻類の光合成色素を指標とした湖沼環境の変遷に関する研究
・化学形態分析法の開発
・土壌酸性化の界面化学過程に関する研究

5．主な所有機器

・原子吸光分析装置(AAS)
・誘導結合プラズマ質量分析装置(ICP-MS)（研究所所有）
・ガスクロマトグラフ・質量分析装置(GCMS)
・イオンクロマトグラフ（研究所所有）

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5 件)

(1) Nuclear magnetic resonance and X-ray photoelectron spectroscopic investigation of lithium migration in montmorillonite.
B. K. G. Theng, S. Hayashi, M. Soma, H. Seyama : *Clays Clay Miner.*, **45**, 718-723 (1997).

(2) Surface alteration of biotite dissolving in acid solution.
H. Seyama, J. Sato, A. Tanaka, M. Soma, M. Tsurumi : ECASIA 97, I. Olefjord, L. Nyborg, D. Briggs, Eds., John Wiley & Sons, Chichester, 553-556 (1997).

(3) A cation selective electrode based on copper(II) and nickel(II) hexacyanoferrates: dual response mechanisms, selective uptake or adsorption of analyte cations.
Y. Tani, H. Eun, Y. Umezawa : *Electrochim. Acta*, **43**, 3431-3441 (1998).

1．研究機関・研究室名

静岡県環境衛生科学研究所

2．所在地及び連絡先

住所：〒420-8637　静岡市北安東4-27-2
Web site(ホームページ)：http://www2.shizuokanet.or.jp/eikanctr/

3．研究室構成員

Tel：054-245-0201　Fax：054-245-7636
E-mail：eikanctr@shizuokanet.or.jp

所　長	中村　信也	
副所長	磐本　昭夫・永野　隆夫	技　監　安富　俊雄
管理部長	花嶋　勇	（総務課　6名／企画調整課　4名）
微生物部長	宮本　秀樹	（環境微生物 3名／ウイルス 4名／食品微生物 4名）
医薬品生活部長	永野　隆夫	（医薬食品 7名／生活科学 4名）
環境科学部長	前嶋　孝明	（環境科学 4名／環境情報 3名）
大気・水質部長	飯嶋　章一	（水質環境 6名／大気騒音環境6名／技術指導 8名）
東部支所長	浅岡　龍郎	（所員 4名）　西部支所長　梅原　鎬市（所員 4名）

4．現在の主な研究内容

・アサリの漬け水とビブリオ汚染と腸炎ビブリオ食中毒との初発時期との関係
・配置薬の品質管理に関する問題点について
・着色排水処理の研究
・環境教育プログラムの研究、開発および提供

5．主な所有機器

・テレメーター監視装置
・液体クロマトグラフ質量分析計
・ガスクロマトグラフ質量分析計
・騒音振動データ収集装置

6．最近の研究活動

(1) Isolation of Coxiella burnetii from the vagina of feline clients of veterinaly clinics.
H. Nagaoka, M. Sugieda, M. Akiyama, T. Nishina, S, Akahane, K. Fujiwara : *J. Vet. Med. Sci.*, **60**(2), 251-252 (1998).

(2) 薬事監視員向けの試験検査部門調査用テキストの作成.
小和田和宏、佐藤四郎、堀池あずさ、内田恵、佐野智子、渡辺武明、永野隆夫：静岡県環境衛生科学研究所報告、No. **40**, 25-29 (1997).

(3) 酸性雨の調査手法に関する研究.
三好廣志、中山洋、小原九一、鈴木智行、安富俊雄：静岡県環境衛生科学研究所報告、No. **40**, 81-86 (1997).

(4) 排ガス中の各種イオンのイオンクロマトグラフィー（ＩＣ）による分析手法の検討.
萱沼広行、竹下昭二、深谷謙一、永田嘉七、篠原英二郎、田端孝光、飯嶋章一：静岡県環境衛生科学研究所報告、No. **40**, 119-122 (1997).

1．研究機関・研究室名

静岡県浜松工業技術センター・地域産業技術部　繊維新素材技術スタッフ

2．所在地および連絡先

住所：〒431-2103　静岡県浜松市新都田１－３－３

Web site(ホームページ)：http://www.h-iri.pref.shizuoka.jp

3．研究室構成員(1998.10.1)

		Tel(053)	Fax	E-mail
研究主幹	井上　伊三夫	428-4153	428-4160	inoue@h-iri.pref.shizuoka.jp
研究主幹	前嶋　義夫	428-4153	428-4160	maeshima@h-iri.pref.shizuoka.jp
主任研究員	小林　正治	428-4153	428-4160	masaharu@h-iri.pref.shizuoka.
副主任	三浦　清	428-4153	428-4160	miura@h-iri.pref.shizuoka.
技　師	木野　浩成	428-4153	428-4160	kino@h-iri.pref.shizuoka.
技　師	針幸　達也	428-4153	428-4160	harikou@h-iri.pref.shizuoka.jp
技　師	坂井　千恵	428-4153	428-4160	sakai@h-iri.pref.shizuoka.jp

4．現在の主な研究内容

・ＦＩＡ（フローインジェクション分析）法を応用した繊維加工用濃度モニタの開発

・FIA／ﾊﾟﾙｽｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝ法による機能性物質と繊維との反応特性の解析

・綿の酵素精練、酵素漂白など酵素を利用した繊維加工技術の開発

・糖質由来の物質を共有結合させた機能性綿織物の開発

5．主な所有機器

・マルチチャンネル型分光光度計

・セルラーゼ活性自動測定装置（FIA／鉄試薬法）

・分光蛍光光度計

・液流染色機

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5件）

(1) 染色工場におけるプロセスモニタとしてのＦＩＡシステムの応用.
植田浩安、前嶋義夫、石原彰浩、大石光一:第27回ﾌﾛｰｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝ分析講演会要旨集、8-9(1996).

(2) FIA／ﾊﾟﾙｽｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝ法によるポリウレタン繊維と茶カテキンの反応性について.
三浦　清、前嶋義夫、坂井千恵他：第33回ﾌﾛｰｲﾝｼﾞｪｸｼｮﾝ分析講演会要旨集、19-20(1998).

(3) 綿と茶カテキンの反応特性.
長津義之、前嶋義夫他：繊維学会予稿集、F-111(1998(F)).

(4) 酵素を利用した綿織物の漂白.
石原彰浩、前嶋義夫、植田浩安、大石光一：繊維学会予稿集、F-79(1997(F)).

(5) 酵素精練における精練効果の評価法.
針幸達也、木野浩成、前嶋義夫：第12回繊維学会東海支部若手繊維研究会講演要旨集、15-16(1998).

1．研究機関・研究室名

農林水産省　野菜・茶業試験場　茶利用加工部　品質化学研究室

2．所在地および連絡先

住所：〒428-8501 静岡県榛原郡金谷町金谷 2769
Web site(ホームページ)：http://www.tea.affrc.go.jp

3．研究室構成員(1998.10.1)

		Tel(0547)	Fax	E-mail
室　長	木幡　勝則	45-4982	46-2169	kks914@tea.affrc.go.jp
主任研究官	堀江　秀樹	45-4982	46-2169	horie@tea.affrc.go.jp
特別研究員	山内　雄二	45-4982	46-2169	yujiyama@tea.affrc.go.jp
農業技術研修生		1名		

4．現在の主な研究内容

・茶の健全性評価技術の開発（クロロフィル分解物・シュウ酸・アルミニウム・農薬・添加物など）
・茶の科学的品質評価手法の開発（キャピラリー電気泳動法・バイオセンサーなど）
・茶中の機能性物質の検索と評価（サポニン、カテキン類、フッ素、テアニンなど）

5．主な所有機器

・LC-MS、GC-MS
・誘導結合プラズマ発光分析装置(ICP-AES)、イオンクロマトグラフ
・核磁気共鳴装置(NMR)
・顕微 FT-IR、近赤外分光光度計(NIR)
・キャピラリー電気泳動装置、高速液体クロマトグラフ

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5件)

(1) Pheophorbide *a* Content and Chlorophyllase Activity in Green Tea.
K. Kohata, K. Hanada, Y. Yamauchi, H. Horie : *Biosci. Biotechnol. Biochem.*, **62** (9), 1660-1663 (1998).

(2) Application of Capillary Electrophoresis to Tea Quality Estimation.
H. Horie, K. Kohata : *J. Chromatogr. A,* **802**, 219-223 (1998).

(3) Flow Injection Analysis of (-)-Epigallocatechin Gallate in Green Tea Infusions with an Immobilized Tannase Reactor.
H. Horie, T. Mukai, K. Kohata, T. Goto : *Food Sci. Technol. Int. Tokyo,* **3** (1), 27-30 (1997).

(4) てん茶保存中に生じる白色紛状物質の顕微 FT-IR 法による同定.
木幡勝則、堀江秀樹、向井俊博、深津修一：茶業研究報告, **83**, 17-20 (1996).

(5) 化学センサーを用いた食品分析.
堀江秀樹：*Food & Food Ingredients J. Jpn.,* **166**, 61-67 (1995).

1．研究機関・研究室名

浜松医科大学・医学部　化学教室

2．所在地および連絡先

住所：〒431-3192 浜松市半田町 3600

3．研究室構成員(1998.10.1)

		Tel(053)	Fax	E-mail
助教授	藤本　忠蔵	435-2320	435-1626	fujimoto@hama-med.ac.jp
教務員	記野　順	435-2319	435-2319	kinojun@hama-med.ac.jp
技　官	外山　美奈	435-2319	435-1626	minasan@hama-med.ac.jp
学部学生		1 名		

4．現在の主な研究内容

・キャピラリーエレクトロクロマトグラフィーカラムの開発
・ミセル動電クロマトグラフィーの新規擬似固定相に関する研究
・生体微量成分の濃縮と検出に関する研究

5．主な所有機器

・ミクロ HPLC システム
・キャピラリー電気泳動装置

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5 件）

(1) Packing Materials and Separation Efficiencies in Capillary Electrochromatography.
C. Fujimoto : *Trends Anal. Chem.*, in press.

(2) Fritless Packed Columns with Great Potential for Use in Capillary Electrochromatography.
C. Fujimoto : *Analusis*, **26**(5), M49-M52(1998).

(3) Electrokinetic Chromatography Using Nanometer-Sized Silica Particles as the Dynamic Stationary Phase.
C. Fujimoto, Y. Muranaka : *J. High Resol. Chromatogr.*, **20**(7), 400-402(1997).

(4) Fritless Packed Columns for Capillary Electrochromatography: Separation of Uncharged Compounds on Hydrophobic Hydrogels.
C. Fujimoto, Y. Fujise, E. Matsuzawa : *Anal. Chem.*, **68**(17), 2753-2757(1996).

1．研究機関・研究室名

沼津工業高等専門学校・物質工学科

2．所在地および連絡先

住所：〒410-8501 沼津市大岡 3600

Web site(ホームページ)：http://www.busitu.numazu-ct.ac.jp/index.html

---

3．研究室構成員(1998.10.1)

		Tel(0559)	Fax	E-mail
助教授	望月　明彦	28-3711	28-3711	motizuki@cab.numazu-ct.ac.jp
専攻科生	4 名			
本科生	5 名			

4．現在の主な研究内容

・蛍光 X 線分析によるトルコの黒曜石産地の判別

・関東地方・中部地方の旧石器時代遺跡出土の黒曜石製石器の産地推定

5．主な所有機器

・エネルギー分散蛍光 X 線分析装置

・原子吸光分析装置

・イオンクロマトグラフ

6．最近の研究活動

(1) 蛍光 X 線分析によるトルコの黒曜石産地の分類（Ⅰ）－中央アナトリアの黒曜石産地の分類とカマン・カレホユック出土の黒曜石製石器の産地推定－.
望月明彦：アナトリア考古学研究, **6**, 169-185 (1997).

(2) 蛍光 X 線分析による中部・関東地方の黒曜石産地の判別.
望月明彦：X 線分析の進歩, **28**, 157-168 (1997).

(3) 黒曜石の原産地を推定する蛍光 X 線分析法.
望月明彦（分担執筆）：文化財を探る科学の眼（国土社），第 **2** 巻, 15-20, (1998).

(4) 黒曜石の産地推定による静岡県東部の旧石器時代における黒曜石利用の変化.
辺見哲也，望月明彦，池谷信之，高尾好之：日本文化財科学会第 15 回大会 (1998, 千葉).

1．研究機関・研究室名

愛知工業大学・応用化学科　分析化学研究室

2．所在地および連絡先

住所：〒470-0392 豊田市八草町八千草 1247
Web site(ホームページ)：

3．研究室構成員(1998.10.1)

		Tel(0565)	Fax	E-mail
教　授	酒井　忠雄	48-8121 内 2206	48-0076	tadsakai@ac.aitech.ac.jp
教　授	太田　洋	48-8121 内 2202	48-0076	envrac95@ac.aitech.ac.jp
講　師	手嶋　紀雄	48-8121 内 2218	48-0076	teshima@ ac.aitech.ac.jp
大学院生	修士	3 名		
学部学生		20 名		

4．現在の主な研究内容

・イオン会合反応におけるイオン識別機構の解明：
　CT 錯体のサーモクロミズムの解析と塩基性有機化合物の分別分析への応用
・フローインジェクション分析法による自動計測システムの開発：
　無機材料・環境試料及び生体関連物質中微量成分の迅速ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞｼｽﾃﾑの構築
・環境情報のデータベース化

5．主な所有機器

・蛍光分光光度計
・可視紫外分光光度計
・キャピラリー電気泳動装置
・フローインジェクション分析装置
・ESCA，FT-IR，GC-MS，X 線回折，超伝導 NMR（共通機器）

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5 件）

(1) Thermospectrophotometric Analysis of Alkylamines Utilizing Ion Association with Tetrabromophenolphthalein Ethyl Ester.
T. Sakai, S. Watanabe, S. Yamamoto : *Anal. Chem.*, **69**, 1766-1770 (1997).

(2) New Phase Separator for Extraction-Spectrophotometric Determination of Anionic Surfactants with Malachite Green by Flow Injection Analysis.
T. Sakai, H. Harada, X. Liu, N. Ura, K. Takeyoshi, K. Sugimoto : *Talanta*, **45**, 543-548 (1998).

(3) キナアルカロイドとテトラヨードフルオレセインとの三元イオン会合体生成を利用する第四級アンモニウム塩の抽出吸光光度定量.
酒井忠雄，広瀬彰彦，佐々木英人：分析化学, **47**, 1013-1020 (1998).

(4) Successive Potentiometric Titration of Chromium(VI) and Iron(III) with Cobalt(II) in the Presence of 1,10-Phenanthroline.
H. Katsumata, N. Teshima, T. Kawashima : *Bull. Chem. Soc. Jpn.*, **70**, 2151-2154 (1997).

(5) Flow-injection/Standard Subtraction Method for the Determination of Iron(III) Based on Its Catalytic Effect and Inhibition of EDTA.
T. Watanabe, N. Teshima, S. Nakano, T. Kawashima : *Anal. Chim. Acta*, **374**, 303-307 (1998).

1．研究機関・研究室名

愛知教育大学教育学部化学教室長沼研究室

2．所在地および連絡先

住所：〒448-0001 刈谷市井ケ谷町広沢１

Website（ホームページ）：http://www.chem.aichi-edu,ac,jp/chem/Naganuma.htm

---

3．研究室構成員（1998.12.1）

		TEL & FAX	E-mail
教　授	長沼　健	0566-26-2353	knaganu@aichi-edu.ac.jp
大学院生	前期課程	2名	
学部学生		3名	

4．現在の主な研究内容

・ザンセン色素を用いた金属イオン対分配蛍光法
・高分子膜を用いた簡易分析法の開発
・環境ホルモン物質の包接蛍光分析
・環境教育に利用できる簡便な分析法の開発

5．主な所有機器

・蛍光分光光度計
・イオンクロマトグラフ
・ボルタンメトリー分析計

6．最近の研究活動（論文・解説・学会発表・特許等）

(1) ローダミンBとのイオン会合体のポリ塩化ビニルフィルム吸着による水銀(Ⅱ)の吸光光度定量.

李　捍東，長沼　健：分析化学，**45**(2), 185-187 (1996).

(2) PVCフィルム吸着比色法による陰イオン界面活性剤の簡易分析―生活排水調査と環境教育への利用―.

長沼　健，花井友則，李　捍東，杉山美津夫，梶山正明：化学と教育，**44**(5), 329-332 (1996).

(3) ローダミンBと2-テノイルトリフルオロアセトンを用いたウランの抽出／蛍光定量.

長沼　健，都築　智，金　継業：分析化学，**39**(3), 197-199 (1990).

(4) ミセル中の多環芳香族炭化水素の発光特性と分析法の開発.

長沼　健，伊奈紀幸，木下美紀，李　捍東：愛知教育大学研究報告（自然科学），**47**, 17-21, (1998).

1．研究機関・研究室名

大同工業大学・工学部・化学教室

2．所在地および連絡先

住所：〒457-8532　名古屋市南区白水町 40

Web site(ホームページ)：http://www.daido-it..ac.jp/

3．研究室構成員(1998.12.18)

		Tel(052)	Fax	E-mail
教　授	大下　一政	612-5571	612-5953	kohshita@daido-it.ac.jp
教　授	酒井　陽一	612-5571	612-5953	yocsakai@daido-it.ac.jp

4．現在の主な研究内容

・メスバウアー分光法による工業材料試料、環境試料の状態分析

・中性子放射化分析、即発ガンマ線分析による微量元素の定量

5．主な所有機器

・メスバウアー分光器

・原子吸光分析装置

・液体クロマトグラフ

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5 件)

(1) Determination of trace copper in water samples by neutron activation analysis preceded by preconcentration on activated carbon powder.
Y. Sakai, K. Tomura, K. Ohshita, S. Koshimizu : *J. Radioanal. Nucl. Chem.*, **230**(1-2), 261-263 (1998).

(2) Geochemical study of trace vanadium in water by preconcentrational neutron activation analysis.
Y. Sakai, K. Ohshita, S. Koshimizu, K. Tomura : *J. Radioanal. Nucl. Chem.*, **216**(2), 203-212 (1997).

(3) Line shape simulation of prompt γ-rays of energetic ^{7*}Li ejected from thin boron film on silicon wafer.
Y. Sakai, M. K. Kubo : *Radiochim. Acta*, **79**, 7-10 (1997).

(4) 高純度化技術大系、第１巻、分析技術　第 17 章　第３節メスバウアー分光法.
酒井陽一：フジテクノシステム　(1996).

(5) Mössbauer characterization and prompt γ-ray analysis of the products of thermit reactions.
Y. Sakai, K. Ohshita, M. K. Kubo, C. Yonezawa, H. Matsue, H. Sawahata, Y. Ito, S. Iwama : *J. Radioanal. Nucl. Chem*, (1999) in press.

1．研究機関・研究室名

名古屋工業大学・工学部　応用化学科　応用化学基礎講座　分析化学研究室

2．所在地および連絡先

住所：〒466-8555　名古屋市昭和区御器所町
Web site(ホームページ)：http://www.nitech.ac.jp

3．研究室構成員 (1998.10.1)

		Tel(052)	Fax	E-mail
教　授	和田　弘子	735-5211	735-5247	wada@ach.nitech.ac.jp
助教授	山田　碩道	735-5223	735-5223	yamada@ach.nitech.ac.jp
助教授	湯地　昭夫	735-5230	735-5230	yuchi@ach.nitech.ac.jp
助　手	土井　邦雄	735-5238	735-5247	doi@ach.nitech.ac.jp
助　手	安井　孝志	735-5248	735-5247	yasui@ach.nitech.ac.jp
技　官	小澤　忠夫	735-5252	735-5247	ozawa-t@ach.nitech.ac.jp
大学院生	後期課程	2 名		前期課程　7 名
学部生		21 名		研究生　2 名

助教授	小島　功	735-5219	735-5247	kojima@ach.nitech.ac.jp
助教授	内田　哲男	735-5222	735-5247	uchida@ach.nitech.ac.jp
学部生		8 名		

助教授	津田　孝雄	735-5220	735-5220	takao@ach.nitech.ac.jp
研究補助員	北川　慎也			
大学院生	後期課程	1 名		
学部生		5 名		

4．現在の主な研究内容

- 金属イオンのプレカラム誘導体化試薬としてのヘテロ環アゾ化合物の評価
- 金属イオンの抽出試薬としてのカルボン酸の研究
- 溶媒抽出における低有害性混合溶媒の開発に関する基礎的研究
- キレート樹脂への金属イオンの吸着
- ルイス酸を用いる陰イオンの分離・検出
- 多座配位子と金属イオンとの錯形成反応

- 微量金属の抽出分離分析法
- ケイ酸塩、鉄鋼の主及び微量成分の分析
- 各種試料の密閉容器分解法

- 電場を利用した分離場の導入：電気クロマトグラフィー
- 単一細胞のハンドリングや測定：対象としてヒトの赤血球
- 宇宙ステーション用のライフサイエンス分離システムの構築
- ヒトの汗の観察とその成分の測定システム

5. 主な所有機器

・ポーラログラフ
・高速液体クロマトグラフ
・誘導結合プラズマ発光分光分析装置 (ICP-AES)
・分光光度計
・フレーム原子吸光光度計
・ＧＣ／ＭＳ
・ガスおよび液体クロマトグラフ
・キャピラリー電気泳動装置
・ＣＣＤ観察装置

6．最近の研究活動

(1) Polymerization and Adduct Formation of Some Lanthanide(III) Decanoates in the Extraction of Lanthanides(III) with Decanoic Acid Using 1-Octanol and Benzene as a Solvent.
H. Yamada, M. Miyashita, Y. Sekiguchi, M. Kojima and H. Wada : *Anal. Sci.*, **14**, 703-711 (1998).

(2) Utility of an Octane/1-Octanol Mixed Solvent for the Determination of Formation and Partition Constants of Ion Associates in the Extraction of Copper(II) with 2-(2-Pyridylazo)-1-naphthol-4-sulfonic Acid and with Tetrabutylammonium Cation.
H. Yamada, K. Teranishi, H. Niwa, Y. Shigematsu, T. Uchida, H. Wada : *Anal. Sci.*, **13**, 545-551 (1997).

(3) Adsorption Mechanism of Trivalent Metal Ions on Chelating Resins Containing Iminodiacetic Acid Groups with Reference to Selectivity.
A. Yuchi, T. Sato, Y. Morimoto, H. Mizuno, H. Wada : *Anal. Chem.*, **69**(15), 2941-2944 (1997).

(4) Use of 2-Quinolylazo Compounds for the Reversed-Phase High-Performance Liquid Chromatographic Separation of Metal Ions.
H. Niwa, T. Yasui, A. Yuchi, H. Yamada, H. Wada : *J. Chromatogr. A*, **789**, 491-496 (1997).

(1) Selective Extraction and "One-Drop" Flame Atomic Absorption Spectrometric Determination of Silver in Biological Standard Reference Materials.
I. Kojima, M. Katsuzaki : *Anal. Sci.*, **13**, 1021-1023 (1997).

(2) Inductively Coupled Plasma Mass Spectrometric Determination of gold in serum: Comparison with Flame and Furnace Atomic Absorption Spectrometry.
M. Higashiura, H. Uchida, T. Uchida, H. Wada : *Anal. Chim. Acta*, **304**, 317-321 (1995).

(1) Modeling and Optimization of Enantioseparation by Capillary Electrochromatography.
Y. Deng, J. Zhang, T. Tsuda, P. H. Yu, A. A. Boulton, R. M. Cassidy : *Anal. Chem.*, **70**, 4586-4593 (1998).

(2) Voltage-Induced Sample Release from Anion Exchange Supports in Capillary Electrochromatography.
S. Kitagawa, T. Tsuda : *Anal. Sci.*, **14**, 571-575 (1998).

(3) 電場下のマイクロ空間における赤血球細胞の挙動に基づく血液型判定の可能性.
北川 慎也、津田 孝雄、野崎 修： 分析化学, **47**, 355-359 (1998).

(4) Novel Instrumentation for Determination of Ethanol Concentration in Human Perspiration by Gas Chromatography and a Good Interrelationship with Ethanol Concentration in Sweat and Blood.
T. Kamei, T. Tsuda, Y. Mibu, S. Kiatagawa, H. Wada, K. Naitoh, K. Nakashima : *Anal. Chim. Acta*, **365**, 259-266 (1998).

1．研究機関・研究室名

名古屋大学大学院・理学研究科　物質理学専攻　分析化学研究室

2．所在地および連絡先

住所：〒464-8602　名古屋市千種区不老町

Web site（ホームページ）：http://chem4.chem.nagoya-u.ac.jp/lac/home.html

---

3．研究室構成員(1998.10.1)

		Tel(052)	Fax	E-mail
教　授	舟橋　重信	789-2940	789-2941	sfuna@chem4.chem.nagoya-u.ac.jp
助教授	高木　秀夫	789-5473		i45289a@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp
助　手	稲田　康宏	789-3659		yinada@chem4.chem.nagoya-u.ac.jp
事　務	丹羽　ちづる	789-2940	789-2941	sec_lac@chem4.chem.nagoya-u.ac.jp
大学院生	後期過程	4名		前期過程　4名
学部学生		6名		研究生　6名

4．現在の主な研究内容

・分析化学反応の機構論的研究と速度論的分析

・短寿命不安定化学種の構造化学的研究と動態分析の開拓

・電気化学的手法を用いた不安定化学種の配位構造や電子状態の分析

5．主な所有機器

ストップトフロー高速反応解析装置，高圧ストップトフロー装置，核磁気共鳴装置(400MHz, 270MHz)，高圧 NMR 装置，電子スピン共鳴装置，赤外吸収測定装置，電気化学分析装置，X線吸収測定装置，X線回折測定装置，単結晶X線構造解析装置，電位差測定装置

6．最近の研究活動（論文・総説）

(1) Solvation Structure Determination of Nickel(II) Ion in Six Nitriles Using Extended X-Ray Absorption Fine Structure Spectroscopy.
Y. Inada, S. Funahashi : *Anal. Sci.*, **13**, 373-377 (1997).

(2) Speciation of Trimethyltin(IV): Hydrolysis, Complexation Equilibria, and Strucures of Trimethyltin(IV) Ion in Aqueous Solution.
Takahashi, T. Natsume, N. Koshino, S. Funahashi, Y. Inada, H. D. Takagi : *Can. J. Chem.*, **75**, 1084-1092 (1997).

(3) Solvation Structures and Kinetics of Solvent Exchange Reactions of the Manganese(II) Ion in Six Nitriles As Studied by X-Ray Diffraction, EXAFS, and NMR Methods.
Y. Inada, T. Sugata, K. Ozutsumi, S. Funahashi : *Inorg.Chem.*, **37**(8), 1886-1891 (1998).

(4) Formation and Deprotonation Kinetics of the Sitting-Atop Complex of Copper(II) Ion with 5,10,15,20-Tetraphenylporphyrin Relevant to the Porphyrin Metalation Mechanism. Structure of Copper(II)-Pyridine Complexes in Acetonitrile As Determined by EXAFS Spectroscopy.
Y. Inada, Y. Sugimoto, Y. Nakano, Y. Itoh, S. Funahashi : *Inorg. Chem.*, **37**(21), 5519-5526 (1998).

1．研究機関・研究室名

名古屋大学大学院・工学研究科　応用化学専攻　応用計測化学講座

2．所在地および連絡先

住所：〒464-8603　名古屋市千種区不老町

ホームページ：http://www.apchem.nagoya-u.ac.jp/ouka5/Index.html

3．研究室構成員（1998.10.1）

		Tel(052)	Fax	E-mail
教　授	柘植　新	789-4664	789-4666	shin@apchem.nagoya-u.ac.jp
助教授	大谷　肇	789-3560	789-4666	hajime@apchem.nagoya-u.ac.jp
助　手	石田　康行	789-4666	789-4666	yuki@apchem.nagoya-u.ac.jp
博士研究員	佐藤　浩昭	789-4498	789-4666	h-sato@mail.apchem.nagoya-u.ac.jp
大学院生	後期課程	2名		前期課程　11名
学部学生		6名		研究生　3名

4．現在の主な研究内容

- クロマトグラフィーの基礎と応用
- 高分子の構造キャラクタリゼーション
- 分子スペクトル分析の応用（IR, NMR, MS）
- 微生物や天然高分子の環境化学的研究
- 高分子材料のリサイクルの基礎研究

5．主な所有機器

- 熱分解ガスクロマトグラフ/質量分析計（Py-GC/MS）
- 熱分解ガスクロマトグラフ/原子発光検出器（Py-GC/AED）
- マトリックス支援レーザー脱離-飛行時間型質量分析計（MALDI-TOFMS）
- 超臨界流体クロマトグラフ/超臨界流体抽出装置（SFC/SFE）

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5件）

(1) Structural Characterization of Polymeric Materials by Pyrolysis-GC/MS.
S. Tsuge, H. Ohtani : *Polym. Degrad. Stab.*, **58**(1-2), 109-130 (1997).

(2) Determination of the Degree of Acetylation of Chitin/Chitosan by Pyrolysis-Gas Chromatography in the Presence of Oxalic Acid.
H. Sato, S. Mizutani, S. Tsuge, H. Ohtani, K. Aoi, A. Takasu, M. Okada, S. Kobayashi, T. Kiyosada, S. Shoda : *Anal. Chem.*, **70**(1), 7-12 (1998).

(3) 反応熱分解ガスクロマトグラフィーによる合成高分子および天然有機物のキャラクタリゼーション.
石田康行, 大谷　肇, 柘植　新：分析化学, **47** (10), 673-688 (1998).

(4) プログラム昇温熱分解-質量分析法による機能性高分子材料のキャラクタリゼーション.
佐藤浩昭, 大谷　肇, 柘植　新：*J. Mass Spectrom. Soc. Jpn.*, **46** (4), 283-288 (1998).

1．研究機関・研究室名

名古屋大学大学院・工学研究科　応用化学専攻　分析化学講座

2．所在地および連絡先

住所：〒464-8603 名古屋市千種区不老町

Web site(ホームページ)：http://www.apchem.nagoya-u.ac.jp/ouka2/index.html

---

3．研究室構成員(1998.10.1)

		Tel(052)	Fax	E-mail
教　授	原口　紘炁	789-4603	789-5290	haraguch@apchem.nagoya-u.ac.jp
助教授	千葉　光一	789-4665	789-4665	chiba@apchem.nagoya-u.ac.jp
助　手	伊藤　彰英	789-3198	789-4665	akihide@apchem.nagoya-u.ac.jp
助　手	藤森　英治	789-3917	789-5420	fujimori@apchem.nagoya-u.ac.jp
技　官	永田　陽子	789-4665	789-4665	nagata@apchem.nagoya-u.ac.jp
特別研究員	保倉　明子	789-5288	789-4665	a_hokura@mail.apchem.nagoya-u.ac.jp
大学院生	後期課程	6名		前期課程　10名
学部学生		6名		研究生　名

4．現在の主な研究内容

・原子スペクトル法を用いる超高感度分析法の開発
・クロマトグラフィーによる高選択性多機能分離法の開発
・大気中温室効果ガスの連続モニタリング
・地球システムの全元素化学の構築

5．主な所有機器

・誘導結合プラズマ発光分析装置(ICP-AES)
・誘導結合プラズマ質量分析装置(ICP-MS)
・蛍光X線分析装置
・イオンクロマトグラフ

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5件)

(1) Counterionic Detection by ICP-MS for Determination of Inorganic Anions in Water Elution Ion Chromatography Using Zwitterionic Stationary Phase.
T. Umemura, R. Kitaguchi, H. Haraguchi : *Anal. Chem.*, **70**(5), 936-942 (1998).

(2) Multielement Determination of Major-to-Ultratrace Elements in Natural Solar Salt by ICP-AES and ICP-MS after Chelating Resin Preconcentration.
Shan Ji, C. Kimata, E. Fujimori, A. Itoh, K. Chiba, H. Haraguchi : *Biomed. Res. on Trace Elements,* **8**(1), 37-46 (1997).

(3) Speciation of Ytrium and Lanthanides in Natural Water by Inductively Coupled Plasma Mass Spectrometry after Preconcentration by Ultrafiltration and with a Chelating Resin.
H. Haraguchi, A. Itoh, C. Kimata, H. Miwa : *Analyst.*, **123**(5), 773-778 (1998).

(4) 拡張元素普存説と生体微量元素.
原口紘炁，稲垣和三，保倉明子，松浦博孝：微量栄養素研究, **15**, 11-22 (1998).

1．研究機関・研究室名

名古屋大学大学院・工学研究科　物質制御工学専攻　物質計測工学講座

2．所在地および連絡先

住所：〒464-8603 名古屋市千種区不老町

Web site(ホームページ)：http://mol.nagoya-u.ac.jp/seigyo5/

3．研究室構成員(1998.10.1)

		Tel(052)	Fax	E-mail
教　授	平出　正孝	789-3590	789-3241	hiraide@numse.nagoya-u.ac.jp
助　手	田中　智一	789-3591	789-3241	tanaka@numse.nagoya-u.ac.jp
大学院生	前期課程	10名		
学部学生		7名		

4．現在の主な研究内容

・界面を用いる高機能性分離媒体の創製とトレースアナリシスへの応用
・誘導結合プラズマ発光分光/質量分析計の特性評価と高感度・高精度化
・溶液中の各種微量元素および超微粒子の化学的・物理的分離技術の開発
・天然起源有機物質の環境科学的研究と水圏有害元素の存在形態別計測

5．主な所有機器

・誘導結合プラズマ発光分析装置(ICP-AES)
・誘導結合プラズマ質量分析装置(ICP-MS)
・ストリッピング・ボルタンメトリー装置
・黒鉛炉/フレーム原子吸光分析装置
・液体クロマトグラフ

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5件)

(1) Collection of Traces of Heavy Metals on a Thermally Reversible Polymer for the Analysis of River Water and Seawater.
M. Hiraide, A. Morishima : *Anal. Sci.*, **13**(5), 829-831 (1997).

(2) Collection of Trace Heavy Metals on Dithizone-Impregnated Admicelles for Water Analysis.
M. Hiraide, W. Shibata : *Anal. Sci.*, **14**(6), 1085-1088 (1998).

(3) 分離・分取法の基礎知識 "浮選".
平出正孝：ぶんせき, **1998**(3), 156-163 (1998).

(4) 水冷トーチを用いる減圧ヘリウムICP質量分析法.
田中智一, 小林　圭, 平出正孝：分析化学（印刷中).

(4) Separation of Copper(II) Ions from Humic Complexes with Oxine-Impregnated Emulsion Globules.
M. Hiraide, K. Hasegawa : *Fresenius' J. Anal. Chem.*, in press.

1．研究機関・研究室名

名古屋大学・留学生センター・短期留学部門／工学研究科材料プロセス工学専攻・物質計測工学専攻　材料分析学講座

2．所在地および連絡先

住所：〒464-8603 名古屋市千種区不老町 (TEL: 052-789-5405, 3244)
Web site(ホームページ)：(工学研究科) http://mol.nagoya-u.ac.jp/seigyo5/
(留学生センター)http://www.ecis.nagoya-u.ac.jp/

3．研究室構成員

(工学研究科物質制御工学専攻物質計測工学講座を兼担)

			Tel(052)	Fax	E-mail
教　授	野水　勉	(留)	789-5405	789-4201	nomizu@numse.nagoya-u.ac.jp
		(工)	789-3244	789-3244	

大学院生	後期課程	0名		前期課程	3名
学部学生		2名		研究生	0名

4．現在の主な研究内容

・プラズマ発光・質量分析法による個別粒子分析システム開発
・磁気クロマトグラフィーによる磁性粒子の分離
・走査プローブ顕微鏡による材料表面化学反応の微視的研究

5．主な所有機器

・原子吸光分析装置(フレーム、フレームレス)
・ ICP 発光分析装置、ICP 質量分析装置
・走査プローブ顕微鏡 (走査トンネル電子顕微鏡、原子間力顕微鏡)

6．最近の研究活動（論文）

(1) Magnetic Chromatography of Magnetic Fine Particles Suspended in a Liquid with a Steel-Bead Column under a Periodically Intermittent Magnetic Field.
T. Nomizu, H. Nakashima, M. Sato, T. Tanaka, H. Kawaguchi : *Anal. Sci.*, **12**(6), 892-834 (1996).

(2) Optimization of Operating Conditions in Individual Airborne Particle Analysis by Inductively Coupled Plasma Mass Spectrometry.
S. Kaneco, T. Nomizu, T. Tanaka, N. Mizutani, H. Kawaguchi : *Anal. Sci.*, **11**(5), 865-840 (1995).

(3) Determination of Calcium Content in Individual Biological Cells by Inductively Coupled Plasma Atomic Spectrometry.
T. Nomizu, S. Kaneco, T. Tanaka, D. Ito, H. Kawaguchi : *Anal. Chem.*, **66**(16), 3000-3004 (1994).

(4) Determination of Femto-gram Amounts of Zinc and Lead in Individual Airborne Particles by Inductively Coupled Plasma Mass Spectrometry with Direct Air-Sample Introduction.
T. Nomizu, S. Kaneco, T. Tanaka, T. Yamamoto, H. Kawaguchi : *Anal. Sci.*, **9**(6), 843-846 (1993).

1．研究機関・研究室名

名古屋大学大気水圏科学研究所　共同研究観測プロジェクトセンター　化学系

2．所在地および連絡先

住所：〒464-8601 名古屋市千種区不老町

Web site(ホームページ)：http://www.rcwb.ihas.nagoya-u.ac.jp/center/index-euc.html

---

3．研究室構成員(1998.10.1)

		Tel(052)	Fax	E-mail
助教授	増澤　敏行	789-3498	789-3449	masuzawa@ihas.nagoya-u.ac.jp
技　官	山本みね子	789-3499	789-3449	yamamoto@ihas.nagoya-u.ac.jp
推進員	日比由利子	789-3498	789-3449	hibi@ihas.nagoya-u.ac.jp
大学院生	前期課程	1名		

4．現在の主な研究内容

・海洋生物・粒子試料の主構成成分および親生物元素の分画分析法の開発
・中性子放射化分析およびICP-AESによる海洋粒子試料の多元素同時定量
・海洋の生物生産－沈降粒子－堆積物を通しての親生物元素動態の解明
・深海冷湧水生物群集の化学生態系の解明（間隙水、同位対比、AMS^{14}C法等）

5．主な所有機器

・クリーンルーム（クラス100、1000）
・多検出器磁場型誘導結合プラズマ質量分析装置(MC-Sector-ICP-MS)(1999.3予定)
・誘導結合プラズマ発光分光分析装置(ICP-AES)
・高速液体クロマトグラフ(HPLC)
・イオンクロマトグラフ(IC)

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5件)

(1) Dissolved rare earth elements in the Southern Ocean: Cerium oxidation and the influence of hydrography.
C. R. German, T. Masuzawa, M. J. Greaves, H. Elderfield, J. M. Edmond : *Geochim. Cosmochim. Acta*, **59**(8), 1551-1558 (1995).

(2) AMS^{14}C measurements of dissolved inorganic carbon in pore waters from a deep-sea "cold seep" giant clam community off Matsushima Island, Sagami Bay, Japan.
T. Masuzawa, H. Kitagawa, T. Nakatsuka, N. Handa, T. Nakamura : *Radiocarbon*, **37**(2), 617-627 (1995).

(3) 海洋堆積物系の化学.　増澤敏行：海洋化学研究, **10**(2), 104-152 (1997).

(4) 海洋における希土類元素の親生物元素としてのふるまい.
増澤敏行：月刊海洋, **30**(12), 751-758 (1998).

(5) Multi-element compositions of marine phytoplankton samples from coastal areas of Japan by instrumental neutron activation analysis.
T. Masuzawa, T. Suzuki, K. Seki, T. Kosugi, Y. Hibi, M. Yamamoto, J. Takada, R. Matsushita, M. Yanada : *Biol. Trace Element Res.*, in press.

1．研究機関・研究部名

名古屋大学高温エネルギー変換研究センター

2．所在地および連絡先

住所：〒464-8603　名古屋市千種区不老町

Web site(ホームページ)：hhtp://www.ran.nagoya-u.ac.jp

3．研究室構成員(1998.12.21)

		Tel(052)	Fax	E-mail
教　授	新井　紀男	789-3913	789-3910	narai@mhlab.nuce.nagoya-u.ac.jp
助教授	北川　邦行	789-3915	789-3910	kuni@apchem.nagoya-u.ac.jp
助　手	古畑　朋彦	789-3916	789-3910	furu@nuce.nagoya-u.ac.jp
技　官	松浪　有高	789-3914	789-3910	j460959@nucc.cc.nagoya-u.ac.jp
技術補佐員	古賀　聖美	789-3914	789-3910	

4．現在の主な研究内容

・高効率高効率ガスタービンシステムの開発
・低 NOx 新燃焼法の開発
・燃焼場（火炎）の分光学的解析
・耐熱材料の開発と高温場（燃焼火炎およびプラズマ）中での劣化の分光学的解析
・大気中の亜酸化窒素濃度の連続モニタリングと解析

5．主な所有機器

・高温高圧燃焼装置
・二次元 2 色素レーザー誘起蛍光測定装置
・顕微ラマン分光装置
・顕微フーリエ変換赤外分光装置
・誘導結合プラズマ発光分光分析装置
・光速紫外ビデオ

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等）

(1) Analysis of Degradation Processes of Heat-resisting Materials in a High Temperature Chemical Flame by a Spectrovideo Camera.
M. Kubota, S. Tsuge, K. Kitagawa, A. Arai, N. Ushigome, M. Kato : *Carbon*, **36**(12), 1783-1790 (1998).

(2) Spatially, Temporally and Spectrally Resolved Emission Profiles and Easily Ionizable Element Effect on Various Elements in an ICP by a Spectrovideo Camera.
S. Fukui, S. Tsuge, K. Kitagawa, N. Arai : *J. Spectrosc. Soc. Japan*, **47**, 180-187 (1998).

(3) 都市大気中 N_2O 連続モニタリングデータの時系列解析.
鎌田祐一、松浪有高、北川邦行、新井紀男、古畑朋彦：資源エネルギー学会誌、**19**、365-370(1998).

(4) Excitation Characteristics and Matrix Effect in a Helium Radio Frequency Atomization and Excitation Source for Atomic Emission Spectrometry.
Y. Kaga, S. Tsuge, K. Kitagawa, N. Arai : *Anal. Sci.*, **13**, 777-782 (1997).

(5) 燃焼生成物の発生と抑制技術.
新井紀男他監修（北川邦行分担）、テクノシステム (1997).

1．研究機関・研究室名

通商産業省 工業技術院 名古屋工業技術研究所 化学部 計測化学研究室

2．所在地および連絡先

住所：〒462-8510 名古屋市北区平手町 1-1
電話：052-911-2111(代表)，FAX：052-916-2802(総務部庶務課)，052-911-2428(化学部)

3．研究室構成員(1998.10.1)

		Tel(内線)	E-mail
室　長	上蓑　義則	2610	uwamino@nirin.go.jp
主任研究官	田中　一彦	2611	ktanaka@nirin.go.jp
主任研究官	柘植　明	2610	tsuge@nirin.go.jp
主任研究官	森川　久	2613	morikawa@nirin.go.jp
主任研究官	太田　一徳	2615	kazuohta@nirin.go.jp.
研 究 員	中根　清	2610	nakane@nirin.go.jp

卒業研究生（愛知工業大学）　3名

4．現在の主な研究内容

・原子スペクトル法によるファインセラミック材料中微量金属成分の分析技術の開発
・ファインセラミック材料中非金属成分の分析技術の開発
・酸性雨のモニタリングシステムの開発
・無機系分離吸着材の開発とクロマトグラフィーへの応用

5．主な所有機器

・誘導結合プラズマ発光分析装置(ICP-AES)
・誘導結合プラズマ質量分析装置(ICP-MS)
・二次イオン質量分析装置(SIMS)
・酸性雨モニター(イオンクロマトグラフ／衛星気象情報解析装置)
・イオンクロマトグラフ

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5件)

(1) Determination of Trace Impurities in High-Purity Aluminium Oxide by High Resolution Inductively Coupled Plasma Mass Spectrometry.
K. Nakane, Y. Uwamino, H. Morikawa, A. Tsuge, T. Ishizuka : *Anal. Chim. Acta*, **369**, 79-85 (1998).

(2) 誘導結合プラズマ発光分析法によるファインセラミック焼結体中不純物の定量.
上蓑義則：分析化学, **47**(11), 783-797 (1998).

(3) Acid Rain Monitering by Ion-Exclution-Cation-Exchange Chromatography.
K. Tanaka, P. R. Haddad : *Trends in Anal. Chem.*, **15**, 266-273 (1996).

(4) Non-Suppressed Ion Chromatography of Cations on Silica Gel Modified with Aluminium.
K. Ohta, H. Morikawa, K. Tanaka, P. R. Haddad : *J. Chromatogr. A*, **804**, 171-177 (1998).

1．研究機関・研究室名

通商産業省工業技術院　名古屋工業技術研究所セラミックッス基礎部　機能評価研究室

2．所在地および連絡先

住所：〒462-8510 名古屋市北区平手町１－１

電話：052-911-2111　　FAX：052-916-6992

Web site(ホームページ)：http://www.nirin.go.jp/index.html

3．研究室構成員(1998.10.1. ＊分析化学会員)

		E-mail
室　長	飯田　康夫*	yiida@nirin.go.jp
主任研究官	古川　正道*	furukawa@nirin.go.jp
主任研究官	榊原　俊作	sakakiba@nirin.go.jp
主任研究官	山田　豊章	tyamada@nirin.go.jp
主任研究官	阪口　修司	ssakagu@nirin.go.jp
主任研究官	大橋　優喜	ohashi@nirin.go.jp
	津越　敬寿*	tsugoshi@nirin.go.jp

4．現在の主な研究内容

・新材料、特にセラミックス関連物質、プロセスにおける計測法の開発・高度化

・超高温における物質挙動の把握、温度計測

・セラミックス評価手法の標準化、国際対応

5．主な所有機器

・ラマン分光装置（顕微、時間分解）

・飛行時間型質量分析装置、熱分解質量分析装置

・太陽炉

・各種機械的特性評価装置

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5件)

(1) In Situ Anti-Stokes Raman Monitoring of Gel-to-Anatase Phase Transformation of Titania.
Y. Iida, M. Furukawa, K. Kato, H. Morikawa : *Appl. Spectrosc.*, **51**(5), 673-677 (1997).

(2) Comparison of Detection Schemes for High-Temperature Raman Spectroscopy.
Y. Iida, M. Furukawa, H. Morikawa : *Appl. Spectrosc.*, **51**(9), 1426-1429 (1997).

(3) Preparation of B4C-TiB2 composition by Uni-Directional Solidification.
S. Sakakibara, T. Yamada, S. Kawakami, H. Tabata : *Proceedings of 12th Japan-Korea Seminar on Ceramics*, 435-439 (1995).

(4) Nucleation Control for Hot-working of Silicon Oxynitride Ceramics.
M. Ohashi, Y. Iida, S. Hampshire : *J. Mater. Res.*, **14**(1), 1 (1999).

1．研究機関・研究室名

名古屋市工業研究所　金属・無機材料部　分析技術課

2．所在地および連絡先

住所：〒456-0058 名古屋市熱田区六番三丁目 4-41
Web site(ホームページ)：http://www.nmiri.city.nagoya.jp/

3．研究室構成員(1998.10.1)

		Tel(052)	Fax	E-mail
課　　長	桜井　定人	654-9924	652-6776	sakurai@nmiri.city.nagoya.jp
主任研究員	酒井　光生	654-9920	652-6776	msakai@nmiri.city.nagoya.jp
研　究　員	青山　陽	654-9919	652-6776	aoyama@nmiri.city.nagoya.jp
研　究　員	大橋　芳明	654-9921	652-6776	ohhashi@nmiri.city.nagoya.jp
研　究　員	野々部恵美子	654-9918	652-6776	nonobe@nmiri.city.nagoya.jp
研　究　員	木下　武彦	654-9922	652-6776	kinoshita@nmiri.nagoya.jp

4．現在の主な研究内容

・鉄ベース合金中のコバルトの定量分析
・メディエーターを用いたペルオキシダーゼ固定化酵素電極に関する研究
・純水中の微量ケイ素定量法に関する研究究
・固体電解質を用いたバイオセンサーに関する研究
・電量滴定法による COD 計の精度向上に関する研究

5．主な所有機器

・高周波プラズマ発光分光分析装置
・フレームレス原子吸光分光分析装置
・回転対陰極型X線回折装置
・蛍光X線分析装置
・粒度分布測定装置

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5 件)

(1) ペルオキシターゼおよびメディエーター複合固定化電極による過酸化水素センシング.
青山　陽, 桜井定人：日本化学会誌, 479-483 (1997).

(2) 電流増幅型酵素センサー.
青山　陽: 特許出願, 出願番号第 237669.

(3) 黒鉛炉原子吸光法による鉛の定量における干渉抑制剤の効果.
大橋芳明：第 28 回中化連秋季大会 静岡大学, 1997.

(4) 固体電解質を用いたバイオセンサー.
野々部恵美子, 青山　陽: 第 29 回中化連秋季大会 豊橋技術科学大学, 1998.

(5) 数種の試料の共同分析結果(第 23 報).
大橋芳明, 酒井光生：名古屋市工業研究所報告, No.83 (1998).

1．研究機関名・研究室名

（財団法人）ファインセラミックスセンター試験研究所

2．所在地および連絡先

住所：〒456-8587　名古屋市熱田区六野二丁目４番１号

Web site（ホームページ）:http://www.jfcc.or.jp

3．分析関連研究リーダーと構成員(1998.10.1)

			Tel(052)	Fax	E-mail
化学分析	（主席研究員	柳澤雅明他 1 名）	871-3393	3599	yanagisawa@jfcc.or.jp
微構造解析	(主管主任研究員	平山　司他 12 名）	871-3401	3599	hirayama@jfcc.or.jp
表面分析	（主管主席研究員	柴田典義他 11 名）	871-3403	3599	shibata@jfcc.or.jp
熱分析	（主管主任研究員	福井武久他 6 名）	871-3437	3599	fukui@jfcc.or.jp
X線分析	（主席研究員	原田慎太郎他 1 名）	871-3379	3599	harada@jfcc.or.jp

4．現在の主な研究内容

- ICP 発光／質量スペクトル分析法等によるセラミックス分析法の確立と標準化
- 透過電子顕微鏡による材料の構造解析、組成分析、量子位相計測
- 応力印加ラマン分光測定等その場分析評価技術の開発
- TMA, ﾚｰｻﾞｰﾌﾗｯｼｭ熱拡散率測定／熱特性測定技術の確立と標準物質の開発
- X 線等による残留応力測定法の開発と確立($Sin^2\psi$ 法、低入射角法、中性子散乱法等)

5．主な所有機器

- 誘導結合プラズマ発光分析装置(ICP-AES)、誘導結合プラズマ質量分析装置(ICP-MS)、原子吸光分析装置(AAS)、窒素・酸素分析装置、炭素分析装置、蛍光光度計、自記分光光度計、イオンクロマトグラフ(IC)、蛍光X線分析装置(XRF)、X線回折装置(XRD)
- 電子線プローブマイクロアナライザ(EPMA)、分析電子顕微鏡(AES-EDX)
- 示差熱天秤(TG-DTA)、熱膨張計(TMA)、ﾚｰｻﾞｰﾌﾗｯｼｭ熱拡散率測定装置、ラマン分光光度計、赤外分光光度計(FT-IR)、高分解能光電子分光装置(ESCA)

6．最近の研究活動(論文・総説・学会発表・特許等)

(1) Discoloration of Alumina Ceramics with Ultraviolet Radiation and Elucidation of its Mechanism. M. Yanagisawa, I. Sugiura, T. Hotta, J. Tsubaki, H. Hosono : *J. Ceram. Soc. Jpn.*, **101**(10), 1189-1191 (1993).

(2) Interference of three electron waves by two biprisms and its application to direct visualization of electromagnetic fields in small regions. T. Hirayama, G. Lai, T. Tanji, N.Tanaka, A. Tonomura : *J. Appl. Phys.* **82**(2), 522-527 (1997).

(3) Determining Crystallographic Orientation of Alumina Using a Raman-Microprobe Polarization. Y. Takeda, N. Shibata, Y. Sakaida, A. Okada : *Proc. of 6th Int. Symp. Ceramic Materials & Components for Engines,* 842-846 (1997).

(4) 特集　分析データの質の管理と保証　セラミックス. 柳澤雅明：ぶんせき, **1997**(10), 848-851.

1．研究機関・研究室名

愛知県警察本部・科学捜査研究所　化学科

2．所在地および連絡先

住所：〒460-8502 名古屋市中区三の丸 2-1-1
電話：052-951-1611

3．研究室構成員(1998.10.1)

	Tel(内線)	E-mail
三井　利幸	3552	tmit@ma3.justnet.ne.jp
松岡　俊恵	3781	
肥田　宗政	3781	DZX02003@niftyserve.or.jp
佐野　敏幸	3783	
大山　信行	3783	
水野　美穂	3783	
奥山　修司	3781	GHB07130@niftyserve.or.jp
佐藤　元泰	3783	

4．現在の主な研究内容

- 多変量解析法による定量法の開発
- 非分離分析法による混合成分分析法の開発
- 微量成分分析法の開発

5．主な所有機器

- X 線回折装置
- 蛍光 X 線分析装置
- GC-MS
- LC-MS
- 顕微分光分析装置

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5 件)

(1) 法科学試料への多変量解析法の適応.
肥田宗政, 三井利幸：分析化学, **47**, 645 (1998).

(2) 多変量解析法による軽油及びA重油中のクマリンの定量.
三井利幸, 肥田宗政, 奥山修司：分析化学, **47**, 55 (1998).

(3) Determination of Ammonium Nitrate in Dynamite without Separation by Multivariate Analysis Using X-ray Diffractometer.
T. Mitsui : *J. Chem. Software*, **4**, 33 (1998).

1．研究機関・研究室名

愛知県工業技術センター　材料部（材料分析）

2．所在地・および連絡先

住所：〒448-0003　愛知県刈谷市一ツ木町西新割

Web site(ホームページ)：http:/www.airi.aichi-iic.or.jp/

3．研究室構成員(1998.10.1)

		Tel(0566)	Fax
主任研究員	横田　文昭	24-1841	22-8033
技　師	清水　彰子	24-1841	22-8033

4．現在の主な研究内容

・原子スペクトル分析法による非酸化物系ファインセラミックス中の微量不純物定量法の開発

・微量試料の分析化学的評価に関する研究

5．主な所有機器

・誘導結合プラズマ発光分析装置(ICP-AES)

・原子吸光分析装置(AAS)

・蛍光X線分析装置（エネルギー分散型及び波長分散型）

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；３～５件）

(1)加圧酸分解／誘導結合プラズマ発光分析法による窒化バナジウム中の不純物の定量.
横田文昭、中野達夫、石塚紀夫、森川久：分析化学，**47**(10)，721-726 (1998).

(2)加圧酸分解／誘導結合プラズマ発光分析法による炭化バナジウム中の不純物の定量.
横田文昭、石塚紀夫、森川久：分析化学, **46**(5), 395-400 (1997).

(3) Determination of Impurities in Titanium Disilicide by Inductively Coupled Plasma Atomic Emission Spectrometry after Acid Decomposition .
F. Yokota, T. Ishizuka, H. Morikawa : *Analyst,* **120**, 2823-2827 (1995).

(4) 加圧酸分解／誘導結合プラズマ発光分析法による炭化タンタル及び窒化タンタル中の不純物の定量.
横田文昭、森川久、石塚紀夫：分析化学, **44**(2), 123-128 (1995).

(5) Determination of Impurities in Zirconium Disilicide and Zirconium Diboride by Inductively Coupled Plasma Atomic Emission Spectrometry .
F. Yokota, H. Morikawa, T. Ishizuka : *Analyst*, **119**, 1023-1027 (1994).

1．研究機関・研究室名

財団法人 東海技術センター

2．所在地および連絡先

住所：〒465-0021 名古屋市名東区猪子石２丁目710番地
TEL 052(771)5161　　FAX 052(771)5164

3．研究室構成員(1998.12.1)

		E-mail
業務部長	阪野　二郎	banno@cd.mbn.or.jp
業務次長	武吉　研治	takeyosi@cc.mbn.or.jp
調査１課長	高橋　孝廣	ttakaha@cb.mbn.or.jp
調査２課長	松永　幹生	matunaga@a1.mbn.or.jp
技術１課長	河野　達郎	kono@a1.mbn.or.jp
技術２課長	杉浦　世記子	ssugiura@cd.mbn.or.jp
技術３課長	山盛　健司	yamamori@cd.mbn.or.jp
自然環境室長	清水　政美	msimizu@cd.mbn.or.jp

4．現在の主な研究内容

・河川水、底質中における環境ホルモン分析方法の検討
・ウンヌケの保護と増殖に関する調査

5．主な所有機器

・高速液体クロマトグラフ
・イオンクロマトグラフ
・誘導結合プラズマ発光分析装置(ICP-AES)
・フレーム原子吸光分析装置
・電気加熱原子吸光分析装置
・蛍光X線分析装置
・X線回折装置
・ガスクロマトグラフ質量分析計
・フローインゼクション分析装置

6．最近の研究活動（学会等発表）

(1) Quality Control of High Embankments Constructed of Soft Sedimentary Rock Materials.
Y. Nakamura, J. Kojima, K. Narita, Y. Ohne : IS-TOHOKU-'98.

(2) 埋立て模擬処分場における浸出水量と水質計測.
佐藤健（岐阜大）、小島淳一：第６回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会(1998).

(3) 環境大気・水質自動測定器の廃吸収液処理について.
有川真吾：社団法人日本環境技術協会 維持管理技術交流会(1997).

1．研究機関・研究室名

豊橋技術科学大学・工学部・物質工学系　分離定量分析化学研究室

2．所在地および連絡先

〒441-8580　豊橋市天伯町雲雀ヶ丘 1-1　(Tel: 0532-47-0111 代表、内線 5503)
Web Site: http://chrom.tutms.tut.ac.jp

3．研究室構成員(1998.11.30)

		Tel(0532)	Fax	E-mail
教授	神野　清勝	44-6805	48-5833	jinno@chrom.tutms.tut.ac.jp
助教授	平田　幸夫	44-6804	48-5833	hirata@chrom.tutms.tut.ac.jp
教務職員	齊戸　美弘	44-6801	48-5833	saito@chrom.tutms.tut.ac.jp
技術専門職員	太田　初一	44-6801	48-5833	ohta@chrom.tutms.tut.ac.jp
大学院生	博士後期課程	4 名	修士課程	4 名
学部学生	11 名			

4．現在の主な研究内容

・キャピラリー電気泳動およびキャピラリー電気クロマトグラフィに関する研究
・分析化学における超臨界流体の利用に関する研究
・固相マイクロ抽出／マイクロカラム液体クロマトグラフィによる微量分離分析
・液体クロマトグラフィにおける分子形状認識機構に関する研究
・分離化学におけるコンピュータの利用

5．主な所有機器

・液体クロマトグラフ／質量分析計・ガスクロマトグラフ／質量分析計
・超臨界流体クロマトグラフ・超臨界流体抽出装置
・液体クロマトグラフ・マイクロカラム液体クロマトグラフ
・キャピラリー電気泳動分析装置・キャピラリー電気クロマトグラフ
・フーリエ変換赤外分光計

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等）

(1) Capillary Electrophoresis with Linear Polymers Containing Hydrophobic Groups for the Separation of Small Molecules.
K. Jinno, H. Sawada : *Analyst*, **123**, 1471-1476 (1998).

(2) Analysis of Plants Oils by Subcritical Fluid Chromatography Using Pattern Fitting.
Y. Funada, Y. Hirara : *J. Chromatogr. A*, **800**, 317-325 (1998).

(3) "Chromatographic Separations Based On Molecular Recognition".
K. Jinno, Ed., WILEY-VCH, New York, NY, 1998.

(4) "Separation of Fullerenes by Liquid Chromatography".
K. Jinno, Ed., The Royal Society of Chemistry, Letchworth, *U*K, 1999 (in press).

1．　研究機関・研究室名

豊橋技術科学大学・分析計測センター

2．所在地および連絡先

住所：〒441-8580　豊橋市天伯町字雲雀ヶ丘１－１

3．研究室構成員

		Tel(0532)	Fax	E-mail
助教授	加藤　正直	44-6612	44-6610	mkato@tut3c.tut.ac.jp
助　手	服部　敏明	44-6613	44-6610	hattori@tut3c.tut.ac.jp
大学院生	前期課程	２名		
学部学生		２名		

4．現在の主な研究内容

・ゼオライトの構造解析
・ゼオライトの合成
・コロイド滴定
・両親媒性イオンを利用する電気化学分析

5．主な所有機器

・X線回折計
・原子吸光分光装置

6．　最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等）

(1) Determination of the ordered distribution of alminum atoms in zeolitic frameworks. Part I.
T. Takaishi, M. Kato : *Zeolites,* **15**, 689-700 (1995).

(2) Synthetic clinoptilolite and distribution of aluminum atoms in the framework of HEU type zeolites.
M. Kato, S. Satokawa, K. Itabashi : *Stud. Microporous Materials*. 229-235 (1996).

(3) Ion Association of Protonated Poly(vinylamine) and Poly(ethylenimine) with Poly(vinyl sulfate) and Dodecylbenzenesulfonate as Special Refference for Colloidal Titration.
T. Hattori, K. Katai, S. Hattori, M. Kato : *Bull. Chem. Soc. Jpn.*, **70**(2), 359-364 (1997).

(4) Adsorptive Stripping Voltammetry of Anionic Surfactants on a Carbon Paste Electrode Using Ferrocenyl Cationic Surfactant as an Analytical Electrochemical Probe.
T. Hattori, M. Kato, S. Tanaka, M. Hara : *Electroanalysis,* **9**(9), 722-725 (1997).

(5) Ordered Distribution of Aluminum Atoms in Analcime.
M. Kato, T. Hattori : *Phys. Chem. Miner.*, **25**(8), 556-565 (1998).

1．研究機関・研究室名

三重大学工学部・分子素材工学科　分析環境化学講座

2．所在地および連絡先

住所：〒514-8507 三重県津市上浜町 1515 (TEL: 059-231-9425, 9426, 9427)
Web site(ホームページ)：http://material.chem.mie-u.ac.jp/mizuno-ken/welcome.htm

---

3．研究室構成員(1998.10.1)

		Tel(059)	Fax	E-mail	
教　授	水野　孝之	231-9425	231-9427	mizuno@chem.mie-u.ac.jp	
助教授	太田　清久	231-9426	231-9427	ohta@chem.mie-u.ac.jp	
助　手	金子　聡	231-9427	231-9427	kaneco@chem.mie-u.ac.jp	
大学院生	後期課程	3名		前期課程	4名
学部学生		10名		研究生	1名

4．現在の主な研究内容

・原子スペクトル法を用いる環境汚染金属元素の超高感度分析法の開発
・ Sequential Metal Vapor Elution Analysis に関する分析
・超高温金属ガスの物性及び化学性に関する研究
・高温高圧水を用いる有害物質の分解及び無害化
・炭酸ガスの燃料・原料への変換技術に関する研究
・原子力発電プラントの安全性が確保できる炉心概念の開発研究

5．主な所有機器

・原子吸光分析装置(ETAAS)
・金属蒸気分離分析装置(SMVEA)
・ガスクロマトグラフ (FID, TCD, ECD)
・液体クロマトグラフ

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5件)

(1) Novel Preconcentration Method of Trace Elements by Mg-W Cell.
K. Ohta, J. Ogawa, T. Mizuno : *Analusis*, **25**, 1-2 (1997).

(2) Determination of Nickel in Water by Electrothermal Atomic Absorption Spectrometry with Preconcentration on Tungsten Foil.
K. Ohta, K. Ishida, S. Itoh, S. Kaneco, T. Mizuno : *Mikrochim. Acta*, **129**, 127-132 (1998).

(3) Sequential Metal Vapor Elution Analysis for Determination of Copper and Manganese in Biological Materials and Water.
K. Ohta, H. Uegomori, S. Kaneco, T. Mizuno : *Talanta*, in press.

(4) Determination of Rhodium in Waters by Mg-W Cell Electrodeposition and Electrothermal Atomic Absorption Spectrometry.
S. Kaneco, J. Ogawa, S. Itoh, K. Ohta, T. Mizuno : *Talanta*, **46**, 139-143 (1998).

1．研究機関･研究室名

岐阜大学工学部　応用精密化学科　精密機能化学講座(3)

2．所在地および連絡先

住所：〒501-1193 岐阜市柳戸 1-1

Web Site(ホームページ)：http://apchem.gifu-u.ac.jp/kinou/miwa.html

3．研究室構成（1998.12.1）

		Tel(058)	Fax	E-mail
教　授	三輪　智夫	293-2799	293- 2799	tmiwa@apchem.gifu-u.ac.jp
助教授	竹内　豊英	293-2806	293-2806	takeuchi@apchem.gifu-u.ac.jp
助　手	金　　継業	293-2812		jin@apchem.gifu-u.ac.jp
大学院生	後期課程	3 名		前期課程　　5 名
学部学生		7 名		

4．現在の主な研究内容

・超微小電極および電気化学センサーの開発
・超音波照射下における電気化学反応の解析
・クロマトグラフィーの高性能化

5．主な所有機器

・電気化学ワークステーション
・液体クロマトグラフ
・ガスクロマトグラフ

6．最近の研究活動（論文･総説･学会発表・特許等；3～5 件）

(1) Observation of noise generation induced in ultrasonic cavitation with ultramicroelectrode.
J-Y. Jin, T. Hayashi, T. Miwa : *Chem. Lett.*, **1998**, 539-540.

(2) Bile acids as stationary phase in liquid chromatography.
T. Takeuchi, J. Chu, T. Miwa : *Chromatographia*, **47**, 183-188 (1998).

(3) Ion chromatography using anion exchangers modified with heparin.
T. Takeuchi, Safni, T. Miwa,Y. Hashimoto, Y. Moriyama : *Analusis*, **26**, 61-64 (1998).

(4) Ion chromatography of anions on stationary phases modified with chondroitin sulfate.
T. Takeuchi, Safni, T. Miwa : *J. Chromatogr. A*, **789**, 201-206 (1997).

(5) Selective and sensetive measurement of nitric oxide using chemically modified ultra-microelectrodes with electropolymerized films of metal tetraaminophthalocyanines.
J-Y. Jin, T. Miwa, L. Mao, H. Tu, L. Jin : *Talanta*, **47**, (1998) in press.

1．研究機関・研究室名

岐阜大学・教育学部　理科教育（化学）

2．所在地および連絡先

住所：〒501-1193 岐阜市柳戸1番地の1

Web site(ホームページ)：http://www.apchem.nagoya-u.ac.jp/ouka2/index.html

---

3．研究室構成員

		Tel(058)		
教　授	石野　二三枝	293-2252		
学部学生		4名	研究生	名

4．現在の主な研究内容

・環境水中の微量物質の濃縮分離

・学校教育に用いる化学教材の開発

5．主な所有機器

・原子吸光分光光度計

・液体クロマトグラフ

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5件）

(1) 陰イオン界面活性剤の簡易分析とその教材への応用.
石野二三枝、篠田憲明：化学と教育，**46**(9), 588-591 (1998).

(2) 鉄（Ⅲ）ーマグネシウム混合水酸化物によるペンタクロロフェノールの共沈濃縮.
石野二三枝：日本化学会誌，35-38 (1995).

(3) 無機塩の水溶液を展開溶媒に用いる合成着色料の簡易ろ紙クロマトグラフィー.
石野二三枝、小林一隆：化学と教育，**42**(5), 356-359 (1994).

1．研究機関・研究室名

岐阜薬科大学　製造薬学科　薬品分析化学講座

2．所在地および連絡先

住所：〒502-8585 岐阜市三田洞東 5-6-1
Web site(ホームページ)：http://www.gifu-pu.ac.jp

3．研究室構成員(1998.10.1)

		Tel(058)	Fax	E-mail
教　授	後藤　正志	237-3931	237-5979	goto@gifu-pu.ac.jp
助教授	宇野　文二	237-3931	237-5979	uno@gifu-pu.ac.jp
助　手	江坂　幸宏	237-3931	237-5979	esaka@gifu-pu.ac.jp
助　手	奥村　典子	237-3931	237-5979	noriko@gifu-pu.ac.jp
大学院生	後期課程	名		前期課程　5名
学部学生		8名		研究生　名

4．現在の主な研究内容

・生体関連物質の機器分析法の開発
・キャピラリー電気泳動の理論と応用
・分子化学的アプローチによる有機電気化学

5．主な所有機器

・電気化学分析装置
・キャピラリー電気泳動装置
・高速液体クロマトグラフ

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5件)

(1) Non-Aqueous Capillary Zone Electrophoresis Using Polyethylene Glycol as a Matrix Agent.
Y. Esaka, K. Yoshimura, M. Goto, K. Kano : *J. Chromatogr. A*, **822**, 107-115 (1998).

(2) Molecular Scientific Aproach in Electroorganic Chemistry.
B. Uno, N. Okumura : *Recent Res. Devel. in Pure & Appl. Chem.*, **2**, 83-99 (1998).

(3) Sodium Dodecyl Sulfate-Tween 20 Mixed Micellar Electrokinetic Chromatography for Separation of Hydrophobic Cations: Application to Adrenaline and Its Precursors.
Y. Esaka, K. Tanaka, B. Uno, M. Goto, K. Kano : *Anal. Chem.*, **69**, 1332-1338 (1997).

(4) On-Line Electrochemical Detection of Carbohydrates Coupled with the Periodate Oxidation.
M. Torimura, K. Kano, T. Ikeda, M. Goto, T. Ueda : *J. Chromatogr. A*, **790**, 1-8 (1997).

(5) 銅電極を用いる電気化学検出キャピラリー電気泳動による糖類及びその関連物質の迅速高感度分析法の開発.
後藤正志、田中一哉、江坂幸宏、宇野文二：分析化学, **46**, 95-100 (1997).

1．研究機関・研究室名

朝日大学・歯学部・化学教室

朝日大学・経営学部・化学教室

2．所在地および連絡先

住所：〒501-0296 岐阜県本巣郡穂積町穂積1851

3．研究室構成員(1998.12.1)

			Tel(058)	Fax	E-mail
歯学部	助教授	鶴房繁和	329-1268	329-1268	tsurubou@dent.asahi-u.ac.jp
	講　師	中島清人	329-1267	329-1267	nakakiyo@dent.asahi-u.ac.jp
経営学部	教　授	大野典子	329-1324	329-1324	nohno@alice.asahi-u.ac.jp

4．現在の主な研究内容

・大環状化合物のマスキング効果を用いる金属イオンの選択的抽出分離法の研究
・化学感覚の受容機構に関する研究
・生体関連物質，医薬品の高感度定量法の開発
・フローインジェクション分析法による高感度迅速定量法の開発

5．主な所有機器

・原子吸光／フレーム分光光度計
・分光蛍光光度計
・可視紫外分光光度計
・フローインジェクション分析装置
・イオンクロマトグラフ

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5件)

(1) Quantitative Separation of Alkaline Earths Using Diazapolyoxabicyclic Ligands as Ion-size Selective Masking Reagents.
S. Tsurubou, T. Sasaki, S. Umetani, M. Matsui : *Anal. Sci.*, **13**, 127-130 (1997).

(2) Complex Formation of Lanthanide Ions with Sulfonated Crown Ethers in Aqueous solution.
T. Sasaki, S. Umetani, M. Matsui, S. Tsurubou, T. Kimura, Z. Yoshida : *Bull. Chem. Soc. Jpn.*, **71**, 373-377 (1998).

(3) Increase in Inositol 1,4,5-Trisphosphate Levels of the Fungiform Papilla in Response to Saccharin and Bitter Substances in Mice.
K. Nakashima, Y. Ninomiya : *Cell. Physiol. Biochem.*, **8**, 224-230 (1998).

(4) 医薬品及び生体関連物質の選択的フローインジェクション分析システムの開発.
大野典子，酒井忠雄：分析化学，**47** (11), 795-806 (1998).

(5) 2-(5-ニトロ-2-ピリジルアゾ)-5-(N-プロピル-N-スルホプロピルアミノ)フェノールを用いる血清中の鉄，銅，亜鉛の分別吸光光度定量.
大野典子，酒井忠雄：分析化学，**46** (12), 937-942 (1997).

1．研究機関・研究室名

岐阜県保健環境研究所・健康科学担当、保健科学部、生活科学部、環境科学部

2．所在地および連絡先

住所：〒500-8226　岐阜市野一色4-6-3

Web site：http://www.com.rd.pref.gifu.jp/health/

3．研究室構成員(1998.10.1)

		Tel(058)	Fax	E-mail
所　長	飯沼　宗和	246-1101	246-1104	iinuma@health.rd.pref.gifu.jp
健康科学担当	今井　準三			imai@health.rd.pref.gifu.jp
保健科学部長	所　光男			tokoro@health.rd.pref.gifu.jp
生活科学部長	中屋　謙一			nakaya@health.rd.pref.gifu.jp
環境科学部長	加藤　邦夫			kato@health.rd.pref.gifu.jp
部長研究員	2名	主任専門研究員		18名
専門研究員	4名	主任技師		3名
技師	2名			

4．現在の主な研究内容

・堆積発酵時の悪臭発生状況の把握と脱臭防止技術の開発研究
・イチゴの工場的生産システムの開発研究
・多孔質リサイクルセラミックスの開発
・農産物中の残留農薬の迅速分析方法の開発

5．主な所有機器

・誘導結合プラズマ発光分析装置(ICP-AES)
・誘導結合プラズマ質量分析装置(ICP-MS)
・ガスクロマトグラフ質量分析装置(GC-MS)
・高速液体クロマトグラフ（カーバメイト農薬用）
・ガスクロマトグラフ
・イオンクロマトグラフ

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等）

(1) Determination of the 8-Methyl Ether of Xanthurenic Acid in Human Serum by High-performance Liquid Chromatography with Fluorescene Detection.
J. Imai, I. Yosida, Y. Sakai : *J. Chromatogr. B*, **679**, 204-207 (1996).

(2) 雨水中アルデヒド類の蛍光誘導体化フローインジェクション分析.
西川治光，長澤秀紀，酒井忠雄：分析化学, **47**, 225-231 (1998).

(3) 大気暴露した青銅板の腐食.
形見武男，西川治光，高原康光：大気環境学会誌, **31**(4), 149-157 (1996).

(4) トリクロロエチレンガス又はテトラエチレンガスの分解除去方法. 特公平6-59386.

1．研究機関・研究室名

福井大学工学部・生物化学工学科　環境分析化学研究室

2．所在地および連絡先

住所：〒910-8507　福井市文京3丁目9-1

Web site(ホームページ)：http://133.7.38.151/bunseki/index.html

3．研究室構成員(1998.10.1)

		Tel (0776)	Fax	E-mail
教　授	永長　幸雄	27-8642	27-8747	nagaosa@acbio.acbio.fukui-u.ac.jp
助教授	三浦　潤一郎	27-8668	27-8747	miura@acbio.acbio.fukui-u.ac.jp
技　官	瀬戸　六左衛門	27-8960	27-8747	seto@acbio.acbio.fukui-u.ac.jp
大学院生	後期課程	名		前期課程　3名
学部学生		7名		

4．現在の主な研究内容

・高速液体クロマトグラフィーによる金属イオンの高感度定量
・金属錯体の二相間分配と分離
・微少量固体物質の電気化学的挙動
・界面活性剤の分析化学的利用
・有害有機塩素化合物の除去と化学的処理

5．主な所有機器

・高速液体クロマトグラフ
・ガルバノ／ポテンショスタット
・イオンクロマトグラフ
・偏向ゼーマン原子吸光光度計

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5件）

(1) Salting-out Extraction Technique for Pretreatment in the Liquid Chromatographic Determination of Cu(II), Al(III), Fe(III) nad Mn(II) in Biological Samples.
Y. Nagaosa, K. Sakata : *Talanta*, **46**, 647-654 (1998).

(2) Solvent Extraction of Rare Metals with Bis(2-ethylhexyl)phosphinic Acid.
Y. Nagaosa, Y. Binghua : *Fresenius J. Anal. Chem.*, **357**, 635-641 (1997).

(3) Determination of Vanadium, Cobalt, Nickel and Iron in Bromoperoxidases from *Pseudomonas putida* and *Corallina pilulifera* by High Performance Liquid Chromatography with Spectrophotometric Detection.
J.Miura, N. Itoh : *J. Liq. Chrom. & Rel. Technol.*, **20**, 2367-2376 (1997).

(4) Voltammetry, Electron Microscopy and X-ray Electron Probe Microanalysis at the Electrode-Aqueous Electrolyte Interface of Solid Microcrystalline ComplexesMechanically Attached to Carbon Electrodes.
A. M. Bond, Y. Nagaosa : *J. Am. Chem. Soc.*, **115**, 9556-9562 (1993).

1．研究機関・研究室名

福井大学・工学部　材料化学科　環境化学講座

2．所在地および連絡先

住所：〒910-8507 福井市文京 3-9-1

3．研究室構成員(1998.10.1)

		Tel (0776)	Fax	E-mail
助教授	呉　行正	27-8610	27-8767	d960067@icpc00.icpc.fukui-u.ac.jp
技　官	橋谷　茂男	27-8487	27-8767	hashiya@icpc00.icpc.fukui-u.ac.jp
大学院生	前期課程	3名		学部学生　5名

4．現在の主な研究内容

・蜃気楼現象（ビーム偏向法）を利用する新規化学計測法の開発と応用
・キャピラリー電気泳動分析法とクロマトグラフィーによる分離分析
・化学発光分析
・光、放射線による有機物の分解

5．主な所有機器

・光偏向測定装置
・各種クロマトグラフ
・キャピラリー電気泳動装置
・Xe，Hg ランプ、小型レーザー

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3〜5 件)

(1) Noncontact and Noninvsive Monitoring of Gas Diffusion from Aqueous to Aprotic Solvent Using Optical Beam Deflection Method.
X. -Z. Wu, T. Morikawa, K. Utiyama, T. Hobo : *J. Phys. Chem. B*, **101**, 1520-1523 (1997).

(2) 光開始化学発光系の時間分解化学発光測定.
呉 行正, 中山 敬, 内山一美, 保母敏行：日本化学会誌(化学と工業化学), **12**, 899-901 (1997).

(3) An On-line Electrophoretic Concentration Method for Capillary Electrophoresis of Proteins.
X.-Z. Wu, A. Hosaka, T. Hobo : *Anal. Chem.*, **70**, 2081-2084 (1998).

(4) 微小電極近傍での濃度勾配によるビーム偏向信号の測定.
呉　行正，山口　守，永長幸雄：分析化学，**47**, 381-385 (1998).

1．研究機関・研究室名

福井大学教育学部　理科教育　化学教室　分析化学研究室

2．所在地および連絡先

住所：〒910-8507　福井市文京 3-9-1

3．研究室構成員(1998.12.18)

		Tel(0776)	Fax	E-mail
助教授	中田　隆二	27-8689	27-8524	nakata@edu01.f-edu.fukui-u.ac.jp
学部学生	2名			

4．現在の主な研究内容

・前処理や検出に電気化学反応を利用したフロー分析法の開発
・金属アミノ酸錯体の溶液化学における立体選択性
・金属アミノ酸錯体の分析化学的応用

5．主な所有機器

・原子吸光分析装置
・液体クロマトグラフ
・旋光度計
・ボルタンメトリー測定用装置

6．最近の研究活動

(1) Kinetics and Thermodynamics of the Racemization of Tris(L-valinato)chromium(III) Complexes in N,N-Dimethylformamide.
R. Nakata, M. Yano, Y. Ochi, N. Hatanaka, H. Oki : *Bull. Chem. Soc. Jpn.*, **69**(5), 1261-1264 (1996).

(2) Homogeneous Solvent Extraction/Solid-liquid Separation Method of Some Metal-chelate Compounds using Caffeine.
Y. Takagi, M. Ohkura, R. Nakata : *Anal. Sci.*, **12**(5), 789-792 (1996).

(3) Extensive Combination of Clustering Sets of Sulfuric Acid and Various Solvents.
K. Isa, K. Watanabe, H. Kataoka, K. Hirai, R. Nakata : *J. Mass Spectrom. Soc. Jpn.*, **44**(2), 197-209 (1996).

1．研究機関・研究室名

福井県立大学・生物資源学部・生物資源学科
同大学院・生物資源学研究科・生物資源学専攻（応用生化学研究室）

2．所在地および連絡先

住所：〒910-1195 福井県吉田郡松岡町兼定島４－１－１
Tel: 0776-61-6000　Fax: 0776-61-6015
Web Site(ホームページ): http://www.bio.fpu.ac.jp/bio/sendalabo.html

---

3．研究室構成員(1998.10.1)

		内線	E-mail
教授	千田 貢	3308	senda@fpu.ac.jp
教授	小田 順一	3320	oda@fpu.ac.jp
教授	山口 整毅	3318	yamaguchi@fpu.ac.jp
講師	日比 隆雄	3314	hibi@fpu.ac.jp
講師	片野 肇	3304	hajime@fpu.ac.jp
大学院生	後期課程	1名	前期課程　4名
学部学生		10名	

4．現在の主な研究内容

・液液および液膜界面におけるイオン・電子移動反応の研究．基礎と応用．
・液液界面分配反応の電気化学的研究．基礎と応用．
・酵素分析法の基礎と応用．バイオセンサー．
・酵素蛋白質の構造と機能．

5．主な所有機器

・界面分光用第二次高調波(SHG)測定装置
・電子スピン共鳴装置(ESR)

6．最近の研究活動

(1) Voltammetric study of the partition of amines between water and an organic solvent.
Y. Kubota, H. Katano, K. Maeda, M. Senda : *Electrochim. Acta*, **44**(1), 109-116 (1998).

(2) Potential sweep voltammetry of ion-transfer liquid/liquid interface with preceding chemical reaction.
H. Katano, M. Senda : *Bull. Chem. Soc. Jpn.*, **71**(10), 2359-2363 (1998).

(3) Stripping voltammetry of mercury(II) and lead(II) ions at liquid/liquid interface.
H. Katano, M. Senda : *Anal. Sci.*, **14**(1), 63-65 (1998).

(4) Crystal structure of asparagine synthetase revaels a close evolutionary relationship to class II aminoacyl-tRNA synthetase.
T. Nakatsu, H. Kato, J. Oda : *Nature Structural Biology*, **5**(1), 15-19 (1998).

(5) アンペロメトリー型 Na^+および K^+イオン選択性電極の電流－電位特性とその高濃度領域定量分析への応用．
山田正之，片野 肇，千田 貢：分析化学, **47**(12), 919-927 (1998).

1．研究機関・研究室名

福井工業大学・応用理化学科　分析化学研究室

2．所在地および連絡先

住所：〒901-0028 福井市学園 3-6-1

Web site(ホームページ)：http://www.fukui-ut.ac.jp

3．研究室構成員(1998.12.1)

教　授	河合　逸朗		
大学院生		前期課程	1名
学部学生			4名

4．現在の主な研究内容

・硫化熱分解ガスクロマトグラフィーに関する研究

・蛍光ラベル化剤を用いるキャピラリー電気泳動分析に関する研究

5．主な所有機器

・原子吸光分光光度計

・分光光度計 (UV)

・熱分析装置 (TG-DTA-DSC)

・ガスクロマトグラフ

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5件)

(1) CE 用蛍光ラベル化剤 5'-(4-ピリジル)-2-(5,2'-ビチエニル)カルバルデヒドとその 4 級塩を用いるアミンのラベル化について.
中島理一郎、中川雅仁、塚越一彦、河合逸朗：日本分析化学会第 47 年会，(1998).

(2) 蛍光ラベル化剤 5'-｛4-(1-メチル)ピリジニオ-2-(5,2'-ビチエニル)カルバルデヒド＝ヨージドを用いる第一アミンの CE 分析.
中島理一郎、中川雅仁、塚越一彦、河合逸朗：第 59 回分析化学討論会，(1998).

(3) 蛍光ラベル化剤 5'-(4-ピリジル)-2-(5,2'-ビチエニル)カルバルデヒドを用いる第一ジアミンの CE 分析.
河合逸朗、川合靖幸、中島理一郎、市川宏明、中川雅仁、塚越一彦、：日本化学会第 74 春期年会，(1998).

(4) 蛍光ラベル化剤 5'-(4-ピリジル)-2-(5,2'-ビチエニル)カルバルデヒドを用いる第一アミンの CE 分析.
中島理一郎、中川雅仁、塚越一彦、河合逸朗：1997 機器分析東京討論会，(1997).

(5) 反応ガスクロマトグラフィーの研究Ⅳ（有機窒素化合物分析）.
河合逸朗：福井工業大学研究紀要，**1993**(23)，209-214.

1．研究機関・研究室

福井工業高等専門学校・物質工学科　化学情報工学研究室

2．所在地および連絡先

住所 : 〒916-8507 鯖江市下司町

Web site(ホームページ) : http://bigjohn.ce.fukui-nct.ac.jp/

3．研究室構成員(1998.10.1)

		Tel (0778)	Fax	E-mail
教　授	吉村　忠与志	62-8292	62-3415	tadayosi@fukui-nct.ac.jp
専攻科生				
本科学生	4年　3名	5年	4名	

4．現在の主な研究内容

・嗅覚と味覚のメカニカルセンシング技術の開発

・ダイオキシン類等の検出法の開発

・化学ソフトウェアの開発と流通

5．主な所有機器

・ガスクロマトグラフ質量分析装置(GC/MS)

・大気環境モニタリングシステム

・複合イオン電極によるマルチチャンネル計測システム

6．最近の研究活動　(論文・著書・学会発表・特許等;3～5件)

(1) Malodorous Air Measurement in the Atmosphere by Using the Air Monitoring System.
Y. Aoyama, T. Yoshimura, A. Yamada : *Denki Kagaku*, **66**(6), 641-647 (1998).

(2) Development of Plural Ion-selective Electrodes System for a Taste Recognition of Tasty Condiments.
T. Yoshimura, A. Yoshida, Y. Aoyama : *Denki Kagaku*, **64**(12), 1244-1253 (1996).

(3) Development and the Use of Chemistry Teaching Video Materials by Internet Browser.
N. Ashida, Y. Aoyama, T. Yoshimura, B. T. Newbold : *J. Chem. Software*, **4**(2), 51-56 (1998).

(4) 初・中等教育を踏まえた化学系における情報教育のあり方と実践.
吉村忠与志、青山義弘 : 高専教育, **21**, 167-174 (1998).

(5) 化学のための計測制御入門.
吉村忠与志、青山義弘 : 日本フイルコン (1997).

1．研究機関・研究室名

福井工業高等専門学校・物質工学科　分析化学研究室

2．所在地および連絡先

住所：〒916-8507 福井県鯖江市下司町

Web site(ホームページ)：http://www.fukui-nct.ac.jp/

3．研究室構成員(1998.10.1)

		Tel(0778)	Fax	E-mail
助教授	小泉　貞之	62-8285	62-3415	koizumi@fukui-nct.ac.jp
専攻科学生		1名		
卒業研究生		4名		

4．現在の主な研究内容

・吸着平衡を利用した自然浄化に対する新しい評価法の開発
・生体試料中の微量栄養元素の簡易測定法
・配位不飽和有機金属化合物を用いたイオンの選択的分析法

5．主な所有機器

・誘導結合プラズマ発光分析装置
・ゼーマン原子吸光分析装置
・元素分析装置
・イオンクロマトグラフ
・マイクロウェーブ湿式分解装置
・ガスクロマトグラフ
・全有機性炭素測定装置
・凍結乾燥装置
・超高速遠心分離機

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5件)

(1) Effect of the Concentrations of Triphenyltin Chloride and Anion Exchanger on the Anion Selectivity of a Plasticized PVC Membrane Electrode.
S. Koizumi, T. Imato, N. Ishibashi : *Fresenius' J. Anal. Chem.*, **357**, 37-43 (1997).

(2) Bi-Ionic Membrane Potential across a Liquid Anion-Exchange Membrane containing Triphenyltin Choride.
S. Koizumi, T. Imato, N. Ishibashi : *J. Membrane Sci.*, **132**, 149-158 (1997).

(3) Separatiaon Behavior of Anions on ODS Modified with Phthalocyanine Cobalt (III) Complex.
Eva Mecs Kocsis, S. Koizumi, T. Sakane, K. Takahashi, T. Imato : *Anal. Sci.*, **13**, 195-198 (1997).

(4) ヒト血清中のセレンとモリブデンの簡易測定とその応用.
東畑　宏, 今村　満, 小泉貞之, 斎藤正一, 日下幸則, 長沢澄雄, 清水瑠美子, 糸川嘉則: 第9回 福井高専共同研究発表会 予稿集, 13-18 (1998).

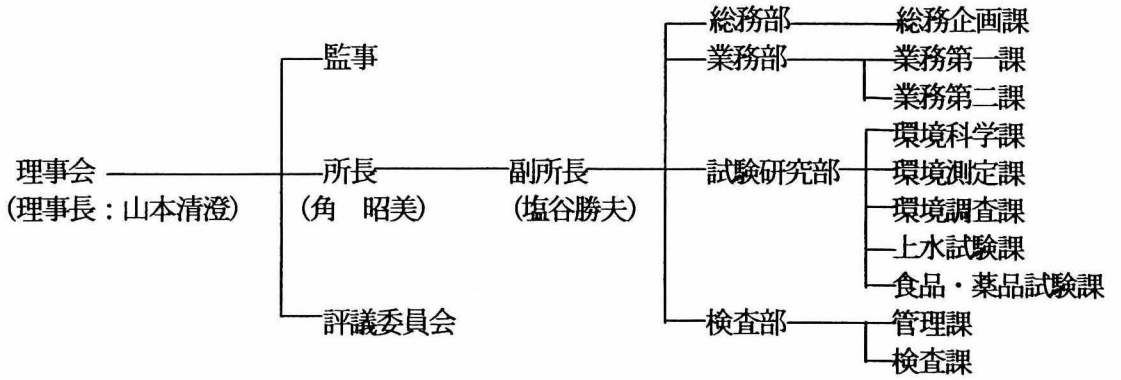
1．研究機関・研究室名

財団法人　北陸公衆衛生研究所

2．所在地および連絡先

住所：〒910-0026 福井市光陽４丁目 11-22　　(Tel : 0776-22-0699)
E-mail ; hk0699@lilac.ocn.ne.jp

3．組織図（1998.4.1）



4．現在の主な業務内容

・環境計量証明事業（水質・大気・廃棄物・底質・土壌・植物等）
・環境アセスメント（アセスメント、生態・生物調査等）
・作業環境測定事業
・水道・井戸水等検査事業
・食品・医薬品検査事業
・臨床検査事業
・簡易専用水道・浄化槽水質検査事業

5．主な所有機器

・誘導結合プラズマ発光分析装置(ICP-AES)
・誘導結合プラズマ質量分析装置(ICP-MS)
・蛍光X線分析装置・X線回折装置
・高速液体クロマトグラフ質量分析計
・X線マイクロアナライザー付走査型電子顕微鏡
・ガスクロマトグラフ質量分析装置（パージトラップ・ヘッドスペース付）

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5件）

(1) ICP-AES および原子吸光法による環境試料中の各種金属元素の定量法に関する検討.
佐々木洋子、石田真弓、末口忠義、角昭美：日本分析化学会　平成７年度講演要旨集（1995）.

(2) マイクロウェーブ加熱分解/ICP 発光分析法による環境試料中の各種金属元素の定量法に関する検討.
末口忠義、佐々木洋子、石田真弓、角昭美：日本分析化学会　平成８年度講演要旨集（1996）.

(3) ICP-MS による水道水中の金属分析の実際.
安栗由嘉里、角昭美：日本薬剤師会学術大会　平成８年度講演要旨集（1996）.

1．研究機関・研究室名

金沢大学・理学部　化学科　物質分析講座

2．所在地および連絡先

住所：〒920-1192　金沢市角間町

Web site(ホームページ)：http://nature.s.kanazawa-u.ac.jp/chemistry/bunseki.html

---

3．研究室構成員(1998.10.1)

		Tel(076)	Fax	E-mail
教　授	本浄　高治	264-5694	264-6060	honjo@kenroku.kanazawa-u.ac.jp
助教授	松本　　健	264-5693	264-5742	matumoto@cacheibm.s.kanazawa-u.ac.jp
助　手	平山　直紀	264-5692	264-5742	hirayama@cacheibm.s.kanazawa-u.ac.jp
大学院生	後期課程	2名		前期課程　　6名
学部学生		6名		

4．現在の主な研究内容

・溶媒抽出法による水中の微量元素の超分子錯体としての分離分析
・指標植物による環境における重金属汚染と浄化の状態分析
・難溶性試料の迅速分解法

5．主な所有機器

・誘導結合プラズマ発光分析装置(ICP-AES)
・原子吸光分析装置(AAS)
・イオンクロマトグラフ(IC)

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5件)

(1) Preconcentration and Determination of Trace Amounts of Lead(II) as Thenoyltrifluoroacetone Complex with Dibenzo-18-Crown-6 by Synergistic Extraction and Atomic Absorption Spectrometry.
K. Z. Hossain, T. Honjo : *Fresenius' J. Anal. Chem.*, **361**(1), 451-454 (1998).

(2) Ion-Pair Extraction System for the Mutual Separation of Lanthanides Using Divalent Quadridentate Schiff Bases.
N. Hirayama, I. Takeuchi, T. Honjo, K. Kubono, H. Kokusen : *Anal. Chem.*, **69**(23), 4814-4818 (1997).

(3) 溶媒抽出－クラウンエーテル－.
本浄高治: ぶんせき, **1997**(2), 127-136.

(4) 重金属と指標植物－自然の回復－.
本浄高治: 環境保全, **1997**(12), 25-35.

(5) 硫酸水素アンモニウム融解による難溶性酸化セリウム(IV)の迅速分解と分析への応用.
松本　健, 北川真由美: 分析化学, **47**(8), 491-495 (1998).

1. 研究機関・研究室名

金沢大学工学部 物質化学工学科 分析・環境化学研究室

---

2. 所在地および連絡先

住所:〒920-8667 金沢市小立野 2-40-20

Web site(ホームページ): http://araim.ch.t.kanazawa-u.ac.jp/

---

3. 研究室構成員(1998. 10. 1)

		Tel (076)	Fax	E-mail
教 授	上田 一正	234-4791	234-4800	kueda@t.kanazawa-u.ac.jp
助教授	宗林 由樹	234-4792	234-4800	sohrin@kenroku.kanazawa-u.ac.jp
技 官	新井 美和子	234-4793	234-4800	arai@ t.kanazawa-u.ac.jp
大学院生	後期課程	1名		
	前期課程	9名		
学部学生		8名		

---

4. 現在の主な研究内容

・環境並びに生体関連成分の分離分析に関する研究
・微量元素の水圏地球化学の研究
・特異な立体構造をもつ有機配位子の研究
・精密分離用吸着剤、生分解性材料などの開発

---

5. 主な所有機器

・誘導結合プラズマ発光分析装置(ICP-AES)
・偏光ゼーマン原子吸光光度計
・キャピラリー電気泳動装置
・イオンクロマトグラフ
・紫外可視分光光度計

---

6. 最近の研究活動

(1) Simultaneous Determination of Cyanide and Thiocyanate in Blood by Ion Chromatography with Fluorescence and Ultraviolet Detection.
K. Ueda, S. Chinaka, N. Takayama, Y. Michigami : *J. Chromatogr. B*, **713**, 353-359 (1998).

(2) Determination of trace elements in seawater by fluorinated metal alkoxide glass-immobilized 8-hydroxyquinoline concentration and high-resolution inductively coupled plasma mass spectrometry detection.
Y. Sohrin, S. Iwamoto, S. Akiyama, T. Fujita, *et al.* : *Anal. Chim. Acta*, **363**, 11-19 (1998).

(3) Dissolved niobium and tantalum in the North Pacific.
Y. Sohrin, Y. Fujishima, K. Ueda, S. Akiyama, *et al.* : *Geophys. Res. Lett.*, **25**, 999-1002 (1998).

1．研究機関・研究室名

金沢大学薬学部・薬学科　衛生分析化学講座　衛生化学研究室

2．所在地および連絡先

住所：〒920-0934　石川県金沢市宝町 13-1

Web site（ホームページ）：http://dbs.p.kanazawa-u.ac.jp/indexY.html

3．研究室構成員（1998.10.1）

		Tel (076)	Fax	E-mail
教　授	早川　和一	234-4413	234-4456	hayakawa@dbs.p.kanazawa-u.ac.jp
助教授	木津　良一	234-4457	234-4456	kizu@dbs.p.kanazawa-u.ac.jp
助　手	安藤　京子	234-4458	234-4456	ando@dbs.p.kanazawa-u.ac.jp
大学院生	前期課程	4 名		
学部学生		4 名		

4．現在の主な研究内容

・多環芳香族炭化水素およびニトロ多環芳香族炭化水素の排出・大気内動態・分解・遺伝子毒性に関する研究
・環境低負荷型ディーゼルエンジンの開発研究
・内分泌撹乱物質に関する研究
・乱用薬物の超高感度分析法に関する研究

5．主な所有機器

・高速液体クロマトグラフ／質量分析計（LC/MS/MS）
・ガスクロマトグラフ／質量分析計（GC/MS）
・イオンクロマトグラフ
・高速液体クロマトグラフ
・原子吸光光度計

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3〜5 件）

(1) Nitroarene Concentrations and Direct-Acting Mutagenicity of Diesel Exhaust Particulates Fractionated by Silica-Gel Column Chromatography.
K. Hayakawa, A. Nakamura, N. Terai, R. Kizu, K. Ando : *Chem. Pharm. Bull.*, **45**(11), 1820-1822 (1997).

(2) HPLC / Chemiluminescenece Detection of Methamphetamine and Amphetamine in Black and White Hair Samples.
N. Takayama, S. Tanaka, R. Kizu, K. Hayakawa : *Jpn. J. Toxicol. Environ. Health*, **44**(2), 116-121 (1998).

(3) Flow Injection Analysis of C-Fuel Oil-Contaminated Samples Based on Fluorescence Detection of Polycyclic Aromatic Hydrocarbons.
K.Hayakawa, A. Utsumi, R. Kizu, K. Ando : *Anal. Sci.*, **4**(4), 845-847 (1998).

(4) 日本海重油流出事故.
木津良一，安藤京子，早川和一：衛生化学, **44**(5), 321-333 (1998).

1．研究機関・研究室名

金沢大学・薬学部　衛生分析化学講座　薬品分析学研究室

2．所在地および連絡先

住所：〒920-0934 金沢市宝町 13-1

Web site(ホームページ)：http://dbs.p.kanazawa-u.ac.jp/~bunseki/index.html

---

3．研究室構成員(1998.10.1)

		Tel(076)	Fax	E-mail
教　授	島田　和武	234-4459	234-4459	shimada@dbs.p.kanazawa-u.ac.jp
助　手	三田村邦子	234-4461	234-4459	mitamura@dbs.p.kanazawa-u.ac.jp
助　手	東　達也	234-4460	234-4459	higashi@dbs.p.kanazawa-u.ac.jp
大学院生	後期課程	1名		前期課程　3名
学部学生		5名		研究生　名

4．現在の主な研究内容

・ビタミンD代謝物分析法の開発

・脳内ステロイドホルモン分析法の開発

5．主な所有機器

・GC/MS

・HPLC

・GC

・蛍光分光光度計

・紫外可視分光光度計

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5件)

(1) Studies on neurosteroids VIII. Determination of pregnenolone and its 3-stearate in rat brains using high-performance liquid chromatography–atmospheric pressure chemical ionization mass spectrometry. K. Shimada, Y. Mukai : *J. Chromatogr. B*, **714**(2), 153-160 (1998).

(2) Enzyme-linked immunosorbent assay for plasma 24,25-dihydroxyvitamin D_3. T. Higashi, N. Kobayashi, H. Ohmi, Y. Hayashi, K. Shimada : *Anal. Chim. Acta*, **365**(1-3), 151-158 (1998).

(3) High-performance liquid chromatographic separation of vitamin D_3 3-fatty acid esters and their liquid chromatography/mass spectrometry. K. Mitamura, Y. Nambu, M. Tanaka, A. Kawanishi, J. Kitahori, K. Shimada : *J. Liq. Chromatogr. Relat. Technol.*, in press.

(4) Levels of 24,25-dihyroxyvitamin D_3, 25-hydroxyvitamin D_3 and 25-hydroxyvitamin D_3 3-sulphate in human plasma. T. Higashi, K. Mitamura, H. Ohmi, N. Yamada, K. Shimada, K. Tanaka, H. Honjo : *Ann. Clin. Biochem.*, in press.

(5) Studies on neurosteroids VII. Characterization of pregnenolone, its sulfate and dehydroepiandrosterone in rat brains using liquid chromatography/mass spectrometry. K. Shimada, Y, Mukai, K, Yago : *J. Liq. Chromatogr. Relat. Technol.*, **21**(6), 765-775 (1998).

1．研究機関・研究室名

金沢大学教育学部・理科教育講座　上田研究室

2．所在地および連絡先

住所：〒920-1192 金沢市角間町

3．研究室構成員(1998.10.1)

		Tel(076)	Fax	E-mail
教　授	上田　穣一	264-5507	234-4112	jueda@ed.kanazawa-u.ac.jp
大学院生	自然科学研究科		後期課程	1名
	教育学研究科		修士課程	3名
学部学生				3名

4．現在の主な研究内容

・共沈法を併用した水中微量金属の濃縮定量法の開発
・微量成分分析のための発色試薬の開発
・身近な環境試料の簡易分析法の開発

5．主な所有機器

・原子吸光光度計
・蛍光光度計
・紫外可視分光光度計
・熱分析装置
・イオンクロマトグラフ

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5件)

(1) Determination of Chromium(III) and Chromium(VI) by Graphite-Furnace Atomic Absorption Spectrometry after Coprecipitation with Hafnium Hydroxide.
J. Ueda, H. Sato, S. Kagaya : *Anal. Sci.*, **13**(8), 613-617 (1997).

(2) Coprecipitation of Trace Metal Ions with Scandium Hydroxide for Graphite Furnace Atomic Absorption Spectrometry.
J. Ueda, T. Minami : *Chem. Lett.*, **1997**(7), 681-682.

(3) Determination of Lead(II) by Electrothermal Atomization Atomic Absorption Spectrometry after Coprecipitation with Gallium(III) Phosphate.
S. Kagaya, J. Ueda : *Bull. Chem. Soc. Jpn.*, **70**(6), 1379-1383 (1997).

1．研究機関・研究室名

金沢工業大学・工学部・物質応用工学科　環境有機材料研究室

2．所在地および連絡先

住所：〒921-8501 石川県石川郡野々市町扇が丘 7-1

Tel (076)294-6703　　Fax(076)294-6704

Web site(ホームページ)：http://www2.kanazawa-it.ac.jp/koubunshi

3．研究室構成員(1998.10.1)

		内線	E-mail
教　授	小川　俊夫	2268	ogawat@neptune.kanazawa-it.ac.jp
助教授	大澤　敏	2276	osawa@neptune.kanazawa-it.ac.jp
講師（高専）	原　孝美	2800	hara@neptune.kanazawa-it.ac.jp

大学院生	後期課程	1 名	前期課程	12 名
学部学生		15 名		

4．現在の主な研究内容

・超高分子量ポリエチレン繊維の表面処理
・ポリオレフィンフィルムの表面処理と接着性改良
・漆膜の保存安定性および各種プラスチックの耐久性に関する研究
・生分解性プラスチックの微生物による分解性評価と用途開発

5．主な所有機器

・X 線光電子分析装置(ESCA)
・走査型電子顕微鏡(SEM)
・ガスクロマト／質量分析装置(GC/MS)
・熱分析装置(DSC,TMA,TGA)
・粘弾性測定装置
・赤外分光光度計(顕微鏡付き)
・CCD カメラ(400 倍)
・射出成形機

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5 件)

(1) Effects of Functional Groups and Surface Roughness on Interfacial Shear Strength in Ultrahigh Molecular Weight Polyethylene Fiber/Polyethylene System.
T. Ogawa, H. Mukai, S. Osawa : *J. Appl. Polym. Sci.*, in press.

(2) コロナ放電処理したポリエチレンシートと各種フィルムとの付着性.
小川俊夫、小林正登、大澤敏、大藪又茂：日本接着学会誌, **34**, 298 (1998).

(3) Light Stability of Oriental Lacquer Films Irradiated by a Fluorescent Lamp.
T. Ogawa, K. Arai, S. Osawa : *J. Environmental Polym. Degradation*, **6**, 59 (1998).

(4) The Application of Multiple Regression Analysis to the Property-Structure-Relationship on Forgoing of Isotactic Polypropylene.
S. Osawa, H. Mukai, T. Ogawa, R. S. Porter : *J. Appl. Polym. Sci.*, **68**, 1297 (1998).

(5) ポリイミド製プリント基板の高温高湿度下における耐久性.
小川俊夫、倉谷篤、大澤敏、井上浩：マテリアルライフ, **10**, 85 (1998).

1．研究機関・研究室名

北陸先端科学技術大学院大学・材料科学研究科 機能化学専攻 生体機能材料講座

2．所在地および連絡先

住所：〒923-1292 石川県能美郡辰口町旭台 1-1

Web site(ホームページ)：http://www.jaist.ac.jp/ms/labs/tamiya/

3．研究室構成員(1998.12.1)

		Tel(0761)	Fax	E-mail
教 授	民谷 栄一	51-1660	51-1665	tamiya@jaist.ac.jp
助教授	横山 憲二	51-1661	51- 1665	yokoyama@jaist.ac.jp
助 手	阪口 利文	51-1662	51-1665	sakaguti@jaist.ac.jp
助 手	村上 裕二	51-1663	51-1665	yuji@jaist.ac.jp
助 手	森田 資隆	51-1667	51-1665	tamori@jaist.ac.jp
大学院生	後期課程	7名		前期課程 17名
共同研究員など		9名		

4．現在の主な研究内容

・新規バイオセンサーおよびバイオセンシングシステムの開発と特性評価
・極限環境微生物と由来酵素の単離と特性
・酵素の人工的改変
・物理/化学/生物ストレスが動植物に与える影響の評価

5．主な所有機器

・各種生物用顕微鏡(SNOAM, AFM, 紫外正立・倒立、実体など)
・高感度画像取得装置(共焦点, iCCD, 冷却 CCD, argus など)
・各種合成器など(DNA/peptide synth., PCR, 90L fermenter, 蒸着)
・各種分析装置(GC, HPLC, イオンクロマト, 自動 EC, MS, SPR, DNA/protein seq.)

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5 件)

(1) Genetic transformation of Trichosporon cutaneum IFO 10466, with a plasmid, pAN 7-1 from filamentous fungi. T. Sakaguchi et al. : *Biotechnol. Lett.*, (1998) in press.

(2) Purification and characterization of a cold-active protease from psychrotrophic Serratia marcescens AP3801. Y. Morita et al. : *J. Am. Oil Chem. Soc.* **74**(11), 1377-1383 (1997).

(3) Simultaneous Topographic and Fluorescence Imaging of Recombinant Bacterial Cells Containing a Green Fluorescent Protein Gene Detected by a Scanning Near-Field Optical/Atomic Force Microscope, E. Tamiya et al. : *Anal. Chem.*, **69**, 3697-3701 (1997) & Cover photo.

(4) Cyclic Voltammetric Simulation for Electrochemically Mediated Enzyme Reaction and Determination of Enzyme. K. Yokoyama et al. : *Anal. Chem.*, **70**, 3368-3376 (1998).

(5) An organic pollution sensor based on surface photovoltage.
Y. Murakami et al. : *Sensors and Actuators B*, (1998) in press,

1．研究機関・研究室名

北陸大学・薬学部　薬学科　薬品分析学教室

2．所在地および連絡先

住所：〒920-1181　金沢市金川町ホ3

Web site（ホームページ）：http://www.hokuriku-u.ac.jp/yakugaku/bunseki/ bunseki.htm

---

3．研究室構成員(1998.12.1)

		Tel(076)	Fax	E-mail
教　授	藤井　洋一	229-6191	2781	y-fujii@hokuriku-u.ac.jp
講　師	一ノ木　進	229-6192	2781	s-ichinoki@hokuriku-u.ac.jp
助　手	池田　ゆかり	229-1165	2781	y-ikeda@hokuriku-u.ac.jp
助　手	堂野　真由美	229-1165	2781	m-morita@hokuriku-u.ac.jp
大学院生	後期課程　　名			前期課程　3名
学部学生		19名		研究生　　名

4．現在の主な研究内容

・高速液体クロマトグラフィーによる微量金属の同時定量法の開発
・ジギタリス葉中のジゴキシンの高速液体クロマトグラフィーによる定量
・ジギトキシンのケイ光検出－高速液体クロマトグラフ法の開発
・強心配糖体のエンザイムイムノアッセイ

5．主な所有機器

・誘導結合プラズマ発光分析装置 (ICP-AES)
・蛍光分光光度計
・高速液体クロマトグラフ
・ガスクロマトグラフ

6．最近の研究活動（論文）

(1) 逆相高速液体クロマトグラフィーの溶離液成分としての脂肪族アルコール類.
一ノ木進，小川恵美，樫原まゆみ，石崎淳子，山崎満：分析化学, **47**(9)，591-598 (1998).

(2) プレカラムキレート化／オンラインカラム濃縮／自動高速液体クロマトグラフィーによるウシ肝臓中のppmレベルの重金属の同時定量.
一ノ木　進，山崎　満，大村　美由紀，永井　里佳：分析化学, **45**(9)，837-844 (1996).

(3) Quantitative Determination of Cardiac Glycosides in *Digitalis lanata* Leaves by Reversed-Phase Thin-Layer Chromatography.
Y. Ikeda, Y. Fujii, M. Umemura, T. Hatakeyama, M. Morita, M. Yamazaki : *J. Chromatogr. A*, **746**, 255-260 (1996).

(4) Highly Specific Anti-Digoxin Antiserum from Immunization with Digoxin 3'-Hemisuccinate-Bovine Serum Albumin Conjugate.
Y. Fujii, Y. Ikeda, M. Yamazaki : *Clin. Chem.*, **40**, 172-173 (1994).

1．研究機関・研究室名

富山大学工学部・物質生命システム工学科　応用化学　環境分子化学講座

2．所在地および連絡先

住所：〒930-8555　富山市五福3190

3．研究室構成員(1998.10.1)

		Tel(0764)	Fax	E-mail
教　授	長谷川　淳	45-6864	45-6703	hasegawa@eng.toyama-u.ac.jp
助教授	神原　貴樹	45-6965	45-6703	kanbara@eng.toyama-u.ac.jp
助　手	加賀谷重浩	45-6969	45-6703	kagaya@eng.toyama-u.ac.jp
教務職員	篠田　操	45-6966	45-6703	
大学院生	後期課程	2名		前期課程　7名
学部学生		7名		研究生　1名

4．現在の主な研究内容

・大気粒子表面の環境汚染物質の複合反応
・無機・有機半導体を用いる環境汚染物質の光触媒分解
・新規機能性高分子の合成とその機能性評価
・凝集沈殿一原子吸光分析法を用いる無機元素の微量分析

5．主な所有機器

・ガスクロマトグラフ一質量分析計
・ガスクロマトグラフ
・高速液体クロマトグラフ
・イオンクロマトグラフ
・FT-赤外分光光度計と蛍光分光光度計

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5件)

(1) Photocatalyzed Degradation of Agrochemicals in TiO_2 Aqueous Suspensions.
K. Hasegawa, T. Kanbara, S. Kagaya : *Denki Kagaku*, **66**(6), 625-634 (1998).

(2) Absorption of Atmospheric Phenol by various Tree Species and Their Tolerance to Phenol.
T. Kondo, K. Hasegawa : *Toxicol. Environ. Chem.*, in press.

(3) Preparation of Photocatalytically Active Polyamine and Polyamide Containing Acridinine Group in the Main Chain by Palladium-catalyzed Polycondensation.
T. Kanbara, T. Imayasu, K. Hasegawa : *Chem. Lett.*, **1998**, 709-710.

(4) Photocatalyzed Degradation of Metal-EDTA Complexes in TiO_2 Aqueous Suspensions and Simultaneous Metal Removal.
S. Kagaya, K. Hasegawa : *Chem. Lett.*, **1997**, 155-156.

1．研究機関・研究室名

富山大学・理学部・生物圏環境科学科・環境化学計測講座

2．所在地および連絡先

住所：〒930-8555　富山市五福 3190

Web site(ホームページ) : http://www.toyama-u.ac.jp/indexJP.html

3．研究室構成員(1998.12.1)

		Tel(0764)	Fax	E-mail
教　授	田口　茂	45-6666	45-6549	taguchi@sci.toyama-u.ac.jp
助教授	笠原　一世	45-6669	45-6549	kasahara@sci.toyama-u.ac.jp
助　手	波多　宣子	45-6670	45-6549	noriko@sci.toyama-u.ac.jp
大学院生	後期課程	1名		前期課程　2名
学部学生		8名		研究生　1名

4．現在の主な研究内容

・環境水中の微量成分の濃縮／定量に関する研究
・高選択性分離・濃縮のための異相間（液／液，固／液）分配挙動に関する研究
・排水の処理法の開発

5．主な所有機器

・誘導結合プラズマ発光分析装置(ICP-AES)
・偏光ゼーマン原子吸光光度計(Zeeman Flame AAS and Zeeman GFAAS)
・マルチチャンネル検出器付高速液体クロマトグラフ

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許など）

(1) 溶媒不溶性及び可溶性膜を用いる陰イオン界面活性剤共存下での水中の陽イオン界面活性剤の分離と吸光光度定量.
田口　茂, 安田裕恵, 和田千賀子, 孫　恵峰, 笠原一世 : 分析化学, **47**(12), 1035-1040 (1998).

(2) キサンツレン酸結合型シリカゲルの合成とその環境水中の微量金属の前濃縮/定量への応用.
笠原一世, 寺島元基, 向山智子, 田口　茂 : 分析化学, **47**(12), 1061-1067 (1998).

(3) Effect of aromatic solvents dissolved in an aqueous phase on ion-pair solid-phase extraction.
S. Taguchi, T. Goki, H. Kazashi, I. Kasahara : *Analyst*, **122** (11), 1319-1322 (1997).

(4) Distribution of an ion pair onto cellulose derivatives comprising a nitro group.
S. Taguchi, Y. Yotsu, I. Kasahara : *Anal. Sci.*, **13**(4), 505-507 (1997).

(5) Membrane solubilization with tetramethylammonium hydroxide for the preconcentration and electrothermal atomic absorption spectrometric determination of trace amounts of arsenic in water.
N. Hata, H. Yamada, I. Kasahara, S. Taguchi : *Analyst*, in press.

1．研究機関・研究室名

富山大学・教育学部・理科教育講座

2．所在地および連絡先

住所：〒930-8555　富山市五福3190

Web site :

3．研究室構成員(1998.12.1)

	Tel & Fax(0764)	E-mail
教　授　原　稔	45-6296	mhara@edu.toyama-u.ac.jp
大学院生　　名		
学部学生　3名		

4．現在の主な研究内容

・ボルタンメトリーにおけるウルトラマイクロ電極の研究
・安価な理科実験装置の開発
・環境教育における生徒実験の開発

5．主な所有機器

・ポーラログラフ
・分光光度計
・イオンクロマトグラフ

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許など）

(1) CODの簡易測定法の開発.
上田晃嗣，原　　稔：化学と教育, **46** (10)，656-659 (1998).

(2) 自然界の水質浄化システムを学ぶための簡易実験法の開発.
上田晃嗣，原　　稔：化学と教育，印刷中.

(3) マッシュルームを使ったバイオセンサーに関する研究.
平田幸代，原　　稔：日本理科教育学会北陸支部大会講演要旨集，p.35(1998).

(4) 理科の計測実験におけるシングルチップコンピュータの利用.
原　　稔：日本理科教育学会北陸支部大会講演要旨集，p.23(1998).

1．研究機関・研究室名

富山医科薬科大学・薬学部 臨床分析学講座 分析化学研究室

2．所在地および連絡先

住所：〒930-0194 富山市杉谷 2630 番地

Web site(ホームページ)：http://www.toyama-mpu.ac.jp/public/anachem/home-J.html

(工事中)

3．研究室構成員(1998.10.1)

		Tel(0764)	Fax	E-mail
教　授	谷村　たけ徳	34-2281 内 2615	34-5063	tanimu@ms.toyama-mpu.ac.jp
助教授	中込　和哉	34-2281 内 2618	34-5063	nakagomi@ms.toyama-mpu.ac.jp
助　手	中野　琢	34-2281 内 2617	34-5063	tnakano@ms.toyama-mpu.ac.jp
助　手	定金　豊	34-2281 内 2618	34-5063	sadapon@ms.toyama-mpu.ac.jp

大学院生　　後期課程　　名　　前期課程　　6 名

学部学生　　6 名

4．現在の主な研究内容

・液液向流多段分別抽出法の開発と装置の試作
・液体クロマトグラフィーによる光学対掌体の分離
・生体成分中に潜在する新規な機能性ペプチドの検索
・ヘム蛋白酵素の反応機構のモデルによる研究
・水性ポリマー二相系による DNA、RNA の分離

5．主な所有機器

・高速液体クロマトグラフ、各種
・液液向流多段分別抽出装置、各種
・動物細胞培養装置

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5 件)

(1) Acein-1, a Novel Angiotensin-I-Converting Enzyme Inhibitory Peptide Isolated from Tryptic Hydrolysate of Human Plasma.
K. Nakagomi, A. Fujimura, H. Ebisu, T. Sakai, Y. Sadakane, N. Fujii, T. Tanimura : *FEBS Lett.*, **438**, 255-257 (1998).

(2) 植物成分からのマスト細胞脱顆粒抑制物質.
中込和哉：花粉症研究会報, **9**, 9-15 (1998).

(3) 液固分別抽出装置の試作.
横内祐樹、大野由香、中込和哉、谷村たけ徳、椛沢洋三：*Chromatogr.*, **19**(2), 96-97 (1998).

(4) 向流多段分別抽出装置の試作と D,L-イソロイシンの連続分離への適用.
横内祐樹、大野由香、中込和哉、谷村たけ徳、椛沢洋三：*Chromatogr.*, **19**(4), 374-375 (1998).

1．研究機関・研究室名

富山工業高等専門学校・環境材料工学科

2．所在地および連絡先

住所：〒939-8630　富山市本郷町 13 番地

Web site (ホームページ)：http://www.toyama-nct.ac.jp/personal/chohji/index.html

3．研究室構成員（1998.10.1）

		Tel (0764)	Fax	E-mail
教　授	丁子　哲治	93-5478	92-3859	chohji@toyama-nct.ac.jp
専攻科生		1名		

4．現在の主な研究内容

・環日本海域における大気汚染物質の長距離輸送の観測と解析
・東アジアにおけるフッ素，ヒ素による地下水汚染のエコマテリアルを用いた浄化法の開発
・めっきプロセスのゼロエミッション化

5．主な所有機器

・イオンクロマトグラフ
・フレームレス原子吸光光度計
・紫外／可視分光光度計
・ガスクロマトグラフ

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等：３～５件）

(1) Oxidation Treatment of Phosphinic Acid in Electroless Plating Wastewater。
T. Chohji, M. Tabata, S. Yano, I. Aizawa : *Proceedings of 6th IAWQ Asia-Pacific Regional Conference*, **2**, 1233-1240 (1997).

(2) Kinetic Assessment of Treatment System of Fluoride from Ground Water in China from the Viewpoint of Ecotechnology.
T. Chohji, N. Tang, M. Yoneda, N. Ouyang, H. Quan : *Proceedings of 6th IAWQ Asia-Pacific Regional Conference*, **2**, 1667-1673 (1997).

(3) CO2 Recovery from Flue Gas by an Ecotechnological (Environmentally Friendly) System.
T. Chohji, M. Tabata, E. Hirai : *Energy*, **22** (2/3), 151-159 (1997).

(4) 韓国で観測された黄砂粒子中の水溶性化学成分.
丁子哲治，李敏熙，辛燦基，金光振，平井英二：エアロゾル研究, **2** (3), 220-227 (1997).

(5) Statistical Study on Long-Term Variations in River Water Quality from the Viewpoint of Acidification by Acidic Precipitation.
T. Chohji, M. Tabata : *Proceedings of International Congress of Acid Snow and Rain 1997*, 369-374 (1997).

1．研究機関・研究室名

富山県工業技術センター　中央研究所　応用技術課

2．所在地および連絡先

住所：〒939-0981　富山県高岡市二上町 150

TEL　0766-21-2121　　FAX　0766-21-2402

Web site(ホームページ)：http://www.itc.pref.toyama.jp

3．　研究室構成員

		E-mail
課　長	尾間　忠則	oma@itc.pref.toyama.jp
副主幹研究員	高野　元栄	takano@itc.pref.toyama.jp
副主幹研究員	窪田　三郎	qubota-s@itc.pref.toyama.jp
主任研究員	九曜　英雄	kuyo@itc.pref.toyama.jp
主任研究員	水野　渡	mizuno@itc.pref.toyama.jp
研究員	佐伯　和光	saeki@itc.pref.toyama.jp
研究員	牧村　めぐみ	makimura@itc.pref.toyama.jp

4．現在の主な研究内容

・高分子アクチュエータの開発
・廃塩化ビニル利用技術の開発
・金属材料の微生物腐食のメカニズム解明と防止技術の開発
・海水氷の製造研究
・ポリアセタール射出成形品の複合化
・臭い吸収材料の開発
・生分解性プラスチックを用いた水処理技術の開発

5．主な所有機器

・赤外分光光度計
・蛍光 X 線分析装置
・プラズマ発光分析装置(ICP-AES)
・原子吸光光度計
・イオンクロマトグラフ
・金属中炭素・硫黄定量装置
・炭水窒素自動分析装置
・ガスクロマトグラフ質量分析計(GCMS)

6．最近の研究活動（論文・総説・学会発表・特許等；3～5 件）

(1) Morphology of Injection Molded Polyacetal during Filling.
W. Mizuno, K. Tomari, H. Hamada, Z. Maekawa : *Intern. Polymer Processing*, **vol.XIII** 3, 277-283 (1998).

(2) 同時複合射出成形法を用いたサンドイッチ成形法によるポリアセタール複合成形品の構造と物性.
水野　渡、泊　清隆、濱田泰似：日本材料学会, **47**, (1998) 印刷中.

(3) 金属抗菌剤を内添したウレタン塗膜アルミサッシの抗菌力と変退色.
窪田三郎、澤井久子、竹内松芳、小伏脇史明：日本防菌防黴学会誌, **26**, 301-307 (1998).

1．研究機関・研究室名

富山県環境科学センター

2．所在地及び連絡先

所在地：〒939-0363　富山県射水郡小杉町中太閤山 17-1(TEL : 0766-56-2835)

Web site(ホームページ)：http://www.nsknet.or.jp/toyama.ec/

3．研究室構成（1998.12.1）

		Tel	E-mail
所長	野田　理男	(ex. 220)	ec.direc@nsknet.or.jp
次長	山崎　行雄	(ex. 221)	ec.deputy@nsknet.or.jp
大気課長	宮本　勲	(ex. 225)	taiki@nsknet.or.jp
水質課長	(次長兼務)	(ex. 226)	suishitsu@nsknet.or.jp
生活環境課長	廣田　睦	(ex. 227)	seikatsu@nsknet.or.jp
研究員	20 名		

4．現在の主な研究

・樹木による大気浄化作用に関する研究
・ COD 簡易分析法の実用性に関する研究
・産業廃棄物最終処分場（管理型）の安定化に関する研究

5．主な所有機器

・ガスクロマトグラフ質量分析計
・高速液体クロマトグラフ
・ ICP 質量分析計
・イオンクロマトグラフ

6．最近の研究活動

(1) 環境因子による金属腐食への影響.
鳥山成一：第 38 回大気環境学会年会　つくば市 (1997.9.24).

(2) 事業場排水におけるトリハロメタン生成能の測定方法及び生成因子.
藤平蔵芳光：第 24 環境保全・公害防止研究発表会　那覇市 (1997.11.20).

(3) 観葉植物のホルムアルデヒド吸収能力の比較.
近藤隆之、神保高之、奥村秀一、大西勝典：第 24 環境保全・公害防止研究発表会
那覇市 (1997.11.20).

(4) 落葉樹のフェノール吸収速度.
近藤隆之：第 12 回全公研協議会東海・近畿・北陸支部研究会　大津市 (1997.10.26).

(5) 排水処理装置と排水処理方法（1997.2.27　特許第 2613586 号）.

5．中部支部　維持会員・特別会員 会員一覧

[維持会員](17社)

	会 員 名	郵便番号	住所, 電話番号, Fax番号
1	東栄興産㈱ 米田　実	933-0002	高岡市吉久1-1-1 Tel: 0766-23-5613　Fax: 0766-28-2636
2	YKK㈱黒部事業所 松尾洋治	938-0005	黒部市吉田200 Tel: 0765-54-8400　Fax: 0765-54-8408
3	キッセイ薬品工業㈱ 神澤邦雄	399-8304	長野県穂高町柏原4365-1 Tel: 0263-82-8820　Fax: 0263-82-8826
4	旭化成工業㈱基盤技術センター 丹　信全	416-0934	富士市鮫島2-1 Tel: 0545-62-3041　Fax: 0545-62-3039
5	浜松ホトニクス㈱ 外村喜久雄	434-0041	浜北市平口5000リサーチパーク Tel: 053-586-7111
6	日機装㈱ 成岡　勲	421-0404	静岡県榛原郡榛原町静谷498-1 Tel: 0548-22-5889　Fax: 0548-22-5857
7	伊藤製作所 伊藤慶夫	417-0801	富士市大渕3516-2 Tel: 0545-36-0330　Fax: 0545-36-0332
8	日本特殊陶業㈱ 松尾康史	485-0011	小牧市大字岩崎2808 Tel: 0568-76-5953　Fax: 0568-76-1295
9	愛知製鋼㈱ 大橋正昭	476-0003	東海市荒尾町ワノ割1 Tel: 052-603-9245　Fax: 052-603-1862
10	トヨタ自動車㈱ 石原さなえ	471-0826	豊田市トヨタ町1 Tel: 0565-28-2121　Fax: 0565-28-5744
11	大同特殊鋼㈱ 伊藤清孝	457-0811	名古屋市南区大同町2-30 Tel: 052-611-9433　Fax: 052-611-9447
12	マルヤス工業㈱ 森島義明	444-0908	岡崎市橋目町北山1 Tel: 0564-31-2121　Fax: 0564-31-1409
13	東亜合成㈱名古屋総合研究所 中村靖一	455-0027	名古屋市港区船見町1-1 Tel: 052-611-9936　Fax: 052-611-1693
14	トピー工業㈱豊橋製造所 松久　晃	441-8074	豊橋市明海町1 Tel: 0532-25-1111　Fax: 0532-25-4267
15	住友軽金属工業㈱研究開発センター 木下	455-0011	名古屋市港区千年3-1-12 Tel: 052-651-2149　Fax: 052-651-8117
16	豊田合成㈱技術本部 中根正一	492-8174	稲沢市北島町西の町30 Tel: 0587-34-3343　Fax: 0587-34-3289
17	東ソー㈱四日市事業所 岡　勝義	510-0011	四日市市霞1-8 Tel: 0593-64-1190　Fax: 0593-64-6945

[特別会員](112社)

	会員名	郵便番号	住所, 電話番号, Fax番号
1	富士薬品工業㈱ 図書室	933-0951	高岡市長慶寺530 Tel: 0766-21-3456 Fax: 0766-23-9030
2	第一薬品工業㈱ 研究所	930-2201	富山市草島15-1 Tel: 0764-35-4897 Fax: 0764-35-4900
3	日産化学工業㈱富山工場 品質保証室	939-2753	富山県婦負郡婦中町笹倉635 Tel: 0764-33-9619
4	金鋼化学㈱ 総務課	930-0912	富山市日俣3 Tel: 0764-23-3131
5	燐化学工業㈱新湊工場 品質管理課	934-0035	新湊市新堀34 Tel: 0766-86-2511 Fax: 0766-86-1178
6	中越合金鋳工㈱富山工場 品質保証部品質保証課	930-0224	富山県立山町西芦原新1-1 Tel: 0764-63-1211 Fax: 0764-62-9555
7	ダイヤモンドエンジニアリング㈱ 松田 剛	937-0068	魚津市本新751 Tel: 0765-24-3521 Fax: 0765-24-3580
8	富士化学工業㈱ 原薬事業部第一技術担当	930-0355	富山県上市町横法音寺55 Tel: 0764-72-2323 Fax: 0764-72-2330
9	大協薬品工業㈱ 学術部	939-3521	富山市水橋畠等173-3 Tel: 0764-78-1122 Fax: 0764-79-1100
10	北陸電力㈱地域総合研究所 技術研究担当(火力・環境)	930-0817	富山市久方町2-54 Tel: 0764-41-4151 Fax: 0764-33-7893
11	富山化学工業㈱綜合研究所 研究管理部管理課 宮原 小百合	939-1118	富山市下奥井2-4-1 Tel: 0764-31-8259 Fax: 0764-31-8208
12	藤沢薬品工業㈱高岡工場 GMP担当	939-1118	高岡市戸出栄町30 Tel: 0766-63-1220 Fax: 0766-63-5299
13	太平洋ランダム㈱岩瀬工場 検査課 松岡 肇	939-8374	富山市岩瀬赤田町1 Tel: 0764-38-1217 Fax: 0764-37-7099
14	アースコンサル㈱ 西井淳	939-0351	富山県射水郡小杉町戸破8-17 Tel: 0766-56-1180 Fax: 0766-56-8811
15	辰巳化学㈱ 学術部	921-8182	金沢市三馬3-345 Tel: 0762-47-1231 Fax: 0762-47-1329
16	(財)北陸保健衛生研究所 検査部	920-0806	金沢市神宮寺2-20-3 石川県薬業ﾋﾞﾙ6F Tel: 0762-51-1238 Fax: 0762-51-1058
17	㈱金沢村田製作所 管理部事務課 林 琴未	920-2101	石川県石川郡鶴来町曽谷町チ18 Tel: 07619-3-1151 Fax: 07619-3-2153
18	日華化学㈱ 研究管理部	910-0017	福井市文京4-23-1 Tel: 0776-24-0213 Fax: 0776-27-7065
19	日信化学工業㈱ 総務課	915-0802	武生市北府2-17-33 Tel: 0778-22-5100 Fax: 0778-24-0657
20	信越化学工業㈱武生工場	915-0802	武生市北府2-1-5 Tel: 0778-24-3141 Fax: 0778-24-1192
21	日本原子力発電㈱敦賀発電所 技術課	914-0842	敦賀市明神町1 Tel: 0770-26-1111 Fax: 0770-26-1111
22	八洲化学工業㈱研究所	381-0006	長野市富竹173 Tel: 0262-96-2097 Fax: 0262-96-2037
23	セイコーエプソン㈱ 文書課図書資料室	392-0001	諏訪市大和3-3-5 Tel: 0266-52-3131 Fax: 0266-53-4844

24	新光電機工業㈱ 開発統軸部ﾌﾟﾛｾｽ開発部分析室　奥村　由美子	380-0921	長野市栗田711 Tel: 026-226-1145　Fax: 026-228-2289
25	(社)農林水産航空協会384 農林航空技術ｾﾝﾀｰ	384-0000	小諸市山浦4857-1 Tel: 0267-23-0162　Fax: 0267-23-6580
26	ゴールドパック㈱ 品質管理部　角田　義弘	390-0833	松本市双葉12-63 Tel: 0263-28-2215　Fax: 0263-28-7550
27	神岡工業㈱ 環境分析室　志多　浩司	506-1114	岐阜県神岡町鹿間1-1 Tel: 0578-2-2216　Fax: 0578-2-5139
28	晃栄産業㈱	509-0207	可児市今渡1952 Tel: 0574-62-3823　Fax: 0574-62-3857
29	イビデンエンジニアリング㈱ 環境技術部	503-0917	大垣市神田町2-1 Tel: 0584-74-9344　Fax: 0584-74-9344
30	㈱富士電化環境センター	431-0431	湖西市鷲津600-2 Tel: 05357-6-1713　Fax: 05357-6-2118
31	静岡ガス㈱総合研究所	422-8005	静岡市池田28 Tel: 0542-86-4828　Fax: 0542-83-7621
32	日本軽金属㈱清水工場 技術部　榎　貴志	424-0901	清水市三保4025-1 Tel: 0543-34-2213　Fax: 0543-35-9649
33	三井デュポンフロロケミカル 清水工場技術課	424-0901	清水市三保3600 Tel: 0543-34-2233
34	日本軽金属㈱グループ技術センター 技術情報室図書係	421-3203	静岡県蒲原町蒲原1-34-1 Tel: 0543-85-5195　Fax: 0543-88-2108
35	ポリプラスチックス(株) 研究開発本部　池永　征夫	416-0945	富士市宮島973 Tel: 0545-64-7315　Fax: 0545-64-4826
36	東海電化工業㈱ 吉原工場	417-0841	富士市富士岡580 Tel: 0545-34-1030
37	クミアイ化学工業㈱化学研究所 総務課　若林	424-0053	清水市渋川100 Tel: 0543-45-3163　Fax: 0543-46-3284
38	富士写真フィルム㈱富士宮研究所 技資室	418-0044	富士宮市大中里200 Tel: 0544-26-7610　Fax: 0544-26-7690
39	特殊製紙㈱総合技術研究所	411-0945	静岡県長泉町本宿501 Tel: 0559-88-1141　Fax: 0559-88-1149
40	協和発酵工業㈱医薬研究所 図書室	411-0943	静岡県長泉町下土狩1188 Tel: 0559-86-7600　Fax: 0559-86-7430
41	㈱巴川製紙所技術研究所 図書室	421-0126	静岡市用宗巴町3-1 Tel: 054-257-3132　Fax: 054-257-1800
42	キャタラー工業㈱ 品質管理部	437-1412	静岡県大東町千浜7800 Tel: 0537-72-3131　Fax: 0537-72-2829
43	日本軽金属㈱浦原製造所 分析センター	421-3203	静岡県浦原町浦原161 Tel: 0543-88-3119　Fax: 0543-88-2162
44	(社)日本食品衛生協会食品衛生研究所 第一化学試験部長　二宮　隆博	425-0076	焼津市小屋敷22-6 Tel: 054-626-4171　Fax: 054-626-4176
45	㈱資生堂掛川工場 技術部OAG	436-0047	掛川市長谷1-120 Tel: 0537-24-1137　Fax: 0537-24-5506
46	清水製薬㈱ 薬事室	424-0911	清水市宮加三649-1 Tel: 0543-35-9950　Fax: 0543-35-4858
47	東芝硝子㈱解析センター	421-0302	静岡県榛原郡吉田町川尻3583-5 Tel: 0548-32-1212　Fax: 0548-32-9602
48	科研製薬㈱静岡工場	426-0054	藤枝市源助301 Tel: 054-635-2290　Fax: 054-635-6924

49	㈱ケイ・アイ研究所 研究管理室	437-1213	静岡県福田町塩新田408-1 Tel: 053-858-0141 Fax: 053 －858-1564
50	興和㈱富士研究所	417-0845	富士市大野新田332-1 Tel: 0545-33-1716 Fax0545-32-0397
51	和信化学工業㈱ 技術部	424-0037	清水市袖師町1460 Tel: 0543-65-3111 Fax: 0543-66-5994
52	中部瓦斯㈱浜松製造所 総括管理担当	435-0044	浜松市西塚町186 Tel: 053-461-3598
53	ミネベア㈱開発技術センター 解析・応用技術ｸﾞﾙｰﾌﾟ 裏 暢子	437-1102	静岡県浅羽町浅名1743-1 Tel: 0538-23-7001 Fax: 0538-23-7040
54	矢崎電線㈱沼津製作所技術部 技術部 原 敏明	410-0022	沼津市大岡2771 Tel: 0559-24-2231 Fax: 0559-21-5467
55	キャノン㈱材料プロセス開発センター 材料第一開発部材料14開発室	410-1102	裾野市深良4202 Tel: 0559-65-2111 Fax: 0559-65-2228
56	ジボダン・ルール㈱袋井工場 高畑慎一	437-0061	袋井市久能3056 Tel: 0538-44-1301 Fax: 0538-44-1304
57	コーニングジャパン㈱ﾃｸﾆｶﾙｾﾝﾀｰ 図書室 北原 めぐみ	437-1302	静岡県大須賀町大渕12117 Tel: 0537-48-5717 Fax: 0537-48-5368
58	遠州ファインケミカル㈱ 製造技術課 久保 正昭	437-1213	静岡県福田町塩新田582 Tel: 0538-58-1001 Fax: 0538-58-0680
59	㈱分子バイオホトニクス研究所 研究企画室 川合 貴子	434-0041	浜北市平口5000 Tel: 053-584-0250 Fax: 053-584-0260
60	共和レザー㈱ 品質保証部 渋谷 徳行	434-0000	浜松市東町1876 Tel: 053-425-9601 Fax: 053-425-6993
61	㈱ノリタケカンパニーリミテド 開発本部測定課 神谷 悟	470-0224	愛知県三好町三好東山300 Tel: 05613-4-4995 Fax05613-4-4997
62	石塚硝子㈱研究所	466-0057	名古屋市昭和区高辻町11-15 Tel: 052-871-3311
63	東邦ガス㈱総合技術研究所 基盤技術研究部分析センター	476-0005	東海市新宝町507-2 Tel: 052-603-5311 Fax: 052-603-8671
64	日本油脂㈱衣浦工場 化成品研究所応用第5G	470-2345	愛知県武豊町西門82 Tel: 0569-72-1229 Fax: 0569-73-4678
65	中部電力㈱ 電気利用技術研究所 化学・防食グループ	459-8001	名古屋市緑区大高町北関山20-1 Tel: 052-621-6101 Fax: 052-623-5117
66	ファイザー製薬㈱中央研究所 研究情報室	470-2300	愛知県武豊町字5号地 Tel: 0569-72-2111 Fax: 0569-73-1064
67	三井東圧化学㈱名古屋研究所 研究管理室	457-0801	名古屋市南区丹後通り2-1 Tel: 052-614-2151 Fax: 052-614-2193
68	㈱東海理化電機製作所 開発部材料技術開発室 大野 守彦	480-0134	愛知県大口町豊田字野田1 Tel: 0587-95-7042 Fax: 0587-95-6643
69	興和㈱名古屋工場 試験課 福田 時男	462-0024	名古屋市北区鳩岡2-18-57 Tel: 052-981-8429 Fax: 052-914-1872
70	日揮(株) RD本部衣浦研究所分析研究部 古田 昭男	475-0021	半田市州の崎町2-110 Tel: 0569-29-0511 Fax: 0569-29-1594
71	日研化成㈱名古屋工場 品質課	478-0046	知多市北浜町24-12 Tel: 0562-55-1171 Fax: 0562-55-0856
72	㈱INAX基盤研究所 分析センター 今井 茂雄	479-0848	常滑市港町3-77 Tel: 0569-43-6112 Fax: 0569-43-5535
73	日本ガイシ㈱知多事業所 金属事業部生産技術室	475-0000	半田市前潟町1 Tel: 0569-23-5806 Fax: 0569-23-5855

74	㈱東海技術センター 業務部	465-0021	名古屋市名東区猪子石2-710 Tel: 052-771-5161 Fax: 052-771-5164
75	㈱日本点眼薬研究所 研究部 高村 美穂	457-0039	名古屋市南区西桜町76 Tel: 052-822-5512 Fax: 052-824-9141
76	㈱名古屋環境分析センター 後藤 枝実	462-0017	名古屋市北区落合町267 Tel: 052-901-2411 Fax: 052-901-8979
77	東亜環境サービス㈱ 業務部 武藤 鉱一	457-0049	名古屋市南区北内町1-22 Tel: 052-822-9654 Fax: 052-824-8790
78	㈱アラクス清洲工場 研究開発部	492-8176	稲沢市日下部花ノ木町1 Tel: 0587-32-4181 Fax: 0587-32-5999
79	日本ガイシ㈱エンジニアリング事業本部 環境装置事業部開発部試験課	475-0825	半田市前潟町1 Tel: 0569-23-5780 Fax: 0569-23-5767
80	日本ガイシ㈱研究所 図書室	467-0871	名古屋市瑞穂区須田町2-56 Tel: 052-872-7765 Fax: 052-872-7335
81	敷島製パン(株) 研究部 近藤 光雄	461-0011	名古屋市東区白壁5-3 Tel: 052-933-2141 Fax: 052-933-2178
82	アスゲン製薬㈱	461-0001	名古屋市東区泉2-28-8 Tel: 052-931-1212 Fax: 052-931-1331
83	共立窯業原料㈱ 技術部化学分析課	455-0044	名古屋市港区築三町2-41 Tel: 052-661-3186 Fax: 052-652-3346
84	ニチバン㈱中央研究所	446-0075	安城市二本木新町3-1-10 Tel: 0566-76-1631 Fax: 0566-77-4070
85	ホーユー㈱研究所 吉村克巳	480-1131	愛知県愛知郡長久手町長湫字櫨木1-12 Tel: 0561-62-0511 Fax: 0561-62-1777
86	アイシン精機㈱ 品質保証部QA センター	448-0032	刈谷市朝日町2-1 Tel: 0566-24-8471 Fax: 0566-24-8527
87	アイシン化工㈱技術開発研究所 技術管理部	470-0451	愛知県藤岡町飯野字大川ヶ原1141-1 Tel: 0565-76-2311 Fax: 0565-76-1555
88	味の素㈱東海工場 総務係	510-0885	四日市市日永1730 Tel: 0593-46-0111
89	㈱デンソー 材料技術部	448-0029	刈谷市昭和町1-1 Tel: 0566-25-7760 Fax: 0566-25-4615
90	昭和薬品化工㈱瀬戸工場 品質管理課 中島 靖広	489-0977	瀬戸市坂上町411 Tel: 0561-84-1211 Fax: 0561-84-9011
91	㈱テクノ中部技研センター 化学G 山崎 澄	459-8001	名古屋市緑区大高町北関山20-1 Tel: 052-622-3121 Fax: 052-622-3208
92	㈱ジャパンエナジー知多製油所 生産管理部試験研究科	478-0046	知多市北浜町25 Tel: 0562-32-6244 Fax: 0562-33-6145
93	東京ニッケル㈱松阪工場 技術課分析係 辻 清一郎	515-0802	松阪市猟師町345-32 Tel: 0598-51-1771 Fax: 0598-51-6423
94	日本合成ゴム㈱研究所 図書室	510-0871	四日市市川尻町100 Tel: 0593-45-8055 Fax: 0593-45-8115
95	㈱トウペ 技術企画部	519-1402	三重県阿山郡伊賀町大字柘植町2700 Tel: 05954-5-4131 Fax: 05954-5-4439
96	㈱三和化学研究所 総合研究ﾊﾟｰｸ情報管理ｸﾞﾙｰﾌﾟ	511-0406	三重県員弁郡北勢町塩崎363 Tel: 0594-72-6221 Fax: 0594-82-0071
97	協和油化㈱四日市工場 品質管理室	510-0000	四日市市大脇町2-3 Tel: 0593-31-5116 Fax: 0593-31-5954
98	セントラル硝子㈱テクニカルセンター 生産技術松阪分室	515-0001	松阪市大口町1521-1 Tel: 0598-53-3143 Fax: 0598-51-3064

99	東邦石油㈱尾鷲工場 業務管理課	519-3600	尾鷲市矢浜 Tel: 05972-2-5607	Fax: 05972-2-7563
100	石原産業㈱ 開発研究本部技術管理部	510-0842	四日市市石原町1 Tel: 0593-45-6132	Fax: 0593-45-6161
101	昭和四日市石油㈱四日市製油所 技術部	510-0851	四日市市塩浜町1 Tel: 0593-46-2117	Fax: 0593-46-2117
102	(財)三重県環境保全事業団 分析グループ	514-2300	三重県安芸郡河芸町大字上野3258 Tel: 0592-45-7508	Fax: 0592-45-7516
103	コスモ石油㈱四日市製油所 品質管理課	510-0000	四日市市大脇町1-1 Tel: 0593-53-4151	Fax: 0593-51-6307
104	理研ビニル工業㈱三重工場 分析センター	519-0132	亀山市菅内町522 Tel: 05958-2-4211	Fax: 05958-2-9212
105	旭電化工業㈱三重工場	511-0251	三重県東員町山田 Tel: 0594-76-2330	
106	三菱瓦斯化学㈱四日市工場 総務課図書室	510-0000	四日市市日永東2-4-16 Tel: 0593-45-1421	Fax: 0593-47-0799
107	大日本製薬㈱鈴鹿工場 品質管理課	513-0818	鈴鹿市安塚町1450 Tel: 0593-82-8959	Fax: 0593-82-4505
108	㈱アクトリサーチ 事務部	510-0875	四日市市大治田3-3-17 Tel: 0593-46-7511	Fax: 0593-46-8934
109	和光純薬工業㈱三重工場	510-1222	三重県菰野町大強原2613-2 Tel: 0593-93-4881	
110	三菱化学㈱四日市総合研究所 図書室	510-0848	四日市市東邦町1 Tel: 0593-45-7116	Fax: 0593-45-7197
111	住友電装㈱鈴鹿研究所 評価実験部材料分析Gr	513-0803	鈴鹿市三日市町字中の池1820 Tel: 0593-82-8709	Fax: 0593-82-8749
112	(財)北陸公衆衛生研究所	910-0026	福井市光陽4-11-22 Tel: 0776-22-0699	Fax: 0766-22-2606

6．ラボラトリーガイド

本欄は、会員の研究開発，技術開発，工程管理や環境管理等を支援する目的で、分析機器メーカー，試薬メーカー，依頼分析受託会社等にお願いして、業務内容，取扱品目や項目，担当者に関する情報をまとめたものです。将来は中部支部ホームページにも掲載予定です。御協力いただいた企業に感謝致します。

株式会社 アクトリサーチ

（業務内容）依頼分析業務

環境分析（大気，水質，作業環境，ダイオキシン，環境ホルモン），環境コンサルティング（調査アセスメント，環境改善），応用分析（各種材料および化学品の分析・評価），開発研究の受託

〈本社〉〒510-0875 三重県四日市市大治田 3-3-17　　（担当者：中北　三雄）

Tel : 0593-46-7511,　Fax : 0593-46-8934,　E-mail : ACR0014@cc.m-kagaku.co.jp

〈中部地区担当〉〒510-0871 四日市市川尻町 1000

●営業担当者：佐藤　泰彦

Tel : 0593-45-7622,　Fax : 0593-45-7624,　E-mail : ACR0026@cc.m-kagaku.co.jp

●技術相談担当者：荒山　紀郎

Tel : 0593-45-7622,　Fax : 0593-45-7624,　E-mail : ACR0020@cc.m-kagaku.co.jp

アステック 株式会社

（業務内容）分析機器メーカー

元素分析計，水分計，油分計，ナトリウム計，エバポレイト光散乱 HPLC 検出器，化学発光 HPLC 検出器，熱分解装置，パルス核磁気共鳴装置，酸化安定度試験器，酸分解装置，抽出装置，レーザー光散乱検出器，高速スキャン分光光度計

〈本社〉〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-39-7 高田馬場 21 ビル（担当者：飯田　邦年）

Tel : 03-3366-0811,　Fax : 03-3365-5577,　E-mail : astech@po.sphere.ne.jp

〈中部地区担当〉　　同　上

●営業担当者：飯田　邦年

Tel : 03-3366-0811,　Fax : 03-3365-5577,　E-mail :

●技術相談担当者：石井　康雄

Tel : 03-3366-0811,　Fax : 03-3365-5577,　E-mail :

エフ・アイ・エー機器（株）

（業務内容）分析機器メーカー

フローインジェクション分析装置および周辺機器，ポータブルアナライザー，窒素酸化物測定装置

〈本社〉〒114-0003 東京都北区豊島 6-15-9　（担当者：樋口　慶郎）

Tel : 03-5902-7155,　Fax : 03-5902-7155,　E-mail :

〈中部地区担当〉　同　上

●営業担当者：樋口　慶郎

Tel : 03-5902-7155,　Fax : 03-5902-7155,　E-mail :

●技術相談担当者：樋口　慶郎

Tel : 03-5902-7155,　Fax : 03-5902-7155,　E-mail :

（財）化学品検査協会

（業務内容）分析機器メーカー

GC 用大口径オープンチューブカラム「G-カラム」，HPLC 用「L カラム」，HPLC 用蛋白質除去前処理カラム「L-1180」

〈本社〉〒131-0032 東京都墨田区東向島 4-1-1 化学品検査協会・業務部

（担当者：赤星　竹男）

Tel : 03-3614-1101,　Fax : 03-3614-1109,　E-mail : akahoshi@citi.or.jp

〈中部地区担当〉　同　上

●営業担当者：

Tel :　　,　Fax :　　,　E-mail :

●技術相談担当者：

Tel :　　,　Fax :　　,　E-mail :

関東化学 株式会社

（業務内容）試薬メーカー

現在私達に与えられた最重要課題の環境問題に対し、弊社ではダイオキシン類分析用試薬の販売を開始するなど環境・医薬分野における分析用試薬の供給で積極的な社会貢献を目指しております。総合試薬メーカーとして極微量分析用試薬バイオ研究用試薬・免疫研究用試薬・精密分析用試薬・クロマト用試薬，生化学用試薬・特殊分析用試薬等の試薬に加え各種測定機器・装置も提供しています。

〈本社〉〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 3-11-5（ﾏﾙｻﾝﾋﾞﾙ）　（担当者：平井　徳弘）

Tel : 03-3663-7631,　Fax : 03-3667-8277,　E-mail : hirai@gms.kanto.co.jp

〈中部地区担当〉〒491-0922 愛知県一宮市大和町妙興寺中之町 4 番

●営業担当者：梅田　茂幸

Tel : 0586-24-1725,　Fax : 0586-24-3038,　E-mail :

●技術相談担当者：保坂　計一郎

Tel : 0586-24-1725,　Fax : 0586-24-3038,　E-mail :

鋼管計測（株）（NKK グループ企業）

（業務内容）依頼分析業務

材料の元素分析，状態分析，表面解析，微少部解析，物性試験，腐食試験，材料評価試験，構造試験，数値解析，物理計測，環境分析，ダイオキシン・環境ホルモン分析，環境アセスメント

〈本社〉〒210-0855 川崎市川崎区南渡町 1-1　（担当者：石橋　耀一）

Tel : 044-355-7448,　Fax : 044-355-7499,　E-mail : yisibasi@kks.keihin.nkk.co.jp

〈中部地区担当〉　同　上

●営業担当者：

Tel :　　,　Fax :　　,　E-mail :

●技術相談担当者：

Tel :　　,　Fax :　　,　E-mail :

（株）コベルコ科研

（業務内容）依頼分析業務

成分分析，状態分析，組織評価，物理解析，物性，腐食・防食，材料強度，疲労強度，構造解析，強度評価，環境測定・評価（水質・底質大気・悪臭・作業環境・騒音・振動），化学プロセス，コンピューターシミュレーション

〈本社〉〒651-0086 神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-1 IHD ビル 6F　（担当者：野々村　英造）

Tel : 078-272-5915,　Fax : 078-265-3622,　E-mail : nonomurae@kobelcokaken.co.jp

〈中部地区担当〉〒450-0002 名古屋市中村区名駅 4-7

●営業担当者：落水　浩光

Tel : 052-581-8770,　Fax : 052-562-1372,　E-mail : ochimizuh@kobelcokaken.co.jp

●技術相談担当者：田代　豊

Tel : 052-581-8770,　Fax : 052-562-1372,　E-mail : tashirog@kobelcokaken.co.jp

サヌキ工業 株式会社

（業務内容）分析機器メーカー

全リン・全窒素・アンモニア・硝酸・亜硝酸等のフローインジェクション分析用装置，HPLC 用ポンプ，恒温槽，バルブ，データ処理用ソフト，オートサンプラー，その他パーツ類

〈本社〉〒205-0011 東京都羽村市五ノ神 4-15-11 シティープラザはむら 3F

（担当者：内山　静子）

Tel : 042-555-1310,　Fax : 042-554-9185,　E-mail : JDX00604@nifty.ne.jp

〈中部地区担当〉　同　上

●営業担当者：

Tel :　　,　Fax :　　,　E-mail :

●技術相談担当者：

Tel :　　,　Fax :　　,　E-mail :

サーモクエスト 株式会社

（業務内容）分析機器メーカー

GC, LC, GC/MS/MS, LC/MS, LC/MS/MS, ICP-MS, ISOTOPE/MS, FT/MS 等の質量分析計を中心とした分析機器メーカー

〈本社〉〒151-0061 東京都渋谷区初台 2-5-8 西新宿豊国ビル　（担当者：長畑　淳）

Tel : 03-3372-3001,　Fax : 03-3372-7051,　E-mail : nagahata.jun@nifty.ne.jp

〈中部地区担当〉〒564-0063 大阪府吹田市江坂町 2-3-1 江坂グランドビル

●営業担当者：河本　恵三

Tel :06-6387-6681,　Fax : 06-6387-6641,　E-mail :

●技術相談担当者：

Tel :　　,　Fax :　　,　E-mail :

（株）サン分析センター（三井化学（株）グループ）

（業務内容）依頼分析業務

高分子材料，ケミカルズ，表示・記録材料，半導体関連材料，電池関連材料，触媒，セラミックス等に関わる高分子・有機・無機分析，局所・表面分析，結晶構造解析，形態観察，物性評価及び安全性評価支援

〈本社〉〒299-0265 千葉県袖ヶ浦市長浦 580 番 32　（担当者：山崎　徹（研究担当））

Tel : 0438-62-3620,　Fax : 0438-63-6673,　E-mail : Tohru.Yamazaki@sanax.co.jp

〈中部地区担当〉〒550-0004 大阪市西区靱本町 1-11-7 信濃橋三井ビルディング

●営業担当者：降簱　俊和

Tel : 06-6443-1494,　Fax : 0120-77-3794,　E-mail : Toshikazu.Furihata@sanax.co.jp

●技術相談担当者：

Tel :　　,　Fax :　　,　E-mail :

ジーエルサイエンス 株式会社

（業務内容）分析機器メーカー

ガスクロマトグラフ・高速液体クロマトグラフの装置，周辺装置，部品類，GC キャピラリーカラム，GC 充填剤，HPLC 充填剤，HPLC 分析・分取カラム固相抽出製品，環境分析機器，システム装置，毒劇物保管管理システム等

〈本社〉〒163-1130 東京都新宿西新宿 6-22-1　（担当者：池田　威）

Tel : 03-5323-6611,　Fax : 03-5323-6622,　E-mail : info@gls.co.jp

〈中部地区担当〉〒461-0002 名古屋市東区代官町 40-18

●営業担当者：　岩月　邦弘

Tel : 052-931-1761,　Fax : 052-931-1814,　E-mail :

●技術相談担当者：長沢　一行

Tel : 052-931-1761,　Fax : 052-931-1814,　E-mail :

株式会社 島津製作所

（業務内容）分析機器メーカー

各種分光光度計，各種クロマトグラフ，質量分析計，発光分析装置，X 線分析装置，表面構造解析装置，環境測定装置，熱分析装置，各種天秤，粉粒体測定機器，ライフサイエンス研究機器等

〈本社〉〒604-8511 京都市中京区西ノ京桑原町 1（担当者：谷村　彰（分析機器事業部））

Tel : 075-823-1195,　Fax :　　,　E-mail : http://www.shimadzu.co.jp

〈中部地区担当〉〒　450-0002 名古屋市中村区名駅 3-28-12 大名古屋ビル 5 階

●営業担当者：

前橋　清（官庁大学担当）　Tel : 052-565-7521,　Fax : 052-565-7540,　E-mail :

大藤　晋（民間担当）　Tel : 052-565-7531,　Fax : 052-565-7540,　E-mail :

●技術相談担当者：

Tel :　　,　Fax :　　,　E-mail :

株式会社 島津テクノリサーチ

（業務内容）依頼分析業務

ダイオキシン類調査をはじめとする環境調査，医薬品関連の厚生省提出データ採取，あらゆる材料の測定・分析を受託しております。貴社の研究所の一員と考えられ、お気軽に御相談下さい。

〈本社〉〒604-8435 京都市中京区西ノ京三条坊町 2 番地 4　（担当者：廣　則行）

Tel : 075-811-3181,　Fax : 075-821-7837,　E-mail :

〈中部地区担当〉〒456-0002 名古屋市熱田区金山町 2-8-3 ミスミビル 2F

●営業担当者：山下　君輝

Tel : 052-679-1588,　Fax : 052-681-6762,　E-mail :

●技術相談担当者：

Tel :　　,　Fax :　　,　E-mail :

住べテクノリサーチ 株式会社

（業務内容）依頼分析業務・図書出版

物性試験（機械強度，電気性能，粘弾性熱分析，疲労試験ほか），

分析（元素分析，構造解析，形態観察，表面分析，発生ガス分析ほか），

情報コンサルティング（先行技術の調査・解析，レポートの出版）

〈本社〉〒245-0052 横浜市戸塚区秋葉町 495　（担当者：加藤　秋仁）

Tel : 045-813-1641,　Fax : 045-813-3739,　E-mail : akitok@sumibe.co.jp

〈中部地区担当〉　同　上

●営業担当者：加藤　秋仁

Tel : 045-813-1641,　Fax : 045-813-3739,　E-mail : akitok@sumibe.co.jp

●技術相談担当者：中川　孝夫

Tel : 045-811-1665,　Fax : 045-813-3739,　E-mail : tnakagawa@sumibe.co.jp

セイコーインスツルメンツ 株式会社

（業務内容）分析機器メーカー

熱分析，ICP 発光分光分析装置，ICP-MS，原子吸光分光光度計，蛍光 X 線分析計，蛍光 X 線膜厚計，走査型プローブ顕微鏡

〈本社〉〒261-8057 千葉県千葉市美浜区中瀬 1-8　（担当者：川崎　賢司）

Tel : 043-211-1338,　Fax : 043-211-8067,　E-mail : kenji.kawasaki@sii.co.jp

〈中部地区担当〉〒464-0075 名古屋市千種区内山 3-10-17 今池セントラルビル

●営業担当者：田中　勝幸

Tel : 052-731-2575,　Fax : 052-732-0057,　E-mail : katsuyuki.tanaka@sii.co.jp

●技術相談担当者：大橋　和夫

Tel : 043-211-1342,　Fax : 043-211-8012,　E-mail : kazuo.oohashi@sii.co.jp

西進商事 株式会社

（業務内容）試薬メーカー

世界の分析用標準試料の輸入販売（SPEX 社 ICP 用標準溶液，NIST 他），試料粉砕器（SPEX 社製ミキサーミル，フリーザーミル），サンプル水採水器ノルウェル（ノートン社製）

〈本社〉〒650-0021 神戸市中央区三宮町 1-2-1 三神ビル　（担当者：福中　博行）

Tel : 078-391-5391,　Fax : 078-331-5735,　E-mail :

〈中部地区担当〉〒450-0002 名古屋市中村区名駅 4-27-20 名古屋三井ビル南館

●営業担当者：横地　幸雄

Tel :052-586-4741,　Fax : 052-586-4796,　E-mail :

●技術相談担当者：

Tel :　　,　Fax :　　,　E-mail :

（株）十合

（業務内容）ガス供給メーカー

各種ガス供給システム設計施工，半導体製造ガス供給システム設計施工（PH_3, SiH_4 等），各種高圧ガス販売

〈本社〉〒464-0075 名古屋市千種区内山 1-24-9 尾崎実業ビル 3F　（担当者：稲垣　隹樹）

Tel : 052-741-0288,　Fax : 052-731-6617,　E-mail : inagaki@aqua.ocn.ne.jp

〈中部地区担当〉　同　上

●営業担当者：

Tel :　　,　Fax :　　,　E-mail :

●技術相談担当者：

Tel : 052-741-0288,　Fax : 052-731-6617,　E-mail : miya25@aqua.ocn.ne.jp

多摩化学工業（株）

（業務内容）試薬メーカー

微量元素分析用超高純度試薬 TAMAPURE-AA シリーズ， AA-10 は各金属不純物を 10 ppt 以下，AA-100 は 10 ppt 以下を保証。品目は硝酸，塩酸，ふっ化水素酸，過酸化水素水，硫酸，過塩素酸，アンモニア水，超純水，酢酸，臭化水素水，TMAH

〈本社〉〒210-0007 川崎市川崎区駅前本町 12-1　（担当者：石引　八千代）

Tel : 044-200-1701,　Fax : 044-200-1707,　E-mail : tamapore@tama-chem.co.jp

〈中部地区担当〉　同　上

●営業担当者：石引 八千代

Tel : 044-200-1701,　Fax : 044-200-1707,　E-mail :

●技術相談担当者：赤羽 勤子

Tel : 044-266-2093,　Fax : 044-276-3442,　E-mail : akabane@hp.tama-chem.co.jp

（財）東海技術センター

（業務内容）依頼分析業務

水質・土壌・廃棄物・農薬・大気質・悪臭物質・騒音・振動・煙道排ガス・作業環境・環境ホルモン・ダイオキシン類の測定分析，品質管理試験，コンクリート材料試験，未知物質の推定・同定試験，環境アセスメント等の業務

〈本社〉〒465-0021 名古屋市名東区猪子石 2-710　（担当者：柘植　茂）

Tel : 052-771-5161,　Fax : 052-771-5164,　E-mail : ttcol@cc.mbn.or.jp

〈中部地区担当〉　同　上

●営業担当者：鈴木　鎌三，柘植　茂

Tel : 052-771-5161,　Fax : 052-771-5164,　E-mail :

●技術相談担当者：　阪野　二郎，武吉　研治

Tel : 052-771-5161,　Fax : 052-771-5164,　E-mail :

株式会社 東海テクノ

（業務内容）依頼分析業務

水質分析，土壌汚染調査，大気・悪臭測定，有害大気汚染物質測定，ICP-MS による定性・定量，作業環境測定，公害対策設備の状況把握及び改善，ISO-14001 のコンサルティング，環境アセスメント

〈本社〉〒510-0023 三重県四日市市午起 2 丁目 4-18　（担当者：田中　正廣）

Tel : 0593-32-5122,　Fax : 0593-31-2289,　E-mail :

〈中部地区担当〉〒510-0023 三重県四日市市午起 1 丁目 2-15

●営業担当者：田中　正廣（環境事業部）

Tel : 0593-33-0032,　Fax : 0593-33-8055,　E-mail :

●技術相談担当者：北出　和久

Tel : 0593-33-0032,　Fax : 0593-33-8055,　E-mail :

株式会社 東海テクノリサーチ

（業務内容）依頼分析業務

各種原因解析調査・物理解析・材料試験・分析，大気・水質・土壌・産廃・ダイオキシン類分析，臭気・騒音・振動・作業環境測定，環境影響評価，技術コンサルティング，各種プロセスにおける熱試験・診断等

〈本社〉〒476-8686 愛知県東海市東海町 5 丁目 3 番地　　（担当者：白田　典夫）

Tel : 052-603-7268,　Fax : 052-603-7272,　E-mail : XLY0216@nifty.ne.jp

〈中部地区担当〉〒476-0015 愛知県東海市東海町 4 丁目 70-1

●営業担当者：白田　典夫

Tel : 052-603-7611,　Fax : 052-603-7610,　E-mail : XLY02616@nifty.ne.jp

●技術相談担当者：妹尾　健吾

Tel : 052-603-7636,　Fax : 052-603-7272,　E-mail : senoo@nagoya.nsc.co.jp

（株）東京インスツルメンツ

（業務内容）分析機器メーカー／商社

レーザーラマン分析装置，赤外ガス分析計，近赤外水分・ガス分析計，固体レーザー（Nd : YAG，半導体励起 Nd : YAG，チタンサファイア，OPO 等），分光器（12 cm～3.0 m），検出器（冷却 CCD，冷却 IRFPA システム等），レーザーおよび光計測システム，研究用計測器（ロックインアンプ，電気化学等）

〈本社〉〒134-0088 東京都江戸川区西葛西 6-18-14　　分析計測課（担当者：三浦　一郎）

Tel : 03-3686-4711,　Fax : 03-3686-0831,　E-mail : sales@tokyoinst.co.jp

〈中部地区担当〉　　同　上

●営業担当者：三浦　一郎，森田　一二夫（レーザー計測課）

Tel : 03-3686-4711,　Fax : 03-3686-0831,　E-mail : sales@tokyoinst.co.jp

●技術相談担当者：

Tel :　　,　Fax :　　,　E-mail :

東京化成工業　（株）

（業務内容）試薬メーカー

分析用有機試薬，高品質分析試薬 TCI-Ace シリーズ，標準試料，有機合成試薬，有機合成用中間体，機能性研究用試薬，生化学用試薬

〈本社〉〒103-0023 東京都中央区日本橋本町 3-1-13　　（担当者：磯部　由紀子）

Tel : 03-3241-0861,　Fax : 03-3270-8466,　E-mail : isobe@tokyokasei.co.jp

〈中部地区担当〉　　同　上

●営業担当者：

Tel : 03-3241-0573,　Fax : 03-3246-2094,　E-mail : sales@tokyokasei.co.jp

●技術相談担当者：

Tel :　　,　Fax :　　,　E-mail :

株式会社 東レリサーチセンター

（業務内容）依頼分析業務

受託業務：分析，物性測定，表面改質，合成，調査

分析対象の代表例：半導体，半導体の実装部材，ディスプレイ，記録ディスク・テープ，記録ヘッド，プリンタ等電子デバイス類はじめ高度先端工業材料等

表面改質受託：イオン注入

〈本社〉〒103-0022 東京都中央区日本橋室町 3-1-8 都ビル 5 階 （担当者：添田 房美）

Tel : 03-3245-5665, Fax : 03-3245-5804, E-mail : Fusami_Soeda@trc.toray.co.jp

〈中部地区担当〉〒455-8502 名古屋市港区大江町 9-1

●営業担当者：大橋 昌康

Tel : 052-613-5316, Fax : 052-612-8609, E-mail : Masayasu_Ohashi@trc.toray.co.jp

●技術相談担当者：

Tel : , Fax : , E-mail :

株式会社 日鐵テクノリサーチ

（業務内容）依頼分析業務

分析・評価・調査及びコンサルティング，研究開発的業務の受託，非破壊検査・測定、環境アセスメント・測定と対策，資源・エネルギーの特性調査・評価，コンピュータ・シミュレーション（設計・実験）レーザー応用技術，など。

〈本社〉〒211-0035 川崎市中原区井田 3-35-1 （担当者：佐藤 公隆）

Tel : 044-751-1400, Fax : 044-777-7338, E-mail :

〈中部地区担当〉 同 上

●営業担当者：宮本 勝良，榊原 健

Tel : 044-751-1400, Fax : 044-777-7338, E-mail :

●技術相談担当者：

Tel : , Fax : , E-mail :

株式会社 日東技術情報センター

（業務内容）依頼分析業務

微細形状，構造解析 (SEM, TEM, AFM, XRD)，表面の局所分析 (ESCA, SIMS)，組成分析 (NMR, FI-IR, GC/MS)，発生ガス分析 (GC/MS, GC/FI-IR/MS)等，主に有機・高分子の材料分析

〈本社〉〒567-8680 大阪府茨木市下穂積 1-1-2 （担当者：藤田 和秀）

Tel : 0726-23-3381, Fax : 0726-26-7059, E-mail : kazuhide_fujita@gg.nitto.co.jp

〈中部地区担当〉〒441-3194 愛知県豊橋市中原町字平山 18

●営業担当者：花田 衛幸

Tel : 0532-41-7249, Fax : 0532-41-8459, E-mail : moriyuki_hanada@gg.nitto.co.jp

●技術相談担当者： 川島 哲哉

Tel : 05958-4-2859, Fax : 05958-4-2871, E-mail : tetsuya_kawashima@gg.nitto.co.jp

日本インスツルメンツ 株式会社

（業務内容）分析機器メーカー

汎用全自動水銀分析装置，ダブルアマルガム気中水銀測定装置，高感度還元気化水銀測定装置，油分濃度計他各種

〈本社〉〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-14-4 SK ビル千駄ヶ谷　（担当者：田口　正）
Tel : 03-3479-6014,　Fax : 03-3479-6166,　E-mail : t-nic@rigaku.co.jp
〈中部地区担当〉〒569-1146 大阪府高槻市赤大路町 14-8
●営業担当者：片山　博志
Tel : 0726-94-5195,　Fax : 0726-94-0663 ,　E-mail : kata-nic@rigaku.co.jp
●技術相談担当者：谷田　幸次
Tel : 0726-94-5195,　Fax : 0726-94-0663 ,　E-mail : tani-nic@rigaku.co.jp

日本ジャーレル・アッシュ 株式会社

（業務内容）分析機器メーカー

原子吸光分光分析装置，固体発光分光分析装置，高周波プラズマ発光分光分析装置，ICP 質量分析装置，グロー放電質量分析装置

〈本社〉〒611-0041 京都府宇治市槇島町目川 63-2　（担当者：八島　祥守）
Tel : 0774-20-1245,　Fax : 0774-20-0790,　E-mail : kyoto@nja.co.jp
〈中部地区担当〉　同　上
●営業担当者：八島　祥守，桑原　繁男，石堂　雅一
Tel : 0774-20-1245,　Fax : 0774-20-0790,　E-mail : kyoto@nja.co.jp
●技術相談担当者：八島　祥守，西川　克
Tel : 0774-20-1245,　Fax : 0774-20-0790,　E-mail : kyoto@nja.co.jp

日本分光 株式会社

（業務内容）分析機器メーカー

赤外分光光度計，レーザーラマン分光光度計，分光光度計，旋光計，円二色性分散計，高速液体クロマトグラフ，超臨界流体関連装置，光応用機器，バイオ関連分析装置

〈本社〉〒192-8537 東京都八王子市石川町 2967-5　（担当者：中村　敏樹）
Tel : 0426-46-4116,　Fax : 0426-46-4515,　E-mail : t.n@jasco.co.jp
〈中部地区担当〉〒453-0015 名古屋市中村区椿町 21-2（第 2 太閤ビル）
●営業担当者：横田 昌夫
Tel : 052-452-2671,　Fax : 052-452-2685,　E-mail :
●技術相談担当者：植松 正秋
Tel : 052-452-2671,　Fax : 052-452-2685,　E-mail :

日本分析工業 株式会社

（業務内容）分析機器メーカー

リサイクル分取液体クロマトグラフ，キューリーポイント熱分解装置，キューリーポイント P&T 装置，ハードディスク用アウトガス補集装置，ウエハ用アウトガス補集装置，クリーンルーム用アウトガス補集装置，冷凍粉砕機

〈本社〉〒190-1213 東京都西多摩郡瑞穂町武蔵 208　（担当者：太田　孝美）

Tel : 042-557-2331,　Fax : 042-557-1892,　E-mail : ota@jai.co.jp

〈中部地区担当〉〒532-0002 大阪市淀川区東三国 5-13-8-303 号

●営業担当者：磯和　仁也

Tel : 06-6393-8511,　Fax : 06-6393-8525,　E-mail : isowa@jai.co.jp

●技術相談担当者：六車　進

Tel : 06-6393-8511,　Fax : 06-6393-8525,　E-mail : muguruma@jai.co.jp

野村化学 株式会社

（業務内容）分析機器メーカー

HPLC 用充填剤，充填カラム Develosil

〈本社〉〒489-0904 愛知県瀬戸市すみれ台 1-6　（担当者：長江　徳和）

Tel : 0561-48-1853　Fax : 0561-48-1434,　E-mail :

〈中部地区担当〉〒489-0003 愛知県瀬戸市穴田町 851

●営業担当者：長江　徳和

Tel : 0561-48-1853,　Fax : 0561-48-1434,　E-mail :

●技術相談担当者：長江　徳和

Tel : 0561-48-1853,　Fax : 0561-48-1434,　E-mail :

浜松ホトニクス（株）

（業務内容）分析機器メーカー

各種光検出器（光電子増倍管，光半導体素子，電子増倍管，マイクロチャンネルプレート等），光源（キセノンランプ，水銀キセノンランプ，重水素ランプ，ホロカソードランプ，赤外発光素子，半導体レーザ等）

〈電子管事業本部〉〒438-0193 静岡県磐田郡豊岡村下神増 314-5　（担当者：中村　俊一）

Tel : 0539-62-5245,　Fax : 0539-62-2205,　E-mail :

〈中部地区担当〉　同　上

●営業担当者：古田　雅之，小柴　達也

Tel : 0539-62-5245,　Fax : 0539-62-2205,　E-mail :

●技術相談担当者：

Tel :　　,　Fax :　　,　E-mail :

バリアンジャパン 株式会社

（業務内容）分析機器メーカー

原子吸光分光光度計，ICP 発光分析装置，ICP 質量分析装置，分光光度計，GC/MS，GC，NMR，真空ポンプ

〈本社〉〒108-0023 東京都港区芝浦 4-16-36 住友芝浦ビル　（担当者：内田　正美）

Tel : 03-5232-1211,　Fax : 03-5232-1264,　E-mail : masami.uchida@jp.varian.com）

〈中部地区担当〉　同　上

●営業担当者：有松　仁，中島　邦治

Tel : 03-5232-1239,　Fax : 03-5232-1264,　E-mail : kuniharu.nakajima@jp.varian.com（中島）

hitoshi.arimatsu@jp.varian.com（有松）

●技術相談担当者：貫井　守，清水　誠一

Tel : 03-5232-1239,　Fax : 03-5232-1264,　E-mail : mamoru.nukui@jp.varian.com（貫井）

seiichi-shimizu@jp.varian.com（清水）

ビー・エー・エス（株）

（業務内容）分析機器メーカー

1．エレクトロケミカルアナライザー，2．電気化学測定装置および関連製品電極，

3．マイクロダイアリシス製品，4．高速液体クロマトグラフィー装置，カラム等，

5．分析化学用ソフトウエアー

〈本社〉〒131-0045 東京都墨田区押上 1-36-6　（担当者：黒崎　幸子）

Tel : 03-3624-0367,　Fax : 03-3624-0940,　E-mail : sales@basj.com

〈中部地区担当〉〒532-0011 大阪市定川区西中島 5-7-14

●営業担当者：浅野　昌雄

Tel : 06-6308-1867,　Fax : 06-6308-6890,　E-mail : osaka1@basj.com

●技術相談担当者：浅野　昌雄

Tel : 06-6308-1867,　Fax : 06-6308-6890,　E-mail : osaka1@basj.com

（株）日立製作所 計測器事業部

（業務内容）分析機器メーカー

電子顕微鏡，紫外可視分光光度計，分光蛍光光度計，原子吸光光度計，ICP発光分析装置，プラズマ-質量分析装置，液体クロマトグラフ，イオンクロマトグラフ，アミノ酸分析装置，ガスクロマトグラフ，各種データー処理装置，GC質量分析装置，LC3DQ質量分析装置

〈本社〉〒100-8220 東京都千代田区丸の内1-5-1（新丸ビル）（担当：環境システム本部）

Tel : 03-3212-1111,　Fax : 03-3214-3124 ,　E-mail : Adam_Hid@cm.head.hitachi.co.jp

〈那珂事業所〉〒312-8504 ひたちなか市市毛882　（担当：環境システム本部 技術部）

Tel : 029-273-2111,　Fax : 029-276-9885,　E-mail :

〈中部地区担当〉〒450-0002 名古屋市中村区名駅4-6-18（名古屋ビル）

●営業担当者：日製産業（株）中部支店 科学システム部 浅野部長，黒田課長

Tel : 052-583-5842,　Fax : 052-583-5800,　E-mail :

フロンティア・ラボ 株式会社

（業務内容）分析機器メーカー

ポリマー分析用のダブルショット・パイロライザー，タンデム型パイロライザー及びこれらの周辺装置，GC 用金属キャピラリーカラム"Ultra ALLOY"他

〈本社〉〒963-0201 郡山市大槻町大坪 61-2　（担当者：渡辺　忠一）

Tel : 024-961-3400,　Fax : 024-961-3401,　E-mail : frontier.chuichi@nifty.ne.jp

〈中部地区担当〉　同　上

●営業担当者：

Tel :　　,　Fax :　　,　E-mail :

●技術相談担当者：

Tel :　　,　Fax :　　,　E-mail :

株式会社 堀場製作所

（業務内容）分析機器メーカー

1. pH メータ，導電率計等汎用分析機器
2. X 線分析装置，蛍光 X 線元素分析装置，FT-IR 等素材分析機器
3. 粒度分布測定装置等粉粒体測定機器

〈本社〉〒601-8510 京都市南区吉祥院宮の東 2 番地　（担当者：中田　靖）

Tel : 075-313-8121,　Fax : 075-315-3806,　E-mail : nakata@horiba.co.jp

〈中部地区担当〉〒461-0004 名古屋市東区葵 3-15-31 住友生命千種第 2 ビル 6F

●営業担当者：多聞　講一

Tel : 052-936-5781,　Fax : 052-936-5789,　E-mail : tamon@horiba.co.jp

●技術相談担当者：多聞　講一

Tel : 052-936-5781,　Fax : 052-936-5789 ,　E-mail : tamon@horiba.co.jp

ヤナコ中部販売 株式会社

（業務内容）分析機器メーカー及び販売

ガスクロマトグラフ，元素分析装置，環境計測機器，ICP 発光分光分析装置，原子吸光分光分析装置

〈本社〉〒453-0856 名古屋市中村区並木一丁目 183 番地　（担当者：大杉　達也）

Tel : 052-411-3910,　Fax : 052-411-8241,　E-mail :

〈中部地区担当〉　同　上

●営業担当者：山田　一成

Tel : 052-411-3910,　Fax : 052-411-8241,　E-mail :

●技術相談担当者：大鋸　信雄

Tel : 052-411-3910,　Fax : 052-411-8241,　E-mail :

株式会社 ユニソク

（業務内容）分析機器メーカー

高速反応観測装置（レーザ分光測定装置，ストップトフロー分光測定装置等）表面分析装置（走査型トンネル顕微鏡，原子間力顕微鏡，レーザ飛行時間型質量分析装置，その他関連装置）

〈本社〉〒573-0131 大阪府枚方市春日野 2-4-3　（担当者：長村　俊明）

Tel : 0720-58-6456,　Fax : 0720-59-5655,　E-mail : info@unisoku.co.jp

〈中部地区担当〉　同　上

●営業担当者：

Tel :　　,　Fax :　　,　E-mail :

●技術相談担当者：

Tel :　　,　Fax :　　,　E-mail :

（株）ユニチカ環境技術センター

（業務内容）依頼分析業務

水質調査，大気・悪臭調査，土壌・底質調査，廃棄物・ごみ質調査，騒音・振動調査，ダイオキシン類測定，土壌汚染調査，環境アセスメント，作業環境測定，水処理施設に関するコンサルタント

〈本社〉〒611-8555 京都府宇治市宇治戸ノ内 5 番地　（担当者：佐々木　智明）

Tel : 0774-25-2522,　Fax : 0774-25-2355,　E-mail : ukangiuj@quartz.ocn.ne.jp

〈中部地区担当〉〒444-8511 愛知県岡崎市日名北町 4-1

●営業担当者：鈴木　信輝

Tel : 0564-21-0062,　Fax : 0564-22-1908,　E-mail : ukangic@lilac.ocn.ne.jp

●技術相談担当者：林　稔

Tel : 0564-21-0062,　Fax : 0564-22-1908,　E-mail : KYN01052@nifty.ne.jp

横河アナリティカルシステムズ（株）

（業務内容）分析機器メーカー

Hewlett-Packard 社製分析装置の販売。ガスクロマトグラフ，高速液体クロマトグラフ，質量分析装置，ICP 質量分析装置，キャピラリー電気泳動，各種前処理装置

〈本社〉〒180-8543 東京都武蔵野市中町 1-15-5 三鷹高木ビル　（担当者：西山　幸子）

Tel : 0422-56-9393,　Fax : 0422-56-9440,　E-mail : sachiko_nishiyama@ om.jpn.hp.com

〈中部地区担当〉〒460-0088 名古屋市中区栄 1-13-2 愛織第 2 ビル

●営業担当者：須藤　徹

Tel : 052-221-5080,　Fax : 052-221-5084,　E-mail : tooru_sudo@om.jpn.hp.com

●技術相談担当者：　木下　房幸

Tel : 052-221-5080, Fax : 052-221-5084,

E-mail : NOBUYUKI_KINOSHITA@hp-japan-om2.om.hp.com

資 料 編

1．歴代支部長

2．中部支部所属会員数の推移

3．学会賞等受賞者

4．中部支部創立 30 年史

5．日本分析化学会中部支部運営細則

6．日本分析化学会中部支部内規

1．歴代支部長

1958 年度（昭 33）	菅原　健
1959 年度（昭 34）	内藤　多喜夫
1960 年度（昭 35）	道野　鶴松
1961 年度（昭 36）	山崎　一雄
1962 年度（昭 37）	武内　次夫
1963 年度（昭 38）	木羽　敏泰
1964 年度（昭 39）	木下　弥兵衛
1965 年度（昭 40）	小玉　数信
1966 年度（昭 41）	森田　清
1967 年度（昭 42）	武内　次夫
1968 年度（昭 43）	小田　仲彬
1969 年度（昭 44）	田中　元治
1970 年度（昭 45）	桜場　周吉
1971 年度（昭 46）	水池　敦
1972 年度（昭 47）	石井　大道
1973 年度（昭 48）	上田　俊三
1974 年度（昭 49）	入谷　信彦
1975 年度（昭 50）	喜谷　喜徳
1976 年度（昭 51）	山寺　秀雄
1977 年度（昭 52）	神原　富尚
1978 年度（昭 53）	宮崎　元一
1979 年度（昭 54）	鈴木　正巳
1980 年度（昭 55）	柴田　正三
1981 年度（昭 56）	中川　元吉
1982 年度（昭 57）	寺田　喜久雄
1983 年度（昭 58）	飯田　忠三
1984 年度（昭 59）	村田　旭
1985 年度（昭 60）	佐々木　慎一
1986 年度（昭 61）	山本　善一
1987 年度（昭 62）	伊豆津　公佑
1988 年度（昭 63）	後藤　克己
1989 年度（平　1）	河口　広司
1990 年度（平　2）	根津　弘幸
1991 年度（平　3）	和田　弘子
1992 年度（平　4）	柘植　新
1993 年度（平　5）	野村　昇
1994 年度（平　6）	石塚　紀夫
1995 年度（平　7）	森　定雄
1996 年度（平　8）	野村　俊明
1997 年度（平　9）	三輪　智夫
1998 年度（平 10）	原口　紘忯

2．中部支部所属会員数の推移

年度	会員区分						
	名誉	永年	正	学生	維持	特別	公益
1958			514		14		
1959			533		14		
1960			550		16		
1961			549		18		
1962			588		19		
1963			588		19		
1964			570		21		
1965			562		23		
1966			532		22		
1967			563		14.5	26	17
1968			563		19.5	38	24
1969	1		574		23	49	33
1970	1		595		24	59	37
1971	1		608		24.5	72	40
1972	1		629		24.5	83	39
1973	1		639		23	86	44
1974	1		667		26	93	51
1975	1		713		25.5	94	54
1976	2		717		26.5	98	57
1977	1		741		26.5	102	64
1978	1		750		25	110	65
1979	1		753		25	110	65
1980	1		756		24	116	69
1981	1		767		23	121	70
1982	3		772		23.5	127	72
1983	3		755		23.5	129	76
1984	3	1	731	25	22	127	77
1985	3	1	735	40	20	123	75
1986	3	1	748	42	21.5	123	75
1987	4	2	759	52	21.5	122	77
1988	5	2	734	47	21.5	125	80
1989	5	2	734	51	23	124	80
1990	5	2	736	48	24	124	83
1991	6	2	760	74	26.5	123	81
1992	6	4	767	59	26.5	125	85
1993	6	7	768	108	26.5	123	87
1994	6	10	762	70	26.5	123	85
1995	6	11	761	74	25.5	116	81
1996	6	12	771	86	25.5	113	84
1997	7	18	747	108	25	112	86
1998	7	21	748	105	25	111	86
全国（1998）	**31**	**152**	**6,061**	**703**	**312**	**746**	**610**

3．学会賞等受賞者

※中部支部に関係する方々の受賞記録

［学会賞］

1963年　日本曹達㈱理化研究所長　小田　仲彬
「発光分光分析法による工業分析化学の研究」
金沢大学教授　木羽　敏泰
「強りん酸を用いる分析法の研究」

1964年　東洋大学教授（元 名古屋大学教授）　平野　四蔵
「迅速化学分析方法の研究」

1965年　名古屋大学教授　武内　次夫
「工業材料中の微量不純物の定量に関する研究」

1970年　名古屋大学教授　田中　元治
「溶液内反応の平衡論的並びに速度論的研究とその分析化学への応用」

1971年　広島大学教授（元 福井工業大学学長）　山本　勇麓
「金属ｷﾚｰﾄ陽イオンによる陰イオンの溶媒抽出を用いる分析法の研究」

1974年　宮城教育大学教授（元 豊橋技術科学大学学長）　佐々木　慎一
「有機化合物構造決定の自動化に関する研究」
名古屋大学教授　水池　敦
「極微量成分元素の分離濃縮に関する研究」

1975年　京都大学教授（現 福井県立大学教授）　千田　貢
「ポーラログラフ法の基礎とその有機分析化学への応用に関する研究」

1978年　星薬科大学教授（元 名古屋市立大学助教授）　今枝　一男
「熱分解管－キャリヤーガス法による酸素分析法の研究」
名古屋工業技術試験所課長　柴田　正三
「分析試薬としてのヘテロ環アゾ化合物の研究」

1979年　名古屋大学教授　石井　大道
「ミクロ高速液体クロマトスラフィーの研究」
名古屋工業大学教授　中川　元吉
「多座配位子置換反応の分析化学的研究」

1981年　名古屋市立大学教授　喜谷　喜徳
「錯体化学の薬品分析化学への応用」

1982年　東京理科大学教授（元 岐阜大学教授）　吉森　孝良
「精密電量滴定法と標準物質に関する研究」

1987年　信州大学教授　伊豆津　公佑
「非水溶媒電気化学分析法に関する研究」
1989年　金沢大学教授　寺田　喜久雄
「環境試料中の超微量元素の予備濃縮・分離に関する研究」
1990年　名古屋大学教授　河口　廣司
「高周波プラズマによる発光分光分析及び質量分析の研究」
1991年　富山大学教授　後藤　克己
「疎水性イオン会合体の分析化学への応用」
1993年　金沢大学教授　宮崎　元一
「衛生薬学におけるイオンクロマトグラフィーの新展開」
信州大学教授　野村　俊明
「検出器としての水晶発振子の分析化学的研究」
1995年　名古屋大学教授　柘植　新
「熱分解ガスクロマトグラフィーによる高分子分析」

［奨励賞］

1971年　名古屋大学助手　柘植　新
「高分子分析の熱分解ガスクロマトグラフィーなどによる研究」
1973年　東京大学助手（現 名古屋大学教授）　原口　紘忞
「核磁気共鳴法および分子吸光法による状態分析の研究」
1982年　東京大学助手（元 名古屋大学助教授）　寺前　紀夫
「複合的効果を利用した新しい分光法の開発」
名古屋大学助手　平出　正孝
「共沈浮選法による極微量元素の分離濃縮」
1983年　名古屋大学助手　北川　邦行
「原子磁気旋光分光法と干渉補正法の研究」
1985年　豊橋技術科学大学講師　平田　幸夫
「キャピラリークロマトグラフィーに関する研究」
1987年　名古屋大学助手　竹内　豊英
「ミクロ高速液体クロマトグラフィーの高性能化に関する研究」
1988年　名古屋大学助手（現 早稲田大学教授）　石原　浩二
「高圧ストップフロー装置の開発による錯体形成反応機構の研究」
1989年　岐阜薬科大学助手　加納　健司
「電極反応による有機化学種の検出機構に関する研究」

1991年　豊橋技術科学大学助手　藤本　忠蔵
「液体クロマトグラフィーにおける示性検出法の研究」
名古屋工業大学助手　坂本　英文
「新クラウン化合物によるアルカリ金属イオンの分離とセンシング」
1992年　名古屋大学助手　大谷　肇
「高性能熱分解ガスクロマトグラフィーよる高分子分析」
1997年　北海道大学助手（元 名古屋大学特別研究員）　古月　文志
「両性分子型固定相を用いる液体クロマトグラフィーの開発」

［技術功績賞］

1987年　浜松ホトニクス㈱技術グループ長　本間　厚
「高性能光検出器及び光源ランプの開発」

［論文賞］

1987年　信州大学助教授　野村　俊明
「水晶重みセンサーによる水中の硫酸イオンの付着定量法」
［分析化学, **36**, 93 (1987)］
1988年　新日本製鉄鐵㈱　千葉　光一（現 名古屋大学助教授）、小野　昭紘、佐伯　正夫、大野　剛正
「火点での発光スペクトル測定による溶鋼中マンガンの直接分析」
［分析化学, **37**, 365 (1988)］
1993年　㈱豊田中央研究所　江藤　泰雄、中井　恭子、荒賀　年美
「顕微赤外用全反射吸収プリズムの開発と局所分析への応用」
［分析化学, **42**, 127 (1993)］

4．中部支部創立30年史

1958年度 (昭33)	(支部長) 菅原　健 (副支部長) 大橋九万雄、木羽敏泰、武内次夫 (幹事) 青木　稔、浅田幸作、伊東保二、飯沼弘司、入谷信彦、上田俊三、大井信一、大野武雄、大橋　茂、金井千春、北野　康、木下弥兵衛、小玉数信、小玉洪平、小林治男、斉藤　謙、坂本重一、桜井武平、塩川孝信、芝崎陸奥夫、下方鉱蔵、曽根興三、田中元治、田辺伊佐男、田村悌一、高井康雄、徳岡松雄、鳥飼兵衛、中川元吉、松前鼎一、松本和夫、村瀬武雄、八木国夫、山本健磨 10月27日　中部支部発会式 (中区役所ホール)、参加者200名 10月27～29日　**分析化学会第7年会** (中区役所、医師会館、実行委員長　菅原　健) 研究発表：139件 特別講演：The Use of Pyrolytic and Pyrohydrolytic Cleavage in Organic Spot Test (F. Feigl) 見学会：(A) 日本陶器㈱、市内見学 (B) 東亜合成㈱、名古屋港
1959年度 (昭34)	〔北陸部会設置〕 (支部長) 内藤多喜夫 (副支部長) 大橋九万雄、木羽敏泰、武内次夫 (幹事) 青木　稔、浅田幸作、伊東保二、飯沼弘司、入谷信彦、上田俊三、大井信一、大野武男、大橋　茂、垣花秀武、金井千春、北野　康、木下弥兵衛、小玉数信、小玉洪平、小林治男、斉藤　謙、坂本重一、桜井武平、塩川孝信、芝崎陸奥夫、下方鉱蔵、曽根興三、田中元治、田辺伊佐男、田村悌一、高井康雄、徳岡松雄、鳥飼兵衛、中川元吉、松前鼎一、松本和夫、村瀬武男、八木国夫、山本健磨 6月10日　講演会 (名古屋市工業研究所) 講演：3件 6月25～27日　第1回講習会 (富山大学工学部、富山県工業試験場) 講義：光電光度法の概要 (大井信一) キレート滴定法 (上野景平) ガスクロマトグラフィー概論 (武内次夫) 実習：光電光度法、キレート滴定、ガスクロマトグラフィー 11月5日　東海地区講演会 (名古屋工業技術試験所) 講演：キレート化合物の研究 (曽根興三) 分光光度計による発光分析 (佐藤　繁) 11月26日　講演会 (名古屋工業技術試験所) 講演：2件

	1月28日　講演会（三晃社ホール） 講演：汚水処理の法規並びにその実態について（久留義夫） 最近の汚水問題（菅原　健）
1960年度 (昭35)	（支部長）道野鶴松（副支部長）小田仲彬、木下弥兵衛、武内次夫 （常任幹事）飯沼弘司、入谷信彦、大井信一、小沢昭弥、小玉数信、斉藤　謙、田中元治、中川元吉、松前鼎一 4月20日　講演会（中区役所） 講演：最近の有機試薬について（山本勇麓） 最近の電気分析法について（藤永太一郎） 最近の鉄鋼微量元素の分析について（吉野義則） 8月11日　講演会（名古屋市工業研究所） 講演：2件 8月25～27日　第2回講習会（名古屋大学工学部） 講義：ガスクロマトグラフ法概論（武内次夫） 溶出成分のスペクトル測定（高山雄二） 赤外スペクトル概論（木村雅男） 吸収曲線の解説（平田義正） 実習：ガスクロマトグラフ法、赤外スペクトル 9月17日　講演会（金沢大学理学部） 講演：分光分析装置の最近の進歩（橘　芳実） 化学及び金属工業に対する発光分光分析の応用（小田仲彬） 古文化財研究に対する発光分光分析の応用（山崎一雄） 1月18～19日　クロマトグラフ討論会（名古屋工業大学） 1月20～21日　第1回分析化学レクチャー（名古屋工業大学） 講義：ガスクロマトグラフィーの理論（益子洋一郎） ポーラログラフィー（館　勇） 放射化学分析（本島健次） 有機元素分析（今枝一男） 発光分光分析（浜口隆信） 分析化学雑感（菅原　健） 2月20日　講演会（愛知県文化会館） 講演：機器分析の現状について（武内次夫） 工業X線分析法について（久保輝一郎） 映画：機器分析

1961年度 (昭36)	〔分析化学会創立10周年〕 (支部長) 山崎一雄 (副支部長) 小田仲彬、木下弥兵衛 (常任幹事) 飯田忠三、飯沼弘司、今枝一男、入谷信彦、大井信一、太田一男、小沢昭弥、小玉数信、斉藤　謙、坂本重一、杉山良隆、田中元治、中川元吉、松平　順、松前鼎一、村田　旭 8月25～26日　第3回講習会 (名古屋市立大学薬学部) 講義：キレート化合物概説 (山崎一雄、田中元治) キレート滴定概説 (武内次夫) 薬品分析におけるキレート滴定 (木下弥兵衛) 金属分析におけるキレート滴定 (太田一男) 実習：キレート滴定 10月6～7日　浜松地方大会 (静岡大学工学部) 講演15件、特別講演3件 11月18日　10周年記念講演会 (荒川長太郎合名会社) 講演：電子スピン共鳴の分析への応用 (栗田雄喜生) 映画：ファイグルの点滴反応、自然の忘れた世界、未来の家 11月29日　10周年記念講演会 (富山県工業試験場) 講演：分配による分離 (木羽敏泰) 放射能を利用する化学分析 (浜口　博)
1962年度 (昭37)	(支部長) 武内次夫 (副支部長) 上田俊三、小山忠四郎 (常任幹事) 飯沼弘司、今枝一男、入谷信彦、太田一男、熊田恭一、小玉数信、斉藤　謙、杉山良隆、田中元治、寺田喜久雄、中川元吉、村田　旭、森田　清、山本善一 8月28～30日　第4回講習会 (名古屋工業技術試験所) 講義：炎光光度法 (蟹江照行) 原子吸光分析法 (鈴木正巳) 吸光光度法 (柴田正三) ポーラログラフ法 (砂原広志) ガスクロマトグラフ法 (武内次夫) 実習：上記5コース 10月4～6日　第6回放射化学討論会 (金沢大学) 11月6～9日　研究発表会 (名古屋市工業研究所) 研究発表、特別講演合わせて35件
1963年度 (昭38)	(支部長) 木羽敏泰 (副支部長) 太田一男、森田　清 (常任幹事) 今枝一男、入谷信彦、大沢真澄、斉藤　謙、杉山良隆、田中元治、寺田喜久雄、中川元吉、村田　旭、山本善一 8月25～28日　第5回講習会

	（名古屋工業大学、名古屋工業技術試験所、名古屋大学工学部） 講義：溶媒抽出及びキレート滴定（中川元吉、田中元治） 発光分光分析（山崎一雄、森田　清） X線分析（武内次夫） 放射化分析（浜口　博） 実習：溶媒抽出及びキレート滴定、発光分光分析、蛍光X線分析 10月8～11日　**第12年会**（金沢大学、実行委員長　石橋雅義） 研究発表：219件、特別講演：3件、参加者：478名、第1回学会賞授賞式、 見学会：高岡－富山－魚津、能登半島、金沢市内の3班 11月5～7日　第10回ポーラログラフ討論会（日本生命ビル） 2月17～19日　NMR講習会（名古屋大学工学部） 講義：4件
1964年度 **(昭39)**	（支部長）木下弥兵衛（副支部長）入谷信彦、小玉数信、阪上正信 （常任幹事）板谷芳京、今枝一男、大沢真澄、北野　康、小池　久、斉藤　謙、杉山良隆、田中元治、寺田喜久雄、中川元吉、村田　旭、山本善一、安井永三 8月27～29日　第6回講習会（名古屋市立大学薬学部） 講義：医薬品製剤の分析法（木下弥兵衛） 水分定量法概説（舟阪　渡） 実習：A. P. D. 製剤を基剤として、二、三の薬品をそれに配合した解熱鎮痛剤の分析、水分定量法 開催日不明　講演会（福井大学） 講演：元素分析の統一化とその問題点（小田仲彬） 核磁気共鳴と化学（藤原鎮男） スライド：核磁気共鳴とその応用例 11月11日　有機微量分析法中酸素直接定量法討論会（名古屋市工業研究所） 討論：7件
1965年度 **(昭40)**	（支部長）小玉数信（副支部長）入谷信彦、大井信一、田中元治 （常任幹事）足立敏夫、井口正信、石井大道、板谷芳京、今枝一男、岩永忠勝、太田一男、蟹江照行、北野　康、小山忠四郎、阪上正信、杉山良隆、鈴木　孝、高林　昇、寺田喜久雄、中川元吉、野村　昇、開　三郎、村田　旭、森田　清、安井永三、吉森孝良 5月13～15日　元素分析講習会（富山県工業試験場） 講義：微量てんびん取扱法および炭水素、窒素、酸素の定量 実習：普通型及び迅速型機器使用 5月16日　第29回元素分析シンポジウム（富山大学薬学部） 討論：13件、特別講演：1件 8月26～27日　第7回講習会（静岡薬科大学）

	講義：キレートを利用する分析法（入谷信彦） 放射化学分析法（神原富尚） 電気微量分析法（尾崎徳郎） 実習：放射化学分析法、電気微量分析法 10月17～18日　研究発表会（名古屋大学工学部） 研究発表：12件 12月８日　実用分析化学講演会（名古屋市工業研究所） 講演：Si、P、Asの比色分析法（金森　悟） アルミニウム合金の迅速分析法（向井孝一） 一般的な分析機器の取扱い注意（石井大道）
1966年度 **(昭41)**	（支部長）森田　清（副支部長）今枝一男、角尾貞之、水池　敦 （常任幹事）足立敏夫、井口正信、石井大道、板谷芳京、岩永忠勝、入谷信彦、大井信一、太田一男、蟹江照行、北野　康、黒崎正三、小山忠四郎、阪上正信、柴田正三、砂原広志、田中元治、立松　晃、寺田喜久雄、中川元吉、野村　昇、村田　旭、安井永三、山本善一、米窪達雄 ５月15～16日　第31回元素分析シンポジウム（静岡薬科大学） 講演：16件 ８月25～27日　第８回講習会（名古屋大学工学部、名古屋工業技術試験所） 特別講義：高分子分析の最近の進歩（武内次夫） 極微量成分分析の最近の進歩（水池　敦） 大気汚染分析の最近の進歩（北川徹三） 実習：ガスクロマトグラフィー、原子吸光分析、自動滴定、分析化学エレクトロニクス入門、蛍光X線分析、高感度ポーラログラフィー、自動分析（プロセス蛍光X線分析法、プロセスボルタンメトリー、プロセス吸光光度法） 11月１～４日　研究発表会（名古屋市科学館） 研究発表：36件 １月20日　自動車排気ガス分析法講演会（名古屋ホテル） 講演：３件 ２月９日　第44回X線工業分析法研究懇談会（名古屋ホテル） 講演：３件
1967年度 **(昭42)**	**〔中部支部創立10周年〕** （支部長）武内次夫（副支部長）今枝一男、上田俊三、水池　敦 （常任幹事）足立敏夫、井口正信、石井大道、入谷信彦、岩永忠勝、太田一男、北野　康、黒崎正三、小山忠四郎、柴田正三、鈴木泰三、鈴木義仁、砂原広志、田中元治、立松　晃、角尾貞之、寺田喜久雄、中川元吉、野村　昇、村田　旭、山本善一、米窪達雄

	7月3～6日　**第28回討論会**（名古屋市科学館、実行委員長　武内次夫） 討論主題〔高分子分析、公害の分析化学、高純度物質の分析化学、一般分析〕 一般討論：78件、特別討論：3件、特別講演：2件、工場見学、エキスカーション 7月5日　**中部支部創立10周年記念講演会**（名古屋市科学館） 記念講演：素人分析化学者40年の思い出（菅原　健） 中部支部10年の回顧（内藤多喜夫） 8月24～26日　第9回講習会（金沢大学理学部、工学部） 講義：元素分析（フラスコ燃焼法）（板谷芳京） デリバトグラフィー（土屋亮吉） 旋光分散（柴田村治） 電子スピン共鳴（清水立生） 炎光光度法（上田俊三） 自動電位差滴定及び電導度滴定（木羽敏泰） ガスクロマトグラフィー（小田仲彬） 原子吸光分析（武内次夫） 実習：デリバトグラフィー及び旋光分散、自動電位差滴定及び伝導度滴定、原子吸光分析及び炎光光度法、ガスクロマトグラフィー及び電子スピン共鳴、元素分析 9月28日　訪日学者講演会（名古屋大学法学部） 講演：G. Wohllebenn 10月16～17日　第4回X線工業分析討論会（名古屋大学法学部） 10月17～20日　研究発表会（名古屋大学法学部） 研究発表：35件 12月5～6日　原子吸光分析講習会（名古屋市工業研究所） 講演：原子吸光分析の原理と有機材料への応用（武内次夫） 原子吸光分析の進歩と無機材料への応用（鈴木正巳） 実習：2件 2月6日　講演会（名古屋市科学館） 講演：スパークソース質量分析器による無機成分の分析（水谷　武） 電力会社における機器分析の現状（宮川　稔） ゲルパーミエーションクロマトグラフィーについて（木村幾生）
1968年度（昭43）	（支部長）小田仲彬（副支部長）神原富尚、神戸正雄、鈴木正巳 （常任幹事）足立敏夫、飯田忠三、石井大道、板谷芳京、太田一男、喜谷喜徳、北野　康、小山忠四郎、椎尾　一、柴田正三、鈴木義仁、砂原広志、田中元治、立松　晃、角尾貞之、中川元吉、林　滋彦、三賀森　務、水池　敦、村田　旭 5月24～26日　第35回元素分析、第3回微小質量測定合同シンポジウム

	（福井大学教育学部） 研究発表：17件、特別講演：２件、パネル討論会 ８月27～29日　第10回講習会（名古屋工業大学） 講義：液－液クロマトグラフィーによる無機イオンの分離（木羽敏泰） 原子吸光分析（飯田忠三） キレート滴定（中川元吉、田中元治） 実習：キレート滴定、原子吸光分析 10月16～18日　第５回Ｘ線工業分析討論会（名古屋大学法学部） 一般討論：14件、特別講演：６件 10月17日　研究発表会（名古屋大学法学部） 一般研究発表：22件 １月25日　講演会（静岡大学工学部） 講演：大気汚染の自動分析（武内次夫） 産業廃水の水質自動分析（砂原広志） ２月１日　第49回Ｘ線工業分析法懇談会（中部科学技術センター） 講演：２件
1969年度 (昭44)	（支部長）田中元治（副支部長）石井大道、桜場周吉、米窪達雄 （常任幹事）太田一男、板谷芳京、椎尾　一、鈴木正巳、砂原広志、角尾貞之、中川元吉、林　滋彦、村田　旭 ８月25～27日　第11回講習会（名古屋大学工学部） 特別講義：ラボラトリーオートメーションの現状と将来（石田順一） 分析用有機試薬に関する最近の話題（上野景平） 実習：ガスクロマトグラフィー、原子吸光分析、高感度ポーラログラフィー及びストリッピング法、X線分析、放射線利用分析、高分子分析、トレースアナリシスにおける分離濃縮、産業廃水の機器分析 10月13～16日　第１回中部化学関連学協会支部連合秋季大会（名城大学薬学部） 一般研究発表（分析関係）：38件、特別講演：５件 10月13～14日　第６回Ｘ線工業分析討論会（名古屋大学工学部） 研究発表：21件、特別討論：４件 11月16日　第13回放射化学討論会（名古屋工業大学） 11月８日　講演会（福井大学教育学部） 講演：機器による高分子分析（武内次夫） 溶媒抽出法による金属の定量（田中元治） 12月８日　講演会（名古屋市工業研究所） ２月３日　第55回Ｘ線工業分析法研究懇談会（中部電力総合技術研究所） 講演：２件

1970年度 (昭45)	(支部長) 桜場周吉 (副支部長) 石井大道、柴田村治、水池　敦 (常任幹事) 井口正信、飯田忠三、大滝仁志、太田一男、河口広司、椎尾　一、柴田正三、立松　晃、寺田喜久雄、林　滋彦、三賀森　務、村田　旭 8月25～27日　第12回講習会 (名城大学薬学部、名古屋大学工学部) 特別講義：錯体化学の医薬品への応用 (坂口武一) 産業廃水の連続機器分析 (砂原広志) 実習：ガスクロマトグラフィー、原子吸光分析、X線分析、赤外分光分析、蛍光光度分析、発光分光分析、液体クロマトグラフィー、核磁気共鳴スペクトル、GC－MS、産業廃水分析 10月13～16日　**第19年会** (名城大学薬学部、実行委員長　桜場周吉) 研究発表：286件、参加者：1057名 見学会：浜名湖方面、鈴鹿方面 10月13～14日　第7回X線工業分析討論会 (名城大学薬学部) 研究発表：20件、特別討論：5件 10月16～18日　第2回中化連秋季大会 (名古屋大学工学部) 一般研究発表 (分析関係)：7件、特別講演：4件 10月17日　公害に関する講演会 (金沢大学教養部) 講演：わが国の大気汚染と水質汚濁 (佐谷戸安好) カドミウムの生体に対する影響について (久保田憲太郎) 2月6日　高分子分析講演会 (中部科学技術センター) 講演：核磁気共鳴による高分子分析 (藤原鎮男) クロマトグラフによる高分子分析 (武内次夫) 2月6～7日　工場見学会：東洋醸造㈱本社工場
1971年度 (昭46)	(支部長) 水池　敦 (副支部長) 石井大道、椎尾　一、三賀森　務 (常任幹事) 井口正信、飯田忠三、河口広司、神戸正雄、喜谷喜徳、柴田正三、柴田村治、寺田喜久雄、中井信之、西井義隆、藤島　巌、村田　旭 7月3日　講演会 (信州大学理学部) 講演：迅速電解法の進歩 (藤永太一郎) 産業廃水の水質自動分析法 (砂原広志) イオン交換体の分析化学的利用 (森　芳弘) 8月25～27日　第13回講習会 (名古屋工業技術試験所) 特別講義：大気汚染の機器分析 (荒木　峻) 最近の原子スペクトル分析 (武内次夫) 実習：原子吸光分析、ガスクロマトグラフ分析、産業廃水の水質機器分析、二波長分光測定分析、高周波プラズマスペクトル分析 9月11日　講演会 (富山県民会館) 講演：機器分析の最近の動向について (藤原鎮男)

	原子吸光分析について－公害分析への応用（酒井　馨） 公害分析所感（木羽敏泰） 10月16～19日　第3回中化連秋季大会（名古屋大学工学部） 一般研究発表（分析関係）：8件、特別講演：3件 11月13日　講演会（福井大学工学部） 講演：陸水水質の現状と展望（北野　康） 海洋水質の現状と展望（岡部史郎） 産業廃水処理法（市川邦久） 11月26日　産業廃水の機器分析に関する講習会（静岡県工業試験場） 1月28～29日　工場見学会：日本専売公社浜松工場、静岡県水産試験場
1972年度 (昭47)	（支部長）石井大道（副支部長）上田俊三、椎尾　一、村田　旭 （常任幹事）小友　允、鎌田栄二郎、神戸正雄、喜谷喜徳、小辻奎也、鈴木義仁、中井信之、根津弘幸、林　滋彦、藤島　巌、三賀森　務、山本善一 4月8日　訪日学者講演会（名古屋大学工学部） 4月9日　〃　（静岡大学工学部） 4月12日　〃　（金沢大学理学部） 講演：Chemical Analysis of Environmental Samples and Rapid Method for Radioactive Monitoring in the Federal Republic of Germany (B. Sansoni) 4月21日　訪日学者講演会（名古屋大学理学部） 講演：Ion Selective Electrode（H. Freiser） 5月17日　公害防止管理測定技術講習会（名古屋市工業研究所） 講義：大気汚染における測定技術（椎尾　一） 大気汚染における機器分析（鈴木義仁） 水質汚濁における機器分析（石井大道） 水質汚濁の現場的簡易分析（蟹江照行） 8月23～25日　第14回講習会（名古屋市立大学薬学部） 特別講義：環境試料の分析化学（木羽敏泰） 機器による臨床化学分析（藤井達三） 実習：ガスクロマトグラフィー（環境試料、生体試料）、原子吸光分析、吸光光度法 8月29日　電気化学基礎講習会－電気化学測定法入門（東別院青少年会館） 講義：7件 10月11～14日　第4回中化連秋季大会（中京大学） 一般研究発表（分析関係）：52件 特別討論会〔分析化学における有機試薬の利用〕 特別講演：2件、研究発表：19件 10月11日　第9回X線分析討論会（中京大学）

	特別講演：4件、研究発表：18件 10月28日　訪日学者講演会（名古屋大学理学部） 11月25日　講演会（金沢大学工学部） 講演：生体試料からの医薬品分析（田村善蔵） 大気汚染成分の分析の現状と問題点（荒木　峻） 1月16日　講演会（中部科学技術センター） 講演：高速液体クロマトグラフィーについて－装置と応用（浅井　圭） スペクトルデータのコンピューター解析による有機化合物の構造推定－現状と将来（佐々木慎一） 2月9～10日　工場見学会：三井東圧化学㈱総合研究所、㈱資生堂大船工場 2月20日　若手会員懇話会（中部科学技術センター） 若手会員講演：10件
1973年度 **(昭48)**	（支部長）上田俊三（副支部長）入谷信彦、喜谷喜徳、村田　旭 （常任幹事）小友　允、鎌田栄二郎、小辻奎也、椎尾　一、鈴木正巳、鈴木義仁、滝野吉雄、中川元吉、根津弘幸、野村　昇、林　滋彦、山寺秀雄、山本善一 8月23～25日　第15回講習会（金沢大学工学部、理学部、薬学部） 特別講義：クロマトグラフィーとスペクトロメトリーの直結分析法について（石井大道） 実習：ガスクロマトグラフィー、核磁気共鳴、分散型蛍光X線分析、非分散型蛍光X線分析・γ線解析、試料処理法、強リン酸を用いる分析法、温度滴定、高速液体クロマトグラフィー 8月28～29日　電気化学基礎講習会（東別院青少年会館） 講義：8件 10月16～17日　第5回中化連秋季大会（名古屋工業大学） 一般研究発表（分析関係）：13件 特別討論会〔けい酸塩分析〕 招待講演：けい酸塩分析の最近の話題（多田格三） けい酸塩分析における諸問題（西村耕一） パネル討論会：講演8件 研究発表：6件 11月12～13日　高速液体クロマトグラフィー講習会（名古屋市工業研究所） 講義：高速液体クロマトグラフの理論と装置（武内次夫） 高速液体クロマトグラフの有機化学への応用（平田義正） 実習：6件 2月2日　講演会（静岡大学工学部） 講演：悪臭防止技術の問題点（福地知行） 水質汚濁防止技術の問題点（梅沢岑生） 2月8～9日　工場見学会：関西電力美浜原子力発電所

	2月14日　油化学講習会（中部科学技術センター） 2月16日　第86回X線分析研究懇談会（名古屋大学工学部） 講演：3件
1974年度 **(昭49)**	（支部長）入谷信彦（副支部長）喜谷喜徳、佐竹正忠、山寺秀雄 （常任幹事）伊豆津公佑、金森　悟、河口広司、椎尾　一、柴田正三、鈴木諄亮、鈴木正巳、滝野吉雄、寺田喜久雄、中川元吉、野村　昇、野路雅英、和田弘子 5月20～21日　有機微量分析研究懇談会・質量測定研究会合同シンポジウム（栂原高原－読売山荘） 研究発表：12件、特別講演：1件 7月22～23日　機器による高分子分析講習会（名古屋市工業研究所） 講義：3件、実習：4件 8月25日　第16回講習会（静岡薬科大学） 講義：臨床化学分析と医療の接点（星　昭二） 炎光分析と原子吸光分析（鈴木正巳） 自動分析機器（入谷信彦） 臨床生化学分析（奥田　潤） 関連機器・試薬の展示 10月16～18日　第6回中化連秋季大会（名古屋大学工学部） 一般研究発表（分析関係）：13件 特別討論会〔クロマトグラフィー〕 研究発表：28件、特別講演：2件 11月9日　講演会（福井大学工学部） 講演：環境香料の考え方（吉田克巳） 水圏環境化学の考え方（藤永太一郎） 11月22～23日　見学会：茨城大学五浦美術文化研究所 呉羽化学工業㈱錦工場 宿泊：いわき市国民宿舎塩屋崎荘 12月5日　講演会（四日市農協会館） 講演：廃水の自動測定法（砂原広志） 高分子データ集積の現状と今後の問題（竹田政民） 最近の機器分析の動向（武内次夫） 2月6日　第3回原子吸光分析研究懇談会（名古屋大学工学部） 講演：2件

1975年度 (昭50)	〔ぶんせき〕創刊 (支部長) 喜谷喜徳 (副支部長) 神原富尚、寺田喜久雄、山寺秀雄 (常任幹事) 金森　悟、河口広司、後藤克己、佐竹正忠、柴田正三、清水純夫、鈴木諄亮、鈴木　孝、野路雅英、舟橋重信、宮崎元一、森　定雄、和田弘子 5月22～23日　**第36回討論会** (金沢大学工学部、実行委員長　木羽敏泰) 討論主題〔環境こん跡分析と環境化学計測〕 特別講演：Method of Standards for Trace Analysis in the Environment (P. D. LaFleur) 及び (I. L. Barnes) 研究発表：101件 5月27日　訪日学者講演会 (名古屋大学工学部) 講演：Recent Development in Organic Micro Chemistry (T. S. Ma) 8月20～22日　第17回講習会 (名古屋市立大学薬学部) 講義：生体試料について (奥谷博俊) 環境試料について (長谷川敬彦) 生体及び環境試料の機器分析について (武者宗一郎) 実習：原子吸光分析、高速液体クロマトグラフ分析、ガスクロマトグラフ分析、二波長分光光度分析 10月7日　排水分析講習会 (名古屋市工業研究所) 講義：3件、実習：1件 10月14日　訪日学者講演会 (名古屋大学理学部) 講演：Solvent Extraction and Coordination Chemistry (Y. Marcus) 10月20～23日　第7回中化連秋季大会 (名古屋大学工学部) 一般研究発表 (分析関係)：30件 特別討論会〔分析化学における鎖体化学の利用〕 招待講演：金属キレート陽イオンによる陰イオンの溶媒抽出 (山本勇麓) 硫黄配位錯形成剤の反応と応用－チオ－β－ジケトン関連化合物を中心として (田中　久) 研究発表：23件 11月7日　講演会 (富山県薬業会館) 講演：トレースアナリシスの諸問題 (水池　敦) 選択性金属吸着剤・固定剤の開発と環境保全 (小田仲彬) 1月31日　講演会 (静岡大学教養部) 講演：3件 2月6～7日　見学会：㈱養命酒駒ケ根工場、㈱タケヤ味噌上諏訪工場 懇親会と宿泊：連合会共済諏訪湖荘 2月10日　機器分析講習会－高速液体クロマトグラフィーの適用と問題点 (名古屋市工業研究所) 講義：原理及び装置 (武内次夫) 高速液体クロマトグラフィーの簡易ミクロ化 (石井大道) 分離様式の選択法 (森　定雄)

	パネル討論 3月26日　化学英語講習会（名古屋市立科学館）
1976年度 (昭51)	（支部長）山寺秀雄（副支部長）神原富尚、鈴木正巳、野村　昇 （常任幹事）井口正信、小島　功、小辻奎也、後藤克己、佐竹正忠、清水純夫、鈴木　孝、中島良三、舟橋重信、宮崎元一、三輪智夫、森　定雄 5月10日　訪日学者講演会（名古屋大学工学部） 講演：Recent Development in Atomic Absorption and Atomic Fluorescence Spectroscopy（T. S. West） 5月15日　訪日学者講演会（名古屋大学工学部） 講演：Biological and Analytical Perspective on Zinc Biochemistry（B. L. Vallee） 8月18～20日　第18回講習会（名古屋大学工学部） 特別講義：超微量成分分析における汚染とその対策（水池　敦） 環境汚染と分析化学（山県　登） 実習：原子吸光分析、高速液体クロマトグラフ分析、ガスクロマトグラフ分析、赤外吸収スペクトル分析、電気分析 10月4～6日　第20回放射線化学討論会（静岡大学教養部） 研究発表：91件、特別講演：4件 10月16～18日　第8回中化連秋季大会（名古屋大学農学部） 一般研究発表（分析関係）：14件 特別討論会〔原子吸光分析〕 研究発表：19件、パネル討論 2月1日　講演会（信州大学工学部） 講演：分離について（品川睦明） イオン会合性試薬について（桐栄恭二） 化学発光を利用する連続分析機器（岡　正太郎） 2月4日　講演会（金沢大学工学部） 講演：不足当量反応の分析化学への応用（鈴木信男） 環境放射能分析の動向（浜口　博） アクリル系化合物の生体作用（橋本和夫） 2月4～5日　工場見学会：武田薬品工業㈱湘南工場 2月9～10日　実務者のための原子吸光分析講演会（名古屋市工業研究所） 講演：8件
1977年度 (昭52)	（支部長）神原富尚（副支部長）柴田正三、鈴木正巳、宮崎元一 （常任幹事）井口正信、板谷芳京、小島　功、小辻奎也、中島良三、中須賀徳行、根津弘幸、野村　昇、林　滋彦、水野孝一、三輪智夫、山崎　豊

	4月18～19日　化学英語講習会（名古屋市科学館） 8月25～26日　第19回講習会（名古屋大学工学部、名古屋工業大学） 特別講義：水質分析－重金属元素の分析（北野　康） 機器分析における有機試薬の利用（柴田正三） 液体イオン交換剤を用いる化学分離法（中川元吉） 実習：高速液体クロマトグラフィー、原子吸光分析 9月19日　H. Freiser 教授を囲む懇談会（名古屋工業大学） 9月27日　環境分析講習会（名古屋市工業研究所） 講演：産業廃棄物溶質試験の実際（杉木仁彦） 水質簡易分析の展望（蟹江照行） 実習：水質簡易分析機器 10月16～18日　第9回中化連秋季大会（名古屋工業大学） 一般研究発表（分析関係）：14件 1月23日　講演会（四日市農協会館） 講演：化学測定における標準物質と標準データ（益子洋一郎） 環境化学分析の諸問題（荒木　俊） 1月27日　講演会（富山大学図書館） 講演：環境放射能研究と分析化学（阪上正信） 鉱山廃水による洞爺湖の汚染とその防止（後藤克己） 2月3～4日　工場見学会：中部電力浜岡原子力発電所
1978年度 **(昭53)**	**〔中部支部創立20周年〕** （支部長）宮崎元一（副支部長）小辻奎也、柴田正三、鈴木正巳 （常任幹事）石塚紀夫、板谷芳京、後藤克己、鈴木諄亮、鈴木真言、柘植　新、寺田喜久雄、中須賀徳行、根津弘幸、野村　毅、林　滋彦、水野孝一、森　定雄、山本善一 4月21日　訪日学者講演会（名古屋大学工学部） （R. G. Bates） 5月29～30日　有機微量分析懇談会、質量測定研究会合同シンポジウム （エーザイ内藤記念館くすり博物館） 研究発表：25件、特別講演：1件 6月6～7日　講演会及び展示会－東海無機分析研究会20周年記念(名古屋市工業研究所) 講演：自動車工業における EPMA 分析（伊勢　淳） 分析用有機試薬の現状（柴田正三） アルミニウム合金分析の歴史と現状（向井孝一） 最近の鉄鋼分析について（伊東応仁） 内湾の海況と分析化学上の問題点（太田立男） 最近の液体クロマトグラフィーについて（石井大道） フッ素の湿式分析法（小玉数信） 公定法分析法の動向（多田格三） 7月6～7日　研究者、技術者、学生のための英語講習会（名古屋市科学館）

	7月10日　講演会と工場見学会（第二精工舎足利工場、大昭和製紙鈴川工場） 講演：2件 8月24日　第20回講習会（名城大学薬学部） 特別講義：新しい機器分析法の展望（立松　晃） 微量分析法としてのマススペクトロメトリー（鈴木真言） イソタコフォレーシスの現状と将来（宮崎　浩） 実習：高速液体クロマトグラフィー、原子吸光分析 10月5～6日　第5回環境汚染物質とそのトキシコロジーシンポジウム(静岡県医師会館) 10月11～15日　**第27年会**（金沢大学、実行委員長　上田俊三） 研究発表：426件、参加者：1201名 11月11日　講演会（福井大学工学部） 講演：環境汚染物質の生体濃縮について（吉田多摩夫） 環境分析における標準試料（木羽敏泰） 11月25日　**中部支部創立20周年記念講演会**（王山会館） 講演：古代青銅器及びガラスの研究に対する質量分析の応用・鉛同位体比の測定（山崎一雄） LCの検出器・特にMSについて（武内次夫） 分離法20年の進歩と将来への希望（木羽敏泰） 12月8～9日　見学会：筑波研究学園都市、協和醗酵工業㈱土浦工場
1979年度 **(昭54)**	（支部長）鈴木正巳（副支部長）河口広司、柴田正三、林　滋彦 （常任幹事）石塚紀夫、伊豆津公佑、河合　聡、後藤克己、桜井定人、佐竹正忠、鈴木諄亮、鈴木真言、柘植　新、寺田喜久雄、野村　毅、長谷川敬彦、村田　旭、森　定雄 4月9日　訪日学者講演会（名古屋大学工学部） 講演：Capillary Gas- and Liquid-Chromatographies, and their Biochemical Applications（M. Novotony） 5月19～20日　化学英語講習会（名古屋市科学館） 8月22～23日　第21回講習会（名古屋大学工学部） 講義：高周波プラズマ発光分析の現状（河口広司） フレームレス原子吸光分析とその問題点（鈴木正巳） 最近の高速液体クロマトグラフィー（石井大道） LC-MS直結システムの展望（柘植　新） 高速ゲルパーミエーションクロマトグラフィー（GPC）（森　定雄） 実習：上記の5コース 9月6～7日　電気化学基礎講習会（名古屋工業大学） 講演：4件、実習：2件 10月4～6日　第10回中化連秋季大会（静岡大学工学部） 一般研究発表（分析関係）：12件 特別討論会〔液体クロマトグラフィーの高性能化〕

	研究発表：22件、パネル討論 11月９日　講演会（金沢大学理学部） 講演：法科学と放射化分析（狐塚　寛） 高速液体クロマトグラフィーのミクロ化について（石井大道） 12月７～８日　工場見学会：エーザイ㈱川島工場・内藤記念館くすり博物館 １月23日　講演会（岐阜大学工学部） 講演：化学薬品の法規制と安全な取り扱い（木本三夫） クロマトグラフィーの新しい応用－熱分解による高分子の構造解析及びLC-MS直結（柘植　新） ２月26日　分析機器へのマイコンの利用講習会（名古屋市工業研究所） 講義：４件、実習：２件
1980年度 **(昭55)**	（支部長）柴田正三（副支部長）河口広司、後藤克己、中川元吉 （常任幹事）石塚紀夫、伊豆津公佑、河合　聡、後藤正志、桜井定人、鈴木諄亮、中須賀徳行、野村　昇、長谷川敬彦、林　滋彦、山本善一、山田碩道、和田弘子 ４月12～13日　技術系社員・研究者・学生のための化学英語講習会（名古屋市科学館） ８月19～20日　第22回講習会（名古屋大学工学部） 講義：ICP発光分光分析の現状（河口広司） 高速液体クロマトグラフィー（石井大道） 最新の吸光光度法（柴田正三） 最近のポーラログラフィーとストリッピングボルタンメトリー（後藤正志） マイコンの分析化学への応用（制御とデータ処理）（河合勝司） 実習：上記５コース ９月２～３日　電気化学基礎講習会（名古屋工業大学） 講義：９件、実習：４件 ９月13日　講演会（富山大学理学部） 講演：ラマンで分子を見たとき（川井清保） 工業化のためのアイデア（児玉　寛） 私のとっておきの発想法（泉　美保） 10月16～18日　第11回中化連秋季大会（名古屋大学工学部） 一般研究発表（分析関係）：13件 特別討論会〔吸光光度法の再発見〕 招待講演：流れを用いる吸光光度法について（石井大道） 有機試薬の感度向上を目ざして（桐栄恭二） 研究発表：20件 10月31日　講演会（信州大学理学部） 講演：ミクロカラム液体クロマトグラフィーの最近の進歩（石井大道） 最近の新しい機器分析法（池田重良）

	11月25日　訪日学者講演会（名古屋大学理学部） 講演：Thermodynamics of Dioxygen Complex Formation（A. E. Martell） 11月27日　訪日学者講演会（名古屋大学豊田講堂） 講演：Strategies in the Determination of Elements in Extremely Low Concentrations（G. Tölg） 11月28日　講演会（名古屋大学豊田講堂） 講演：岩石、イン石、廃水ートレースアナリシス経験談（大西　寛） トレース量の元素定量のための予備濃縮（寺田喜久雄） 12月５～６日　工場見学会：東洋醸造㈱本社工場 １月20日　オープンセミナー（愛知県中小企業センター） 講演：５件 １月30日　講演会（富山大学理学部） 講演：高速液体クロマトグラフィーの分離条件の選び方（野村　昇） 界面活性剤溶液の相分離現象を利用する抽出法（渡辺寛人） 衛生薬学と無機微量分析（宮崎元一）
1981年度 **(昭56)**	（支部長）中川元吉（副支部長）飯田忠三、寺田喜久雄、村田　旭 （常任幹事）後藤克己、後藤正志、清水純夫、滝野吉雄、柘植　新、中嶋邦雄、林　滋彦、水野孝一、森　定雄、山田碩道、山田真吉、山本善一、和田弘子 ５月28～29日　**第42回討論会**（グリーンホテル三ケ根、実行委員長　田中元治） 討論主題〔微量分析、分析化学と溶液化学〕 主題講演：120件 一般講演：48件（内ポスター発表：42件） 製品紹介講演：15件 記念講演：Surface Problem of Ion-Selective Electrode（E. Pungor） 参加者：421人 ６月１～２日　第48回有機微量分析研究会シンポジウム（金沢大学医学部） 講演：15件、特別講演：１件 ７月４日　講演会（金沢大学教養部） 講演：２件 ７月14～17日　化学英語講習会（名古屋市科学館） 講義：３件 ８月４日　講演会（名古屋大学工学部） 講演：Atomic Fluorescence Spectrometry（J. D. Winefordner） ８月26～28日　第23回講習会（名古屋工業大学） 特別講義：微量分析の最近の動向（石井大道） 接触分析（田中元治） 実習：イオン選択性電極、原子吸光分析、高速液体クロマトグラフィー、フローインジェクション法

	受講者：41名
9月10日	講演会（名古屋工業大学）
	講演：Flow Injection—A New Tool for Instrumental Analysis（J. Ruzicka）
9月11日	訪日学者講演会（名古屋大学工学部）
	講演：ICP-AES, Selected Topics（P. W. J. M. Boumans）
10月7日	講演会（信州大学理学部）
	講演：Atomic Spectrometry of Biosignificant Trace Elements in Soils, Plant and Animal Nutrition（T. S. West）
10月8～10日	第12回中化連秋季大会（名古屋大学教養部）
	一般研究発表（分析化学、環境化学）：12件
	特別討論会〔溶媒抽出〕
	招待講演：高分子量アミンによる溶媒抽出（佐藤太一）
	カルボン酸による金属の抽出（山田碩道）
	金属錯体の抽出におよぼす諸因子（関根達也）
	研究発表：11件
	分析化学講演会：Some New Results in Developments in Field of Electroanalytical Micro and Trace Analysis（F. Umland）
11月6日	高分子分析講演会（福井大学教育学部）
	講演：3件
11月27日	油化学におけるコンピュータ（名古屋観光会館）
	講演：4件
11月28日	講演会（静岡大学教養部）
	講演：NOx、SOxの化学（広田栄治）
	遺伝現象にせまる化学（三浦謹一郎）
	分析化学における研究の開発（木羽敏泰）
12月1日	環境と化学に関するパネル討論会（愛知厚生年金会館）
	講演：5件、パネル討論
12月4～5日	見学会：水産庁養殖研究所（伊勢、志摩）
	懇親会と宿泊（賢島観光ホテル和風賢島別館）
	参加者：中部支部19名、関東支部16名
12月7日	第1回HPLC研究談話会（名古屋大学工学部）
	講演：2件
1月19日	オープンセミナー（名古屋逓信会館）
	講演：4件
1月29日	講演会（金沢大学理学部）
	講演：酸化還元不足当量法を用いる放射分析化学（神原富尚）
	配位子置換反応の二、三の応用（中川元吉）

1982年度 (昭57)	
	(支部長) 寺田喜久雄 (副支部長) 飯田忠三、伊豆津公佑、村田　旭 (常任幹事) 板谷芳京、宇井倬二、宇佐美四郎、酒井忠雄、佐竹正忠、鈴木真言、滝野吉雄、柘植　新、中嶋邦雄、野村俊明、平出正孝、水野孝一、森　定雄、山田真吉 4月20日　講演会 (愛知厚生年金会館) 講演：N. Novotony 5月18日　第7回プラズマ分光分析講演会 (愛知中小企業センター) 講演：5件 6月3～4日　第49回有機微量分析研究懇談会シンポジウム (信州大学旭会館) 研究発表：13件 7月15日　訪日学者講演会 (名古屋大学理学部) 講演：Hydrophobic Interactions in Mixed Complexes (H. Sigel) 7月17日　第3回 HPLC 研究談話会 (名城大学薬学部) 講演：16件 8月26～27日　第1回夏期セミナー (和倉逓信保養所) 主題：原子吸光分析、高速液体クロマトグラフィー 話題特別講演："一滴法" 原子吸光分析 (内田哲男) HPLC の無機微量分析への応用 (早川和一) 話題提供講演：疎水性基をもつ吸着剤を用いる微量成分の前濃縮法 (田口　茂) アンモニウム塩を用いる難溶性試料の簡易・迅速分解法 (松本　健) 原子吸光分析－四半世紀の歩みと将来の展望 (柳沢雅明) 液体クロマトグラフィーにおける電気化学的検出器 (原　稔) 環境・食品・生体試料中の硫酸イオンのHPLC (大久保登) 有機金属錯体の高速液体クロマトグラフィー Co^{III}(ttp)Cl の分離挙動を中心にして (本間春雄) 新製品紹介講演：4件 10月7～9日　第13回中化連秋季大会 (三重大学教育学部) 一般研究発表 (分析関係)：20件 特別討論会〔流れを用いる分析〕 研究発表：17件、パネル討論 11月5日　訪日学者講演会 (名古屋大学理学部) 講演：The Role of the Interface in Extraction Kinetics and Equilibria (H. Freiser) Hydrolysis and Related Complexation of Metal　Ions (S. Gobom) 11月9～11日　第16回化学工学の進歩講演会 (気泡・液滴分散工学) (愛知県産業貿易館) 講演：12件 11月19日　講演会 (福井大学教育学部)

	講演：毛髪中の重金属について（高木靖弘） 環境水及び排水の窒素とリンの化学計測（砂原広志） 12月３～４日　工場見学会：浜松テレビ㈱本社及び豊岡製作所 懇親会と宿泊（国民宿舎奥浜名湖） 12月10～11日　第１回溶媒抽出討論会（静岡大学工学部） 研究発表：26件 12月11日　第４回 HPLC 研究談話会（名城大学薬学部） 講演：17件 １月21日　講演会（信州大学工学部） 講演：環境科学と分析化学（不破敬一郎） 泡で極微量元素を分離する（水池　敦） 代替エネルギー技術と分析化学（中島史登） ２月10日　第128回 X 線分析研究懇談会（豊橋技術科学大学） 講演：２件
1983年度 **(昭58)**	（支部長）飯田忠三（副支部長）小辻奎也、柘植　新　村田　旭 （常任幹事）板谷芳京、宇井倬二、酒井忠雄、鈴木真言、田中一彦、永長幸雄、成田九州男、野村俊明、野村　昇、平出正孝、三井利幸、山田真吉、山田碩道、柳沢雅明、和田弘子 ３月15日　製品開発特別講演会（富山工業高等専門学校） 講演：１件 ４月23日　第５回 HPLC 研究談話会（名古屋大学医学部） 講演：１件、パネル討論 ６月17日　講演会（金沢大学理学部） 講演：難揮発性天然物の化学とマススペクトロメトリー－oligosaccharide を中心として（鈴木真言） 植物種と無機イオン－マクロからミクロの化学へ（小山睦夫） ７月７日　講演会（岐阜歯科大学） 講演：生理活性を有する金属錯体の分析について（喜谷喜徳） 有機試薬とフローインジェクション分析法（中川元吉） ８月22日　第６回 HPLC 研究談話会 講演：12件、実習：15件 ８月24～25日　第２回夏期セミナー（和倉逓信保養所） 主題：機器分析の実際 １）高速液体クロマトグラフィー 特別講演：HPLC 最近の進歩（森　定雄） 話題提供：HPLC 用カラムの選択性（岡本光美） HPLC と各種スペクトル法の直結化について（神野清勝） ２）特別講演：プラズマ発光法による微量分析（河口広司） 話題提供：カラム電極を用いる電気化学分析法（中田隆二）

	最近の微量電気化学分析について（後藤正志） 石炭液化物分析へのGC-MSの最近の応用（長谷川　淳） 製品紹介講演：10件 参加者：62名 10月16～18日　第14回中化連秋季大会（名古屋工業大学） 一般研究発表（分析関係）：25件 特別討論会〔原子スペクトル分析〕 招待講演：発光分光分析用プラズマ光源への試料導入法（河口広司） 原子吸光分析（原口紘炁） 水素化物発生による原子吸光分析（中原武利） 研究発表：18件 11月２日　訪日学者講演会（名古屋大学アイソトープ総合センター） 講演：アノーディックストリッピングボルタンメトリー（鄧家祺） 11月12日　講演会（富山大学） 講演：環境水の同位体地球化学（水谷義彦） 漆を膜材料とするイオン選択性電極（日色和夫） 自然に学ぶ－複合材料への展開（松本恒隆） 11月22日　講演会（名古屋大学アイソトープ総合センター） 講演：Ion Microscopy and Ion Microprobe Analysis（G. H. Morrison） 12月２～３日　工場見学会：昭和電工㈱塩尻工場、東京電力奈川渡ダム 懇親会と宿泊：文部省共済組合乗鞍高原の家（あずみ荘） 参加者：中部支部21名、関東支部13名 ２月10日　第128回X線分析研究懇談会（豊橋技術科学大学） 講演：２件
1984年度 (昭59)	（支部長）村田　旭（副支部長）佐々木慎一、野村　昇、森　定雄 （常任幹事）宇井倬二、河口広司、後藤克己、佐竹正忠、神野清勝、田中一彦、中須賀徳行、成田九州男、根津弘幸、野路雅英、三井利幸、柳沢雅明、山田碩道、山本善一、和田弘子 ４月23日　第８回HPLC研究談話会（愛知厚生年金会館） 特別講演：１件 ８月21～22日　第９回HPLC研究談話会（名城大学薬学部） 研究発表：23件、実習 ８月27～28日　第３回夏期セミナー（地方公務員共済組合浜名荘） Aコース：HPLC 話題提供講演：超臨界流体クロマトグラフィー（平田幸夫） キャピラリー液クロー電気泳動検出（寺部　茂） ポルフィリン錯体の液体クロマトグラフィー（斉藤紘一） レーザー蛍光検出による液体クロマトグラフィー （今坂藤太郎）

製品紹介講演：4件
Bコース：分子設計の可能性を求めて
話題提供講演：薬物設計のためのソフトウェア（高橋由雅）
コンピュータ・システム〔ACACS〕（吉田元二）
ネットワーク共用による化合物情報等の高度利用システムにおける中心的化学物質辞書としての、体系名から作り出される、立体化学的に正確な物質の登録（STARS）（荒木啓介）
パーソナルコンピュータと分析化学（吉村忠与志）
製品紹介講演：3件
ソフトボール大会
参加者：83名

10月4～6日　第15回中化連秋季大会（岐阜大学）
一般研究発表（分析関係）：27件
特別討論会〔反応速度を利用する分析法〕
招待講演：金属錯体の反応性と配位子置換反応速度の差を用いる分析化学（山田真吉）
溶媒抽出の速度－化学工学の立場から（原田　誠）
接触分析を用いる分析法とFIA（深沢　力）
研究発表：13件

10月10～14日　**第33年会**（名古屋大学教養部、実行委員長　水池　敦）
研究発表：523件、招待講演：2件
ミキサー：サッポロビール浩養園、懇親会：名古屋観光ホテル
見学会：高山－上高地、展示会
参加者：1303名

11月16日　講演会（富山大学教育学部）
講演：粉じんによる大気汚染（川崎軍治）
アルミニウム中の微量不純物－分析とその特徴（益田敏彦）
分子構造の予測と性質の予知（佐々木慎一）

11月29日　講演会（名古屋工業大学）
講演：イオン対の生成と抽出（後藤克己）
有機試薬としての大環状化合物（庄野利之）

11月30～12月1日　工場見学会：富士写真フィルム㈱足利工場
懇親会と宿泊：グリーン天城
参加者：中部支部17名、関東支部23名

12月7～8日　第3回溶媒抽出討論会（静岡大学工学部）
特別講演：1件、研究発表：32件

1月9日　第10回HPLC研究談話会（名城大学薬学部）
特別講演：1件

1月19日　講演会（静岡薬科大学）

	講演：医学・薬学との接点における分析化学 1．医学の立場から（菅野剛史） 2．薬学の立場から（南原利夫） 1月25日　訪日学者講演会（三重大学工学部） 講演：E. Grushka 1月29～30日　第8回技術セミナー（愛知県産業貿易館） 超臨界ガス抽出技術の現状と展望 講演：14件
1985年度 (昭60)	（支部長）佐々木慎一（副支部長）鈴木真言、根津弘幸、山本善一 （常任幹事）板谷芳京、宇井倬二、宇佐美四郎、内田哲男、上蓑義則、河口広司、後藤正志、酒井忠雄、佐々木与志美、佐藤　真、神野清勝、鈴木諄亮、中須賀徳行、野路雅英、三輪智夫、山田真吉 3月14～16日　機器分析のための電子回路実習（名古屋大学工学部） 講師：吉村忠与志 実習、参加者13名 4月23日　第11回 HPLC 研究談話会（愛知厚生年金会館） 特別講演：1件 パネル討論 6月13日　第3回フローインジェクション分析講演会（愛知厚生年金会館） 特別講演：配位子置換反応速度の差を用いる分析法の設計（山田真吉） 連続固定化酵素カラムを用いるプリン代謝物の蛍光 FIA （大倉洋甫） 講演：16件、機器展示会 6月21日　講演会（金沢大学） 講演：分光分析の発展と環境化学（AASとICP）（山本勇麓） 超微量分析と海洋化学（金森　悟） 8月27～28日　第12回 HPLC 研究談話会（名城大学薬学部） 研究発表：9件、実習：11件 8月29～30日　第4回分析化学夏期セミナー（地方職員共済組合浜名荘） 主題：分析化学最近の話題から 話題提供講演：イオン会合の特異性を利用した吸光分析（酒井忠雄） 研究とルーチン分析との関連－研究をどのようにしてルーチン分析にとりいれるか（三井利幸） 水分析におけるストリッピングボルタンメトリー （三輪智夫） 水晶発振子の溶液中での挙動とその分析への応用 （野村俊明） ソフトボール大会、参加者57名

	10月15日　訪日学者講演会（名古屋大学アイソトープ総合センター） 講演：Separation and Preconcentration of Traces of Metals with Sorbents Based on Spherical Polyurethane Membrane Systems（Foams）（T. Braun） 11月27～29日　第16回中化連秋季大会（豊橋技術科学大学） 一般研究発表（分析関係））：27件 特別討論会〔逆相 LC の保持機構〕 特別講演：試料の保持と分離に対する固定相の構造の効果（田中信男） 逆相 LC の保持機構の熱力学的解析（山本文子） 研究発表：4件、パネル討論 特別討論会〔超高感度分析の諸問題〕 招待講演：はん用 FID による超高感度 GC（高山雄二） レーザー質量分析法に関して（古谷圭一） レーザー分光（英　貢） 高速液体クロマトグラフィー・分光蛍光法（発がん関連物質の分析を中心として）（松下秀鶴） 研究発表：6件 12月6～7日　工場見学会：魚津埋没林、吉田工業㈱黒部工場 懇親会と宿泊：地方職員共済組合黒部荘 参加者：中部支部22名、関東支部15名 12月12日　講演会（名古屋大学理学部） 講演：振動する電気化学システムへの分析化学的アプローチ（根津弘幸） Biomineralization…貝殻結晶の生成と変質（北野　康） 1月10日　第13回 HPLC 研究談話会（名城大学薬学部） 講演：2件、研究発表：11件 2月3日　訪日学者講演会（信州大学理学部） 講演：Chemical Art in Ancient India（R. C. Kapoor） 2月12日　講演会（豊橋技術科学大学） 講演：主として原子吸光分析について（保田和雄） EPMA の過去・現在・未来（紀本静雄）
1986年度 （昭61）	（支部長）山本善一（副支部長）伊豆津公佑、河口広司、和田弘子 （常任幹事）板谷芳京、宇井倬二、宇佐美四郎、内田哲男、上蓑義則、後藤正志、酒井忠雄、佐々木与志美、佐藤　真、柴田久夫、鈴木諄亮、西山敦子、野村俊明、古川路明、三輪智夫、森　定雄 3月13～15日　パソコンによる化学計測実習（豊橋技術科学大学） 講師：吉村忠与志、加藤正直 4月25日　第14回 HPLC 研究談話会、第3回液体クロマトグラフィー小討論会（愛知厚生年金会館）

研究発表：19件

5月11～14日　第7回キャピラリークロマトグラフィー国際シンポジウム
（岐阜グランドホテル）
研究発表：36件、ポスター発表：86件、展示会

5月15～17日　第53回有機微量分析研究懇談会、第9回計測自動制御学会
質量・力計測部会合同シンポジウム（伊東市観光会館）

5月26日　訪日学者講演会（三重大学工学部）
講演：Luminescent and Chromatographic Methods for Chemical Analysis
（S. Y. Su）

6月26～27日　第3回イオンクロマトグラフィー討論会（金沢大学医学部）

7月1日　講演会（福井大学教育学部）
講演：トレースアナリシスに於ける前濃縮（寺田喜久雄）
高分解能熱分解ガスクロマトグラフィーによる高分子のキャラクタリゼーション（柘植　新）

7月4日　講演会（名古屋工業大学）
講演：非水溶液における電気分析化学の現状（伊豆津公佑）
イオン交換による希元素の濃縮（黒田六郎）

7月25～26日　第1回化学パソコン懇談会（京都工芸繊維大学）
講演：34件、デモンストレーション

8月26～27日　第15回 HPLC 研究談話会（名古屋大学工学部）
実習：12テーマ

8月29～30日　第5回夏期セミナー（石川県辰口町総合福祉会館、まつさき旅館）
話題提供講演：L–アミノ酸型キレート樹脂による微量ウランの捕集と分離（上田一正）
カルボン酸による金属の抽出における抽出種の多量化と溶媒効果について（山田碩道）
天然水中の極微量金属元素の存在状態別分離（平出正孝）
アニオンキャリヤー型イオン選択性電極（小泉貞之）
イオン選択選極によるフッ化物イオンの定量－アルミニウムイオンのマスキング（湯地昭夫）
原子吸光検出法を用いた高温ガスクロマトグラフィー
（太田清久）
新製品紹介講演：4件
懇親会、ソフトボール大会

9月3日　訪日学者講演会（豊橋技術科学大学）
講演：Laser Desorption Fourier Transform Mass Spectrometer
（C. L. Wilkins）

11月5～9日　第3回日ソ分析化学シンポジウム（愛知県産業貿易館）
講演：21件（ソ連10件、日本11件）、ポスター発表17件

11月21～22日　工場見学会（東芝医療機器事業部那須工場）

	参加者：25名
	12月11日　講演会、第29回有機試薬研究懇談会（岐阜大学）
	講演：コロイド滴定の話（桐栄恭二）
	ピロン環を含む蛍光分析用試薬（村田　旭）
	1月9日　第16回 HPLC 研究談話会（名城大学薬学部）
1987年度（昭62）	（支部長）伊豆津公佑（副支部長）後藤克己、河口広司、窪田種一
	（庶務幹事）田口　茂、野村俊明（会計幹事）北川邦行、酒井忠雄
	（常任幹事）石塚紀夫、柴田久夫、永長幸雄、成田九州男、西山敦子、野村　毅、平田幸夫、古川路明、三輪智夫、三井利幸、森　定雄、山崎　満
	4月23日　第17回 HPLC 研究談話会（愛知厚生年金会館）
	6月4～5日　**第48回討論会**（鳥羽小涌園、実行委員長　石井大道）
	主題〔新素材の分析化学〕
	〔クロマトグラフィーとその周辺技術の新展開〕
	〔スペクトロメトリーとその周辺技術の新展開〕
	主題講演：109件、一般講演：126件、製品講演：6件
	参加者：522名
	6月26日　講演会（富山大学理学部）
	講演：核融合炉燃料（トリチウム）の計量と分析－現状と問題点（渡辺国昭）
	ポルフィリンを用いる速度論的分析法（田中元治）
	7月23～25日　第3回パソコンのインターフェース回路実習（名古屋大学工学部）
	参加者：14名
	8月20～21日　第18回 HPLC 研究談話会（名城大学薬学部）
	実習
	8月28～29日　第6回夏期セミナー（文部省共済組合あづみ荘）
	話題提供講演：環境保健学的野外調査における最近の機器分析手法の活用経験例（二木安之、村山忍三）
	溶媒抽出－逆相クロマトグラフィーによる微量金属の同時定量（一ノ木進）
	原子スペクトル分析法の歴史と最近の話題（北川邦行）
	金属錯体の反応性の差を用いる分析（山田真吉）
	製品紹介講演：3件
	参加者：49名
	9月24～26日　第24回 X 線分析討論会（豊橋駅前文化ホール）
	10月1～3日　第18回中化連秋季大会（信州大学工学部）
	一般研究発表（分析化学、環境化学関係）：45件
	特別討論会〔分析化学における分離と計測の新しい展開〕
	招待講演：イオン選択性電極の分析化学及び溶液化学への応用（中川元吉）

	ガスクロマトグラフィー、液体クロマトグラフィー及び超臨界 流体クロマトグラフィーの一体化について（石井大道） 最近の表面・薄膜の評価技術（山内　洋） ファインセラミックスの湿式分解と迅速分析法（柴田正三） 研究発表：14件 特別討論会〔電気化学並びに電気分析化学における界面の新しい諸問題〕 招待講演：光励起された半導体－溶液界面の新しい応用（藤島　昭） 研究発表：7件 10月31日　講演会（名古屋工業大学） 講演：溶液内化学種の平衡と構造（I. Toth） 超臨界流体クロマトグラフィー（神野清勝） 11月4～5日　第2回化学パソコンソフトウェア研究討論会（埼玉大学） 特別講演：2件、一般講演：25件 11月12日　講演会（三重大学工学部） 講演：水中の微量元素の溶存状態分析（水池　敦） 分子設計のトータルシステム（佐々木慎一） 11月27～28日　工場見学会：日本ガイシ㈱小牧工場 懇親会と宿泊：地方職員共済組合入鹿荘 参加者：39名（内中部支部27名） 12月14日　訪日学者講演会（三重大学工学部） 講演：GPCの最近の進歩（D. Berek） 1月8日　第19回HPLC研究談話会（愛知厚生年金会館）
1988年度 (昭63)	**〔中部支部創立30周年〕** （支部長）後藤克己（副支部長）河口広司、野村俊明、森　定雄 （庶務幹事）田口　茂、平出正孝（会計幹事）北川邦行、三井利幸 （常任幹事）石塚紀夫、後藤正志、永長幸雄、成田九州男、根津弘幸、野路雅英、野村　毅、平田幸夫、舟橋重信、増沢敏行、山崎　満、山田碩道

（中部支部創立30周年記念誌より抄録）

5．日本分析化学会中部支部運営細則

（事務局）

1．本支部の事務局は中部科学技術センターにおく。（昭和４５年４月１日以降）

（支部長）

2．翌々年度の支部長は，年度末の役員総会において投票によって決定する。

（副支部長）

3．副支部長は，１名は翌年の支部長，他の２名は地域を考慮して支部長が推薦する。

（監事）

4．監事は前年度及び前々年度の支部長とする。

（参与及び顧問）

5．参与は，60歳以上の学識経験者のうちから支部長が推薦する。ただし，70歳を越える場合，顧問に推挙される。

（役員の交代）

6．庶務幹事，会計幹事及び常任幹事は，原則として毎年それぞれの約半数が交代する。

7．前年度の副支部長及び常任幹事は，翌年度の役員として留任する。幹事は原則として，毎年その約半数が交代する。

（役員会の決定）

8．役員会の決定（選挙を含む）は出席者の過半数の賛成をもって有効とする。

（本部役員候補者の推薦）

9．本部役員候補者の推薦は，支部長が役員の意見を徴して行う。

（学会賞等候補者推薦委員会）

10．学会賞等候補者推薦委員会は，1)支部長及び次期支部長，2)残りの副支部長と常任幹事から選出された5名，3)参与及び監事から選出された4名，の計11名により構成する。

11．支部長は，10月までに，前項に従って支部長，副支部長，参与，監事及び常任幹事による投票により委員を選出する。委員長は，支部長とする。ただし，

13項により支部長が委員を辞任した場合は，委員の互選による。委員は原則として毎年その半数が交代する。

12. 委員長は，毎年11月までに，全役員に，理由を付して学会賞等受賞候補者の推薦をもとめる。推薦には推薦理由書及びＡ４用紙３頁（略歴，業績及び主要論文リスト各１頁）にまとめた選考資料11部を付する。

13. 選出された委員が候補者に推薦された場合は，委員を辞任する。委員に欠員が生じた場合は10項 2）の次点以下を順次繰り上げ委員とする。

14. 1. 推薦された候補者の数が各賞毎に３件を越えないときは，委員長は各候補者の推薦理由等の書類を委員に送付して意見を徴し，過半数の支持を得た候補者をすべて本部へ推薦する候補者とすることができる。この場合は，推薦委員会を開催しなくてもよい。

2. 委員会は，委員長が召集し，委員の２／３以上の出席をもって成立する。委員会では，投票により候補者を決定する。なお，３件を越えた場合，候補者の中に前年度を含め３年連続して本部へ推薦された候補者があるときは，その候補者は推薦されないことがある。

15. 委員長は，委員会で決定した候補者の氏名を支部長に報告し，支部長は候補者を本部へ推薦する。

（会計年度及び事務処理費）

16. 本支部の会計は，毎年２月末で締切り，その後を次年度の会計幹事に引き継ぐ。

17. 会の常務を行うため事務処理費若干を予算案に計上する。

（付則）

本細則は，昭和４５年２月１９日より実施する。

昭和５７年２月　９日に一部改正

平成１０年１月２３日に一部改正

6．日本分析化学会中部支部内規

（総　則）

第 1 条　日本分析化学会中部支部（以下本支部という）に関する規程については、日本分析化学会（以下本会という）定款および細則に定めるもののほかこの内規の定めるところによる。

第 2 条　本支部は、愛知，岐阜，三重，静岡，長野，富山，石川および福井の８県に在住する日本分析化学会会員をもって組織する。

（事　業）

第 3 条　本支部は、本会の目的を達成するために、つぎの事業を行なう。

1．講演会，講習会，見学会およびセミナーなどの開催

2．関連学協会との連絡および協力

3．その他

（役　員）

第 4 条　本支部には次の役員をおく。

支部長　１名，副支部長　３名，顧 問　若干名，参 与　若干名，監　事　２名，　幹　事　若干名

第 5 条　支部長は幹事のうちから常任幹事若干名を委嘱する。

常任幹事中２名は庶務を、２名は会計を担当する。

第 6 条　役員の任期は、３月１日から翌年２月末日までとする。

ただし、再任を妨げない。

2．役員を辞任しようとするときは、役員総会の同意を得なければならない。

3．役員に欠員が生じたときは、支部長は役員総会の同意を得て補充することができる。補充した役員の任期は前任者の残任期間とする。

第 7 条　役員はそれぞれ本会細則第４３条に定められた会務を掌理する。

（役員会）

第 8 条　役員会は、役員総会および常任幹事会とする。

2．支部長は、必要に応じ役員会を召集し、その議長となる。

3．役員会は、役員の１／２以上の出席をもって成立する。ただし、書面をもって委任した者は、出席とみなす。

第 9 条　役員総会は、全役員をもって組織し、年１回以上開かなければならない。

第 10 条　役員総会は、下記の事項を審議する。

1．役員候補者の選出に関する事項
2．支部事業の計画実施に関する事項
3．支部の予算および収支決算に関する事項
4．支部内規の改正に関する事項
5．支部に属する資産の処分と管理に関する事項
6．その他、支部の運営に関する重要事項

第 11 条　常任幹事会は、支部長，副支部長および常任幹事をもって組織し、支部運営の常務にあたる。

第 12 条　役員は、常任幹事会に対し、支部運営について随時意見を述べることができる。

第 13 条　常任幹事会は、緊急を要する事項に関し役員総会を代行することができる。ただしその場合に常任幹事会において決行した事項は、役員総会に報告し、その承認を得なければならない。

（事業計画，収支予算）

第 14 条　本支部の事業計画およびこれにともなう収支予算は、支部長が編成し、役員総会の議決を経なければならない。

事業計画および収支予算を変更した場合も同様とする。

2．支部の経費は、本部からの支部費およびその他の収入金をもってこれにあてる。

（収支決算）

第 15 条　支部長は、毎年度末に、その年度の収支決算表を作成し、監事の監査を受けたのち、常任幹事会の議を経て役員総会の了承を得るものとする。

（寄　付）

第 16 条　本支部が支部事業達成のために寄付金品を受領する場合は、役員総会の議決を経なけらばならない。

（雑　則）

第 17 条　この内規の運営に関し必要な細則は、役員総会の議決を経て、別に定める。

附　則　この内規は昭和４５年　２月１９日から施行する。

昭和６０年１０月２５日に一部改正
平成　３年　１月２４日に一部改正
平成１０年　１月２３日に一部改正

編集後記

日本分析化学会中部支部創立40周年を記念して、「支部創立40周年記念誌」を編集、刊行致しました。創立40周年記念事業を行うことは、平成9年度の支部常任幹事会、役員総会で決定され、記念事業実行委員会が設立されました。実際の企画、準備は実行委員会を中心に、平成10年度支部常任幹事会に引き継がれて進めてきました。

記念誌の編集にあたり、「1. 中部支部創立40周年のあゆみ」は平出正孝常任幹事（名古屋大学大学院工学研究科）、「2. 中部支部北陸地区の活動」は永長幸雄副支部長（福井大学工学部）に執筆いただきました。「3. 中部支部活動年譜」および「資料編」は千葉光一庶務幹事（名古屋大学工学部）、飯田康夫会計幹事（名古屋工業技術研究所）に尽力していただきました。

今回の記念誌では支部会員の交流をはかり、情報交換を活発にできるように、国公私立大学・試験研究機関を中心にした「4. 中部支部研究室紹介」をまとめました。企画に協力いただきました関係者の方々に心より御礼申し上げます。また、「5. 中部支部特別会員・維持会員一覧」（1997 年 12 月現在）も学会会員名簿より抄録しておきました。さらに、会員の研究・技術情報として分析関連の支援業務に携わっておられる民間会社および法人等団体に「6. ラボラトリーガイド」の記事（有料）をお願いしましたところ、多数の会社、団体からご協力いただきました。以上の研究室、会員、会社関係の情報は中部支部ホームページ（準備中）に掲載し、広く会員に閲覧する予定です。

記念誌が中部支部の更なる活性化に役立つことを祈念して、編集後記とさせていただきます。

（編集代表者：原口　紘忞）

支部創立 40 周年記念誌

1999 年 1 月 22 日発行

編　集　日本分析化学会中部支部
支部創立 40 周年記念事業実行委員会
名古屋科学館　中部科学技術センター内
〒460-0008　名古屋市中区栄 2 丁目 17-22
Tel　052-231-3070,　Fax　052-204-1469

印　刷　ニッコアイエム株式会社
〒460-0024　名古屋市中区正木 1 丁目 13-19
Tel　052-321-5883,　Fax　052-321-0220